

社団法人全国高等学校PTA連合会・株式会社リクルート 合同調査

第5回
「高校生と保護者の進路に関する意識調査」
2011年
報告書

景気回復の兆しが見えはじめていた2011年。3月に発生した未曾有の大震災、原発事故は日本中の人々の生活や価値観、人生観に対して大きな影響を及ぼしました。日本が復興の歩みを進める中、未来を担っていく若者に対し、行政、学校教育はもちろんですが、最も身近な大人である「保護者」が今できることは何でしょうか？

進路に関する保護者と子のコミュニケーションのあり方と、大人ができる高校生のよりよい進路選択へのサポートを探りたい。

社団法人全国高等学校PTA連合会と株式会社リクルートは、全国の高校2年生とその保護者を対象に、家庭内におけるコミュニケーションの実態とさまざまな進路観に関するアンケート調査を2003年より隔年で実施してきました。その5回目となる調査の分析結果をまとめましたので、ここにご報告申し上げます。

社団法人全国高等学校PTA連合会
会長 相川順子
進路対策委員会委員長 正木毅

株式会社リクルート
進学カンパニー
カンパニー長 田中浩嗣

▼本調査や「キャリアガイダンス」に関するお問い合わせは下記までお願いします▼

株式会社リクルート 進学総研

<http://souken.shingakunet.com/>

- ※ この調査結果については、キャリア教育専門誌『キャリアガイダンス』No.40/No.41(リクルート)にも掲載しています。
- ※ 出版・印刷物等へデータ転載する際には、“(社)全国高等学校PTA連合会・(株)リクルート調べ”と付記していただきますようお願い申し上げます。

調査結果トピックス

I 親子コミュニケーションの実態

■進路について親子で「話す」割合は、高校生は75%、保護者は89%。2007年以降変動がなく、保護者は話しているとの認識が子どもよりも高い傾向が続く。

- ・高校2年生の時点で、卒業後の進路について保護者との対話頻度は「よく話をする」高校生は17%、「話す・計」は75%。一方、子どもと「よく話をする」保護者は25%、「話す・計」89%と、高校生の認識を大きく上回る。高校生・保護者とも「話す」割合は2007年以降変動がない。【5ページ】

■進路選択の不安について親子の共有度は、高校生は56%、保護者は70%が「知っている」。前回2009年に比べ、認識のギャップはわずかながら縮まり、共有が進んでいることがうかがえる。

- ・高校生の進路選択の悩みや不安の保護者の認知度は、高校生の認識は「よく知っている」は15%、「知っている・計」は56%。保護者の認識は「よく知っている」は23%、「知っている・計」は70%。進路についての会話と同様、保護者の認識のほうが高いが、双方のスコア差は2009年調査結果よりもわずかながら減少している。【11ページ】

II 進学すること・働くことに関する考え

■高校生・保護者とも「やりたいことができる」「個性や能力を生かせる」学校に進学したい・進学してほしい。

- ・進学を希望する高校生・保護者の進学の価値観は、「やりたいことができる学校」「個性や能力を生かせる学校」が約9割に達し、上位。ついで「社会で役立つような知識・技術を身につけられる学校」「就職率が高い学校」と、高校生・保護者とも、将来働くことへの意識も高い。【20～21ページ】

■希望する職業は高校生・保護者とも「公務員」が突出。人・社会に役立ち、雇用・収入が安定していることから人気。

- ・高校生が就きたい職業、保護者が子どもに将来就いてほしい職業どちらも「公務員」がトップ。理由として「人のために働ける」「安定している」「解雇されることがない」などのコメントが多く挙がった。【22～24ページ】

III 進路にまつわる期待と不安

■進路を考えると、高校生の半数近くが「自分がどうなってしまうのか不安になる」。進路について保護者とよく話をする高校生は「自分の可能性が広がるようで、楽しい」と前向き。

- ・高校生の進路を考えたときの気持ちは「自分がどうなってしまうのか不安になる」が最も多く48%。ついで多い「自分の可能性が広がるようで、楽しい」(27%)は、2007年以降微増傾向がみられる。
- ・進路についての対話頻度ごとにみると、「よく話をする」高校生では「自分の可能性が広がるようで、楽しい」が最多(45%)であり、対話頻度が少ない高校生に比べ前向きな気持ちが際立って高い。【27ページ】

■未来社会について、高校生・保護者とも2009年に減少した「好ましい」認識が2011年は増加に転じた。2008年のリーマンショック後、景気・雇用は厳しい状況だが、前向きな気持ちや努力で適応しよう・乗り越えようという意欲がみられる。

- ・これからの社会について「非常に好ましくない」「あまり好ましい社会ではない」と感じている高校生は67%、保護者は70%と過半数だが、過去調査と比較すると2009年から「好ましくない」は減少、逆に「好ましい」が増加している。
- ・「好ましい」と思う理由は、高校生・保護者とも「気持ちだけは前向きでいたい」「自分次第で何でもできる」と意欲的な意見が多い。一方「好ましくない」理由は、経済不況や就職難、不安定な政局を嘆くコメントが大半。【32～33ページ】

IV 震災・原発事故の影響

■3月11日の東日本大震災と原発事故により、高校生・保護者の1割強が進路や将来の考え方に変化がある。

■高校生・保護者とも震災・原発事故の前よりも「ボランティア活動などに積極的に参加したい」意向が強まる。

- ・震災と原発事故により進路や将来の考え方に変化がある割合は、高校生では14%、保護者では13%。
- ・進路や将来の考え方について、高校生・保護者とも現在は「毎日を大切に生きていきたい／ほしい」がトップ。震災・原発事故前後の考え方を尋ねると、「ボランティア活動などに積極的に参加したい／してほしい」が大幅に増加した。【36～39ページ】

V 家庭教育と自立意識

■保護者から「自立しなさい」と言われたことがある高校生は51%。2007年以降微増傾向が続く。

- ・自立について保護者から「今までに何度か言われたことがある」が最も多く30%。「小さい頃から」「最近よく」を含めると、「言われる・計」は51%。2007年以降「言われる」割合は微増傾向。【45ページ】

VI 保護者の動きと学校への要望

■子どもの進路選択に際し、保護者の8割強が「子どもに合う分野」「将来の職業」をアドバイスすることに意欲的。関与の理由は、「子どもと一緒に」親子で協力し合って進路選択をしたいから。

- ・子どもの進路選択行動への関与について保護者が「行ったがある」「今後行いたい」行動は、「子どもに合う分野をアドバイスする」(84%)、「将来の職業をアドバイスする」(83%)が8割を超える。高校2年時に「行ったことがある」行動はアドバイスが多く、「今後行いたい」のは「入試方法」「資料請求」「見学」など調べることが多い。
- ・これら進路選択行動に関与する理由は、「子どもと一緒に考えたいから」(67%)、「具体的な情報を知らないと進路についての会話ができないから」(53%)が上位に挙がり、子どもと一緒に考え、会話して協力し合おうとする態度がうかがえる。【52～54ページ】

コンテンツ

調査概要・回答者プロフィール	4
I 親子コミュニケーションの実態	
1. 進路について話す頻度	5
2. 進路について話す内容	6
3. 進路について話さない理由	7
4. 保護者がよく使う言葉	8
5. 希望進路・進路の悩みの共有度	10
6. 保護者からのアドバイス	12
7. 進路選択についての相談相手	13
8. 進路選択について影響を受ける人物	14
9. 進路選択について保護者が取る態度	16
10. 保護者の行動・態度	17
11. 保護者にしてほしい行動・態度	18
12. 保護者にやめてほしい行動・態度	19
II 進学すること・働くことに関する考え	
13. 進学についての価値観	20
14. 将来就きたい・就かせたい職業	22
15. 目指している・あこがれている人	25
III 進路にまつわる期待と不安	
16. 進路選択の意識と将来への自信	26
17. 進路を考える時の気持ち	27
18. 進路選択についての気がかり	28
19. 将来働くことについての気がかり	29
20. 未来社会への認識	32
21. 保護者がアドバイスすることの困難	34
IV 震災・原発事故の影響	
22. 震災・原発事故後の意識の変化	36
23. 震災・原発事故の発生前後での進路や将来の考え方	38
V 家庭教育と自立意識	
24. 家庭教育の実施状況	40
25. なぜ学び・働くのかについての話し合い	42
26. 保護者の仕事についての会話	44
27. 自立についての認識	45
28. 経済的自立・精神的自立	47
VI 保護者の動きと学校への要望	
29. 進学情報の必要性・入手方法	48
30. 進学先検討の重視点	50
31. 保護者の進路選択行動	52
32. 家庭と学校の役割に関する認識	55
33. 進路指導への要望	56
34. キャリア教育の認知と期待	58

調査概要・回答者プロフィール

▶ 調査概要

- 調査実施者 社団法人全国高等学校PTA連合会 / 株式会社リクルート
- 調査対象 全国の高校2年生とその保護者
全国高等学校PTA連合会より依頼した9都道府県の公立高等学校27校
2年生2クラス分の高校生と保護者
- 調査期間 2011年9月20日～10月31日
- 調査方法 学校を通じた質問紙による自記式調査
①高校生：ホームルームにてアンケートに回答
②保護者：高校生から保護者へアンケートを手渡し
③学級担任が高校生と保護者分を取りまとめ、その後学校責任者が学校分として返送
- 有効回答数 高校生1,959人 ※全問無回答1人を除く
保護者1,417人 ※全問無回答5人を除く

▶ 回答者プロフィール

【高校生】

- 性別 男子 49.9% 女子 46.5% (無回答 3.7%)
- 所属学科 普通科 67.1% 専門学科 24.5% 総合学科 8.4%
- 地域分布 北海道 12.1% 青森県 11.8% 茨城県 11.6% 東京都 8.7% 新潟県 11.1%
愛知県 10.7% 大阪府 11.5% 鳥取県 10.7% 佐賀県 11.8%
- 高校卒業後の希望進路
大学・短大進学 55.5% : 大学進学 50.9% / 短大進学 4.6% 専門学校進学 17.7%
就職 21.9% 留学 0.6% フリーター 0.5% その他 1.9% (無回答 2.0%)

【保護者】

- 続柄 父親 15.0% 母親 81.7% その他 0.7% (無回答 2.6%)
- 子どもの性別 男子 47.8% 女子 49.8% (無回答 2.5%)
- 所属学科 普通科 67.4% 専門学科 21.3% 総合学科 11.3%
- 地域分布 北海道 14.4% 青森県 15.5% 茨城県 13.1% 東京都 3.0% 新潟県 13.1%
愛知県 11.9% 大阪府 6.3% 鳥取県 8.0% 佐賀県 14.8%
- 子どもの高校卒業後の希望する進路
大学・短大進学 47.9% : 大学進学 44.3% / 短大進学 3.6% 専門学校進学 12.2%
就職 17.7% 留学 0.1% その他 0.7% 子どもが希望する進路なら何でもいい 19.2%
(無回答 2.2%)

【注】

※第3回調査(2007年)は、2007年10月に全国の高校2年生とその保護者を対象に実施

(有効回答数: 高校生1,802人 / 保護者1,541人)

※第4回調査(2009年)は、2009年9～10月に全国の高校2年生とその保護者を対象に実施

(有効回答数: 高校生1,953人 / 保護者1,495人)

※報告書内の表記について

- グラフの数値は、小数点第2位以下を四捨五入して表示している
- 本文の数値は、グラフ中の数値の小数点第1位を四捨五入して記載している
- <フリーコメント>末尾カッコ内は以下の属性を表す
高校生: [都道府県/性別/希望進路]
保護者: [都道府県/続柄/子どもの性別]

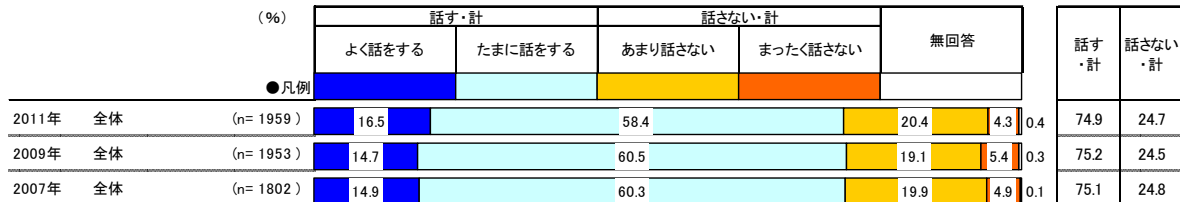
I 親子コミュニケーションの実態

1.進路について話す頻度

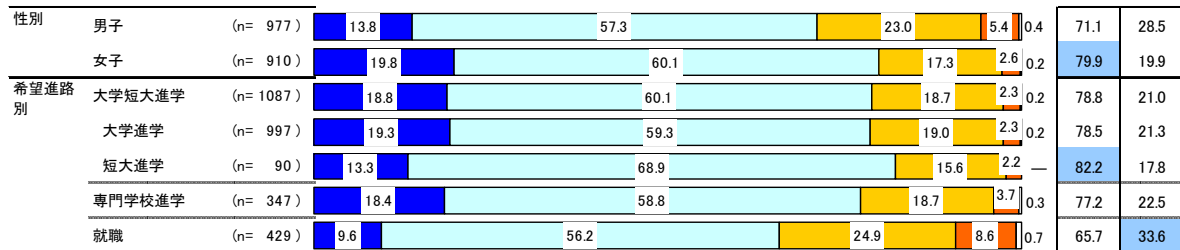
- ▶ 高校生の75%、保護者の89%が進路について「話す」。
- ▶ 2007年以降変動がなく、保護者の認識が高校生に比べ高い傾向は変わらない。
- ▶ 父親と息子、母親と娘、同性どうしの親子間での会話が活発。

- 高校2年生の時点で卒業後の進路について保護者と話しているかという質問に、高校生の17%が「よく話をする」と回答。「たまに話をする」の58%と合わせると75%が進路について会話している(話す・計)。
- 性別にみると、「話す・計」の割合は女子(80%)が男子(71%)よりも多い。特に女子はトップボックスの「よく話をする」が20%と男子(14%)を上回る。
- 希望進路別にみると、「話す・計」は大学短大進学、専門学校進学 of 進学希望者は8割近くを占めるが、就職希望者は7割未満と会話している割合が少ない。
- 同様に、保護者にも子ども(高校生)と話しているかと尋ねたところ、25%が「よく話をする」。「たまに話をする」(64%)を合わせた「話す・計」89%は高校生の回答を上回る。
- 続柄×子ども性別にみると、母親×女子(娘)、父親×男子(息子)という同性どうしの親子間で「話す・計」の割合が相対的に高く、会話が活発であることがうかがえる。

【高校生】進路についての話を保護者としているか (全体/単一回答)



【2011年属性別】

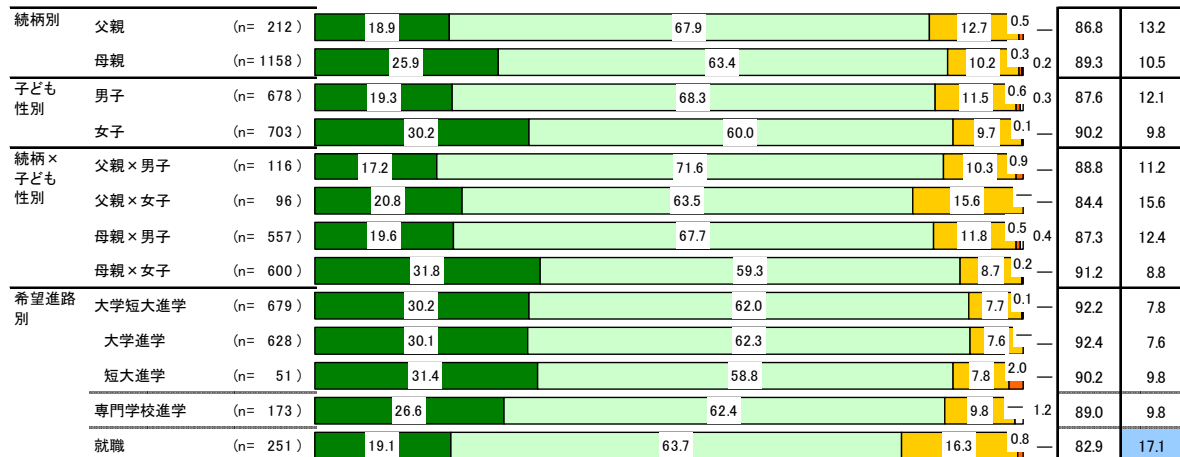


K.01.Q01

【保護者】進路についての話を子どもとしているか (全体/単一回答)



【2011年属性別】



※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

H.01.Q01

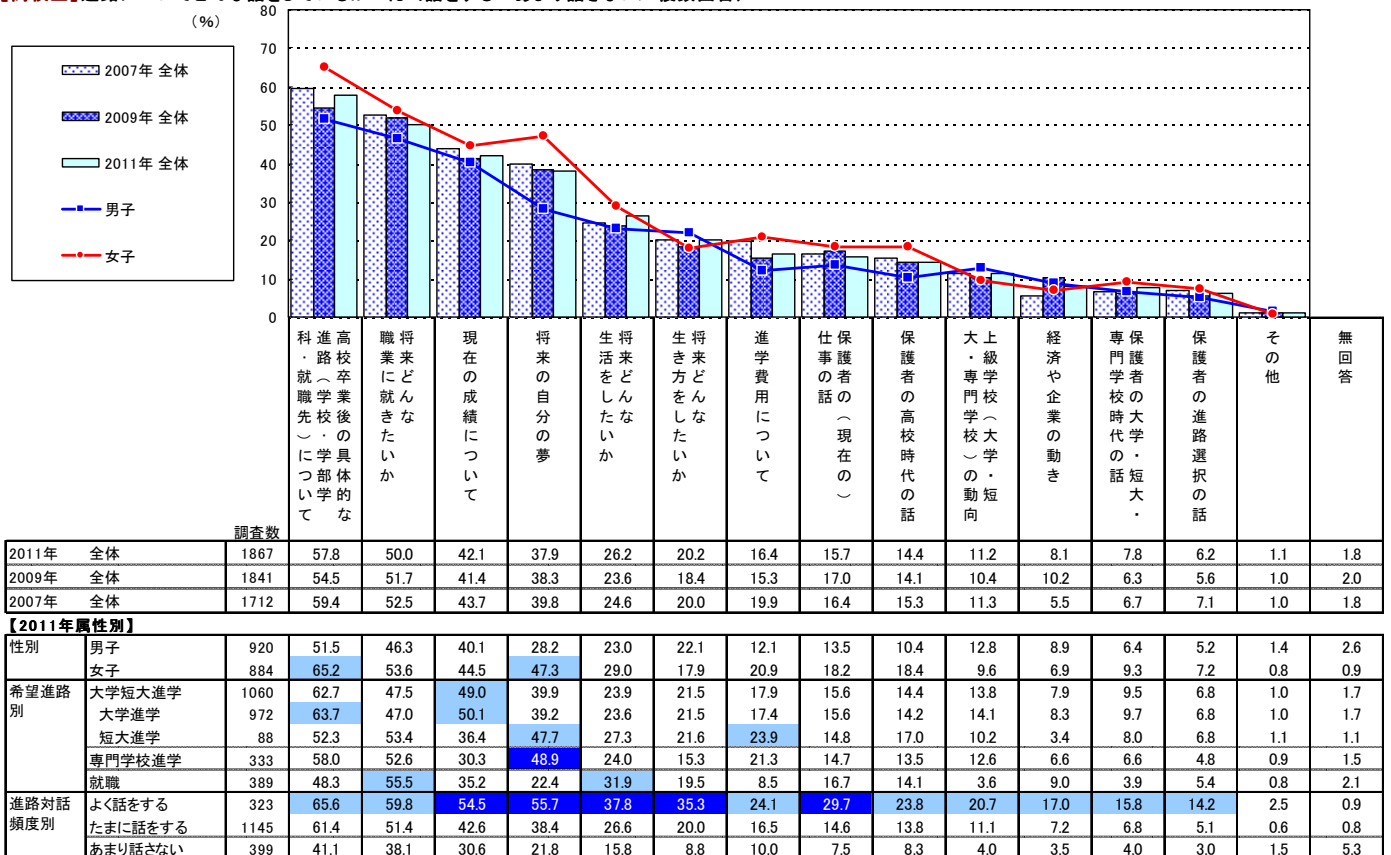
2.進路について話す内容

▶ 進路について話す内容のトップは、「卒業後の具体的な進路について」が過半数。

- ① 卒業後の具体的な進路について(58%)
- ② 将来どんな職業に就きたいか(50%)
- ③ 現在の成績について(42%)
- ④ 将来の自分の夢(38%)
- ⑤ 将来どんな生活をしたいか(26%)

- 5ページの卒業後の進路について保護者と話しているかという質問に会話がある(「よく話をする」～「あまり話さない」と回答した高校生に、どんな話をしているかすべて選んでもらった。トップは「高校卒業後の具体的な進路について」で58%と半数を超える。ついで「将来どんな職業に就きたいか」(50%)、「現在の成績について」(42%)、「将来の自分の夢」(38%)が挙げられた。過去調査と比較して、上位の顔ぶれは変わらない。
- 性別にみると、女子は男子に比べスコアが高い項目が多く、会話の内容が幅広い。特に「高校卒業後の具体的な進路について」「将来の自分の夢」は男子を大きく上回る。
- 希望進路別にみると、大学進学の場合は「高校卒業後の具体的な進路について」、ついで「現在の成績について」。短大進学・専門学校進学では「高校卒業後の具体的な進路について」「将来どんな職業に就きたいか」が5割強で上位。大学入試に向けた「成績」、短大・専門学校卒業後の「職業」と、希望進路先により対話内容がやや異なる。一方、就職希望者は「将来どんな職業に就きたいか」がトップ。
- 進路対話頻度別(5ページの回答別)にみると、全項目で話をする層ほどスコアが高くなっており、進路について会話する内容が幅広いことがうかがえる。

【高校生】進路についてどんな話をしているか (よく話をする～あまり話さない/複数回答)



※「2011年全体」降順ソート

※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

K_01_Q01SQ1

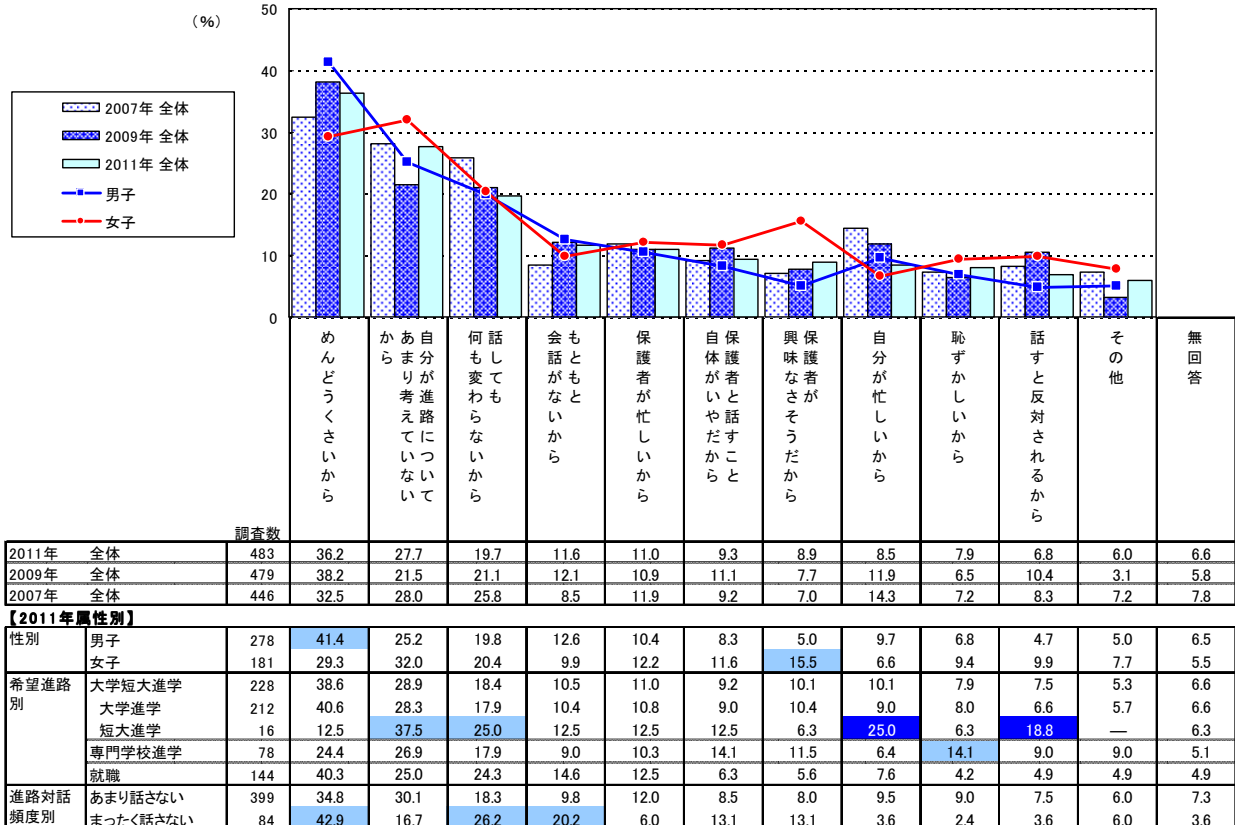
3.進路について話さない理由

▶ 進路について話さない理由のトップは「めんどくさいから」。

- ①めんどくさいから(36%)
- ②自分が進路についてあまり考えていないから(28%)
- ③話しても何も変わらないから(20%)
- ④もともと会話がなから(12%)
- ⑤保護者が忙しいから(11%)

- 5ページの卒業後の進路について保護者と話しているかという質問に会話がなから(「あまり話をしない」～「まったく話さない」と回答した高校生に、その理由をすべて選んでもらったところ、トップは「めんどくさいから」(36%)、ついで「自分が進路についてあまり考えていないから」(28%)と高校生自身の態度が1、2位に挙げられた。以下「話しても何も変わらないから」(20%)、「もともと会話がなから」(12%)、「保護者が忙しいから」(11%)など保護者との関係による要因が続く。過去調査と比較して、上位の顔ぶれは変わらない。
- 性別にみると、男子は「めんどくさいから」が41%、女子は「自分が進路についてあまり考えていないから」が32%でそれぞれトップ。女子はこのほか、男子に比べ「保護者が興味なさそうだから」のスコアが高く、自分・保護者とも進路について考えることに消極的な態度であることがうかがえる。
- 希望進路別にみると、いずれも上位の顔ぶれは同様だが順位は入れ替わる。大学短大進学、就職では「めんどくさいから」、専門学校進学では「自分が進路についてあまり考えていないから」がそれぞれトップ。
- 進路対話頻度別にみると、まったく話さない層のほうが「めんどくさいから」のほか、「話しても何も変わらないから」「もともと会話がなから」などのスコアが高くなっており、保護者との関係による要因が目立つ。

【高校生】進路について話さない理由（あまり話さない～まったく話さない／複数回答）



※「2011年全体」降順ソート

※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

K_01_Q01SQ2

4.保護者がよく使う言葉

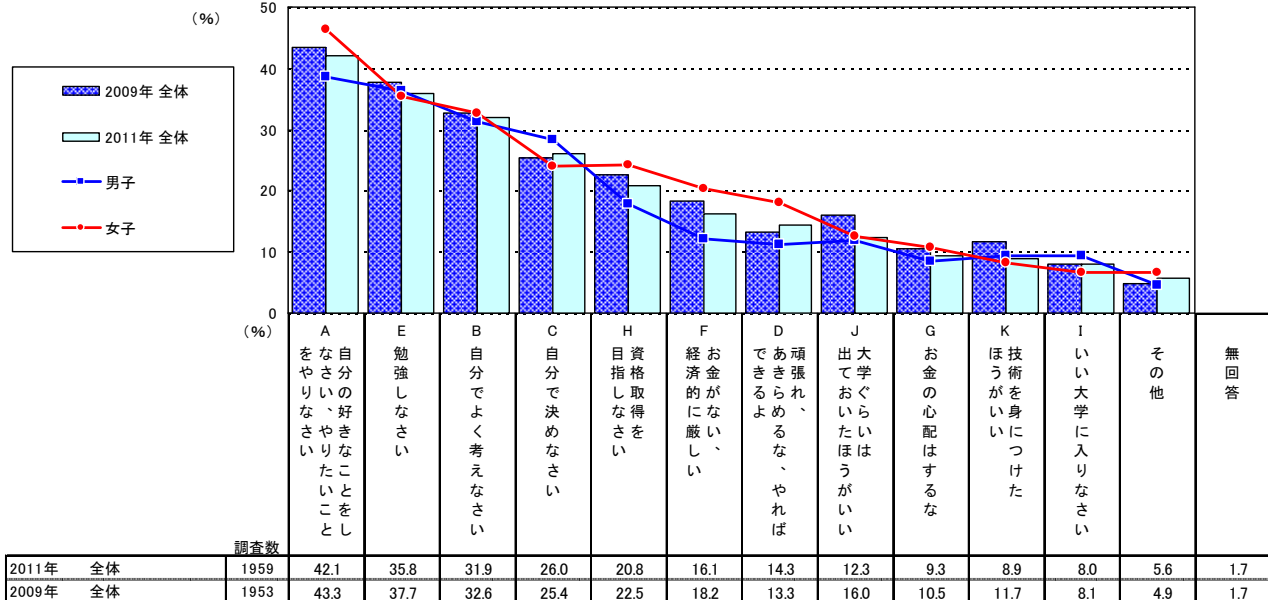
▶ 進路の話をするとき保護者がよく使う言葉について、高校生の認識は

- ①自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい(42%)
- ②勉強しなさい(36%)
- ③自分でよく考えなさい(32%)
- ④自分で決めなさい(26%)
- ⑤資格取得を目指しなさい(21%)

▶ 「勉強しなさい」という言葉には「やる気にならない」と否定的な反応。

- 進路の話をするとき保護者はどんな言葉を使うか、高校生と保護者に尋ねた。高校生の回答上位は上記のとおり。過去調査と比較して、上位の顔ぶれは変わらない。
- 男女とも上位の顔ぶれは同様。女子は「自分のやりたいこと」「資格取得」「お金がない」「頑張れ」のスコアが男子に比べ高く、幅広い言葉が使われている。男子は女子に比べ「自分で決めなさい」がやや高い。
- 高校生に保護者の言葉への印象を書いてもらった。上位の「好きなことをしなさい」「自分でよく考えなさい」「自分で決めなさい」には、自分の意思を尊重されることを喜ぶ前向きなコメントが多いが、一方で「意見を求めている」などアドバイスを期待する高校生もいる。また、「勉強しなさい」には、「やる気にならない」など反発が目立つ。

【高校生】進路の話をするとき保護者がよく使う言葉（全体／複数回答）



【2011年属性別】		調査数	A	E	B	C	H	F	D	J	G	K	I	その他	無回答
性別	男子	977	38.5	36.3	31.2	28.4	17.7	12.2	11.3	11.9	8.5	9.3	9.4	4.5	1.5
	女子	910	46.4	35.4	32.7	24.0	24.1	20.3	18.0	12.6	10.7	8.2	6.6	6.6	1.4
希望進路別	大学短大進学	1087	41.9	39.0	33.9	28.0	15.3	16.7	16.6	15.8	12.1	4.9	12.8	5.6	0.9
	大学進学	997	41.7	39.4	33.3	28.6	14.0	16.3	16.8	15.1	12.3	4.4	13.7	5.8	0.9
	短大進学	90	43.3	34.4	41.1	21.1	28.9	20.0	14.4	23.3	8.9	10.0	2.2	3.3	1.1
	専門学校進学	347	46.7	33.1	29.1	19.3	26.5	17.9	14.1	8.9	7.2	15.3	1.7	5.2	1.2
	就職	429	40.1	30.3	29.8	26.6	31.7	13.8	9.8	5.6	5.1	14.0	2.3	4.4	2.8
進路対話頻度別	よく話をする	323	59.4	41.5	33.1	27.6	26.3	16.7	23.5	13.3	14.2	12.7	11.5	4.6	—
	たまに話をする	1145	43.3	36.4	33.3	26.2	21.9	16.2	14.8	11.6	9.9	8.5	8.2	4.7	1.3
	あまり話さない	399	31.6	32.6	30.6	25.8	14.0	16.5	8.3	13.5	4.8	7.5	5.8	8.3	2.3
	まったく話さない	84	27.4	23.8	15.5	20.2	17.9	13.1	2.4	11.9	2.4	6.0	3.6	9.5	7.1

※「2011年全体」降順ソート

※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

K.01.Q02

<フリーコメント> 保護者の言葉をどう感じるか【高校生】

■自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい

- 自分で決めたことなんだから、頑張ろうと意欲が湧く[新潟/男子/大短]
- 自分の意志を尊重してくれて、ありがたいと思う[佐賀/男子/大短]
- うれしいけど、意見を求めているのに、このひとことでなんにも解決しない[茨城/女子/専門]

■勉強しなさい

- 逆にやる気失せる。でも頑張らなきゃだな、と思う[新潟/女子/大短]
- やれって言われてもやる気にならない[青森/女子/大短]
- やらなきゃいけないのはわかっているから言わないで[新潟/男子/大短]

■自分でよく考えなさい

- 進路の話は自分のことなんだと強く意識させられる[東京/女子/大短]
- 自分だけでは判断できないこともある[新潟/男子/大短]

■自分で決めなさい

- 自分の人生だから、自分で決めるべきなんだ[佐賀/女子/就職]
- 少しは一緒に考えてほしい[茨城/女子/大短]

■資格取得を目指しなさい

- 確かに資格をもった職業に就いたほうがいいと思う[佐賀/女子/大短]
- 勉強しながら資格の勉強をするのは少し難しい[愛知/男子/就職]

▶ 進路の話をするとき保護者がよく使う言葉について、保護者自身の認識は

- ①自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい(52%)
- ②自分でよく考えなさい(50%)
- ③資格取得を目指しなさい(43%)
- ④技術を身につけたほうがいい(37%)
- ⑤頑張り、あきらめるな、やればできるよ(26%)

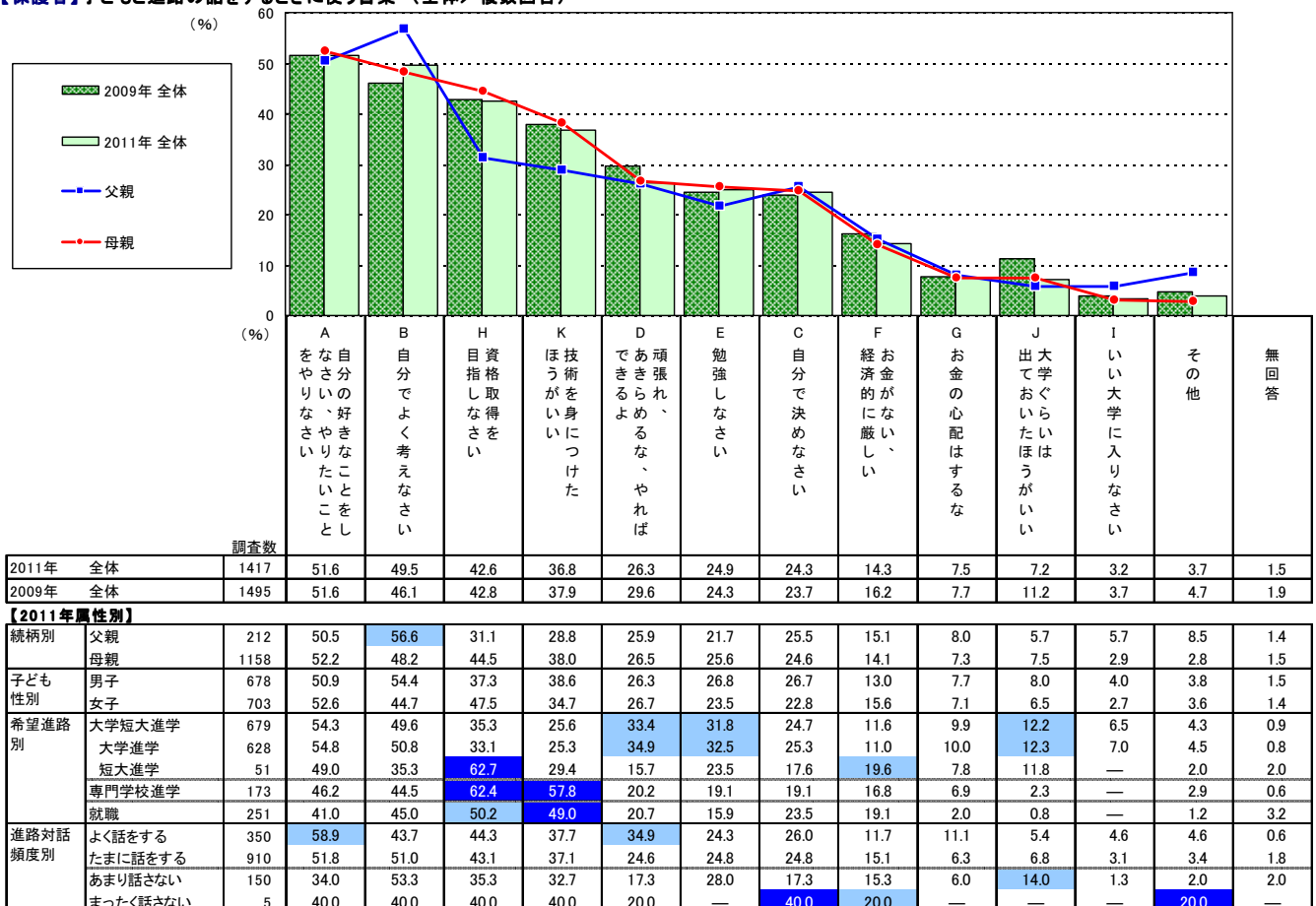
- 保護者の回答上位は上記のとおり。過去調査と比較して、上位の顔ぶれは変わらない。
- 続柄別にみると、父親・母親とも上位の顔ぶれは同様。母親は父親に比べ「資格取得」「技術」が高く、資格・技術の取得を勧める言葉が多い。
- 子ども性別にみると、男子は「自分でよく考えなさい」、女子は「自分の好きなことをしなさい」がトップ。さらに、「資格取得」は女子、「技術」は男子でそれぞれスコアが高く、勧められる対象がやや異なる。
- 希望進路別にみると、進路先により順位・スコアに差がある。大学短大進学では「自分の好きなことをしなさい」がトップだが、専門学校進学、就職では1～2位に「資格取得」「技術」が挙がる。

▶ 高校生・保護者ともトップは「自分の好きなことをしなさい」で一致。

2位は、高校生では「勉強しなさい」、保護者では「自分でよく考えなさい」が続き、認識に差。

- 「勉強しなさい」は、高校生では2位だが保護者においては上位5項目に届かない。高校生が感じているほど保護者は言っていないという認識である。保護者で「勉強しなさい」が多い属性は大学短大進学希望者で32%。
- 保護者は、高校生に比べ「資格取得を目指しなさい」「技術を身につけたほうがいい」のスコアが20ポイント以上上回っており、子どもにスキル習得を推奨しているという認識が目立つ。

【保護者】子どもと進路の話をするときに使う言葉（全体／複数回答）



※ 「2011年全体」降順ソート

※ 【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

H_01_Q07

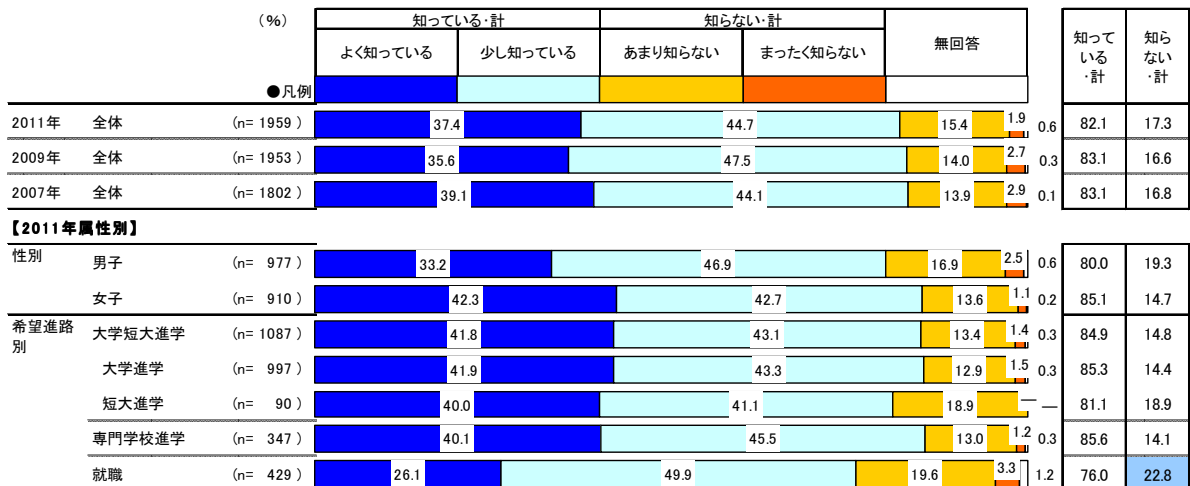
5.希望進路・進路の悩みの共有度

1)希望進路の共有度

- ▶ 高校生の82%、保護者の90%が希望進路や進路に対する考えを「知っている」。
- ▶ 2007年以降変動がなく、保護者の認識が高校生に比べ高い傾向は変わらない。

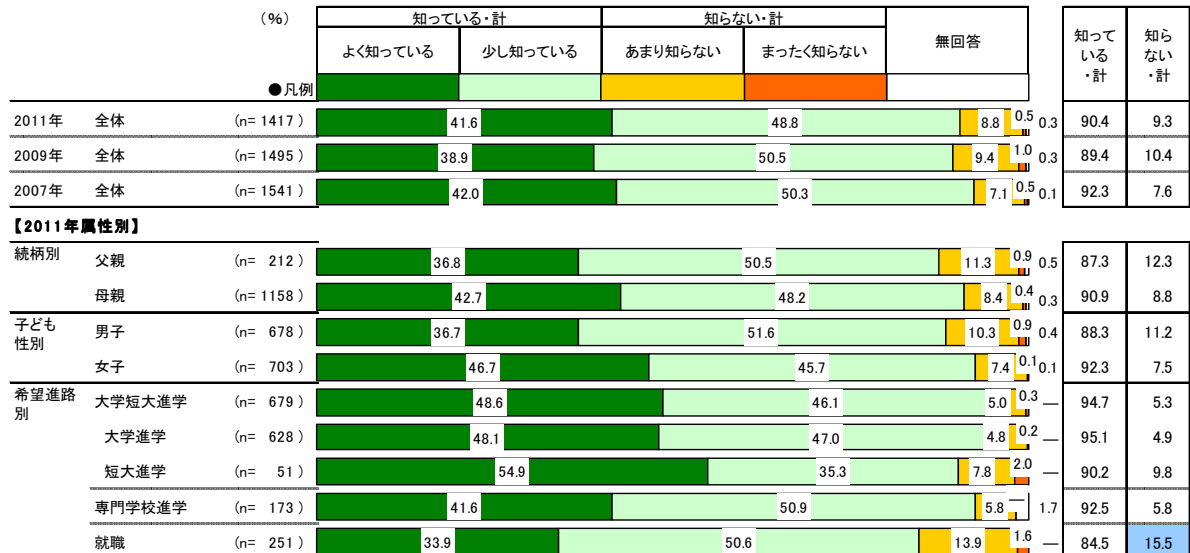
- 高校生の希望進路や進路についての考えを保護者はどの程度知っているかという質問に、高校生の37%が「よく知っている」と回答。「少し知っている」の45%と合わせ82%が共有している(知っている・計)。
- 性別にみると、「知っている・計」の割合は女子(85%)が男子(80%)よりも多い。特に女子はトップボックスの「よく知っている」が42%と男子(33%)を上回り、より深く共有していることがうかがえる。
- 希望進路別にみると、「知っている・計」は大学短大進学、専門学校進学の進学希望者で8割以上を占めるが、就職希望者は8割未満と共有度が相対的に低い。
- 同様に、保護者にも子ども(高校生)の希望進路や考えを知っているか尋ねたところ、42%が「よく知っている」。「少し知っている」(49%)を合わせた「知っている・計」90%は高校生の回答を上回る。保護者の「知っている・計」も2007年以降ほぼ横ばい推移。
- 続柄別にみると、「知っている・計」の割合は母親(91%)が父親(87%)よりもやや多い。

【高校生】保護者は希望進路や、進路に対する考えを知っているか (全体/単一回答)



K_01_Q03

【保護者】子どもの希望進路や、進路に対する考えを知っているか (全体/単一回答)



※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

H_01_Q02

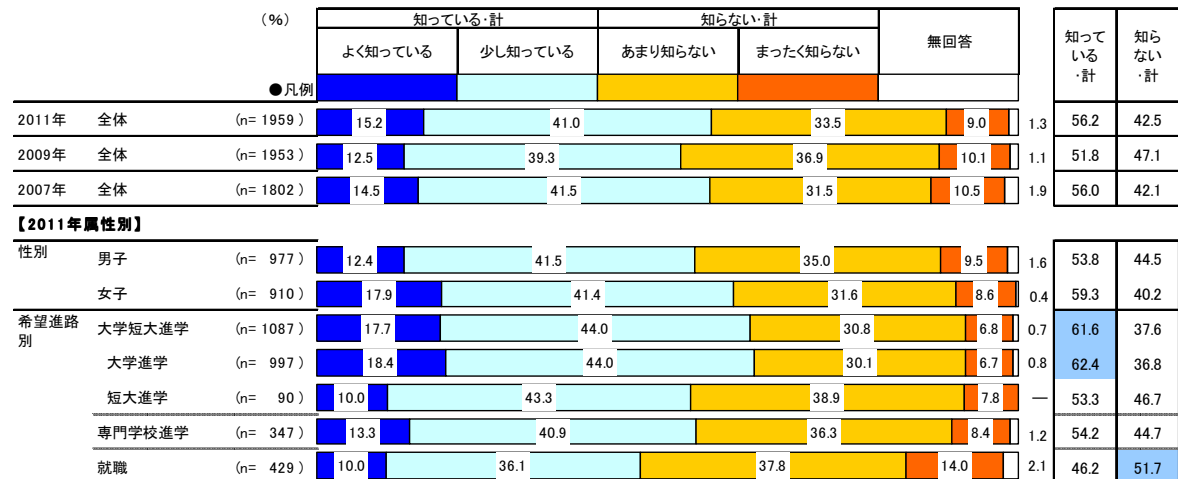
2)進路選択の不安の共有度

▶ 高校生の56%、保護者の70%が進路選択の悩みや不安を「知っている」。

▶ 2007・2009年に比べ高校生・保護者の認識差はわずかに縮まり、共有が進んでいる。

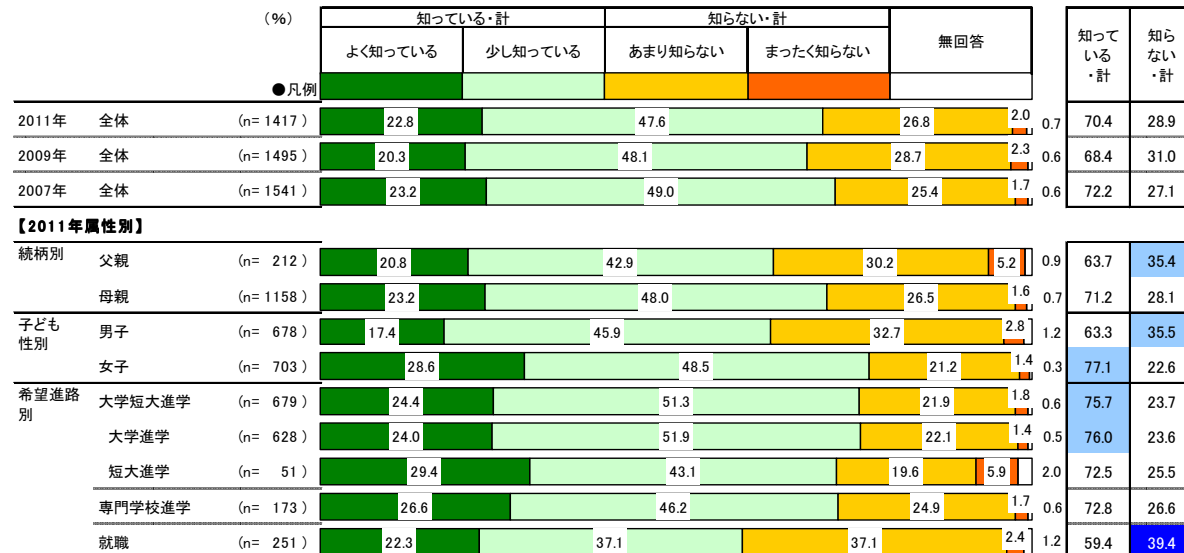
- 高校生の進路選択の悩みや不安を保護者はどの程度知っているかという質問に、高校生の15%が「よく知っている」と回答。「少し知っている」の41%と合わせ56%が共有(知っている・計)。過去調査と比較すると、「知っている・計」の割合は2007年と同程度。
- 性別にみると、「知っている・計」の割合は女子(59%)が男子(54%)よりも多い。
- 希望進路別にみると、大学短大進学、専門学校進学の進学希望者では5~6割と過半数を占めるが、就職希望者は5割未満と共有度が相対的に低い。
- 一方、保護者は、子ども(高校生)の進路選択の悩みや不安を23%が「よく知っている」。「少し知っている」(48%)を合わせた「知っている・計」は70%。希望進路の共有度と同様、「知っている・計」の割合は高校生を上回るが、そのスコア差は2007・2009年に比べわずかに減少しており(高校生56%-保護者70%:14ポイント差)、保護者と子どもとの間で悩みや不安の共有が進んでいることがうかがえる。
- 続柄別にみると、「知っている・計」は母親(71%)が父親(64%)よりも多い。

【高校生】保護者は進路選択の悩みや不安を知っているか (全体/単一回答)



K.01.Q08

【保護者】子どもの進路に関する悩みや不安を知っているか (全体/単一回答)



※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

H.01.Q03

6.保護者からのアドバイス

- ▶ 高校生の60%が保護者からのアドバイスを「必要」。保護者の77%が相談・アドバイスを「している」。
- ▶ 高校生は自分で決めるためのアドバイスを必要としているが、「押しつけ」「反対」には反発。

- 進路選択について保護者からアドバイスしてほしいかという質問に、高校生の10%が「たくさんアドバイスしてほしい」。「ある程度アドバイスしてほしい」の50%と合わせ60%が保護者からのアドバイスを必要としている(必要・計)。
- 性別にみると、「必要・計」の割合は女子(67%)が男子(54%)よりも多い。
- アドバイスしてほしい内容や理由を書いたら、アドバイスが必要な高校生ほど保護者の関与への要望がみられるが「たくさんアドバイスされると鬱陶しい」と、自主性を妨げない程度のアドバイスを希望していることがうかがえる。反対にアドバイスが不要な高校生には「反対される」「腹が立つ」など保護者との対立や、「先生のほうが詳しい」と保護者の関与に否定的な態度がみられる。
- 一方、保護者に子どもの相談に乗ったりアドバイスしているか尋ねたところ、23%が「よくしている」。「少ししている」(54%)を合わせ77%がアドバイスをしている。
- 続柄別にみると、父親・母親とも7割以上がアドバイスしていると回答(している・計)。

【高校生】進路選択に際して、保護者にアドバイスしてほしいか (全体/単一回答)

凡例	必要・計		不要・計		無回答	必要・計	不要・計	
	たくさんアドバイスしてほしい	ある程度アドバイスしてほしい	あまりアドバイスしてほしくない	アドバイスはいらない				
2011年 全体 (n=1959)	10.3	49.5	21.6	15.1	3.6	59.7	36.7	
2009年 全体 (n=1953)	9.3	49.7	22.1	16.1	2.8	59.0	38.1	
2007年 全体 (n=1802)	9.5	53.3	19.4	15.2	2.7	62.8	34.6	
【2011年属性別】								
性別	男子 (n=977)	8.3	45.4	24.2	18.3	3.8	53.7	42.5
	女子 (n=910)	12.9	53.7	19.1	11.4	2.9	66.6	30.5
希望進路別	大学短大進学 (n=1087)	10.6	50.5	22.4	14.6	1.9	61.1	37.0
	大学進学 (n=997)	10.1	49.9	23.0	15.0	1.9	60.1	38.0
	短大進学 (n=90)	15.6	56.7	15.6	10.0	2.2	72.2	25.6
	専門学校進学 (n=347)	10.7	53.9	19.9	13.0	2.6	64.6	32.9
	就職 (n=429)	9.1	46.9	21.2	16.8	6.1	55.9	38.0

K.01_Q09

<フリーコメント> 保護者にアドバイスしてほしい内容や理由【高校生】

■たくさんアドバイスしてほしい

- 人生の先輩である親の経験を生かしたいから[愛知/男子/大短]
- 間違った選択を自分一人だと導き出してしまうから[新潟/女子/専門]

■ある程度アドバイスしてほしい

- 親の意見を聞いたうえで、自分の進路を決定したいから[新潟/女子/大短]
- たくさんアドバイスされると鬱陶しいが、わからなくなった時にアドバイスされると助かるから[愛知/男子/就職]

■あまりアドバイスしてほしくない

- 親の価値観を押しつけられそうな気がするから[茨城/女子/就職]
- 必ず反対されるから[新潟/女子/専門]
- 先生のほうが詳しいと思うから[愛知/男子/大短]

■アドバイスはいらない

- 自分で決めたほうが良いと思うから[鳥取/男子/就職]
- 聞いてると腹が立つから[茨城/男子/大短]

【保護者】子どもの進路に関する悩みや不安について、相談に乗ったりアドバイスしているか (全体/単一回答)

凡例	している・計		していない・計		無回答	している・計	していない・計	
	よくしている	少ししている	あまりしていない	まったくしていない				
2011年 全体 (n=1417)	22.9	53.8	19.8	2.7	0.8	76.7	22.4	
2009年 全体 (n=1495)	22.0	53.9	20.6	2.8	0.7	75.9	23.4	
2007年 全体 (n=1541)	24.7	52.4	20.2	2.1	0.6	77.2	22.3	
【2011年属性別】								
続柄別	父親 (n=212)	21.7	52.8	21.7	3.3	0.5	74.5	25.0
	母親 (n=1158)	23.0	53.9	19.6	2.6	0.9	76.9	22.2
子ども性別	男子 (n=678)	17.8	53.8	23.3	4.0	1.0	71.7	27.3
	女子 (n=703)	28.0	53.5	16.4	1.4	0.7	81.5	17.8
希望進路別	大学短大進学 (n=679)	24.7	53.8	18.4	2.1	1.0	78.5	20.5
	大学進学 (n=628)	24.4	54.1	18.6	1.8	1.1	78.5	20.4
	短大進学 (n=51)	29.4	49.0	15.7	5.9	—	78.4	21.6
	専門学校進学 (n=173)	27.7	55.5	12.7	3.5	0.6	83.2	16.2
	就職 (n=251)	19.9	49.8	25.9	4.0	0.4	69.7	29.9

※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

H.01_Q04

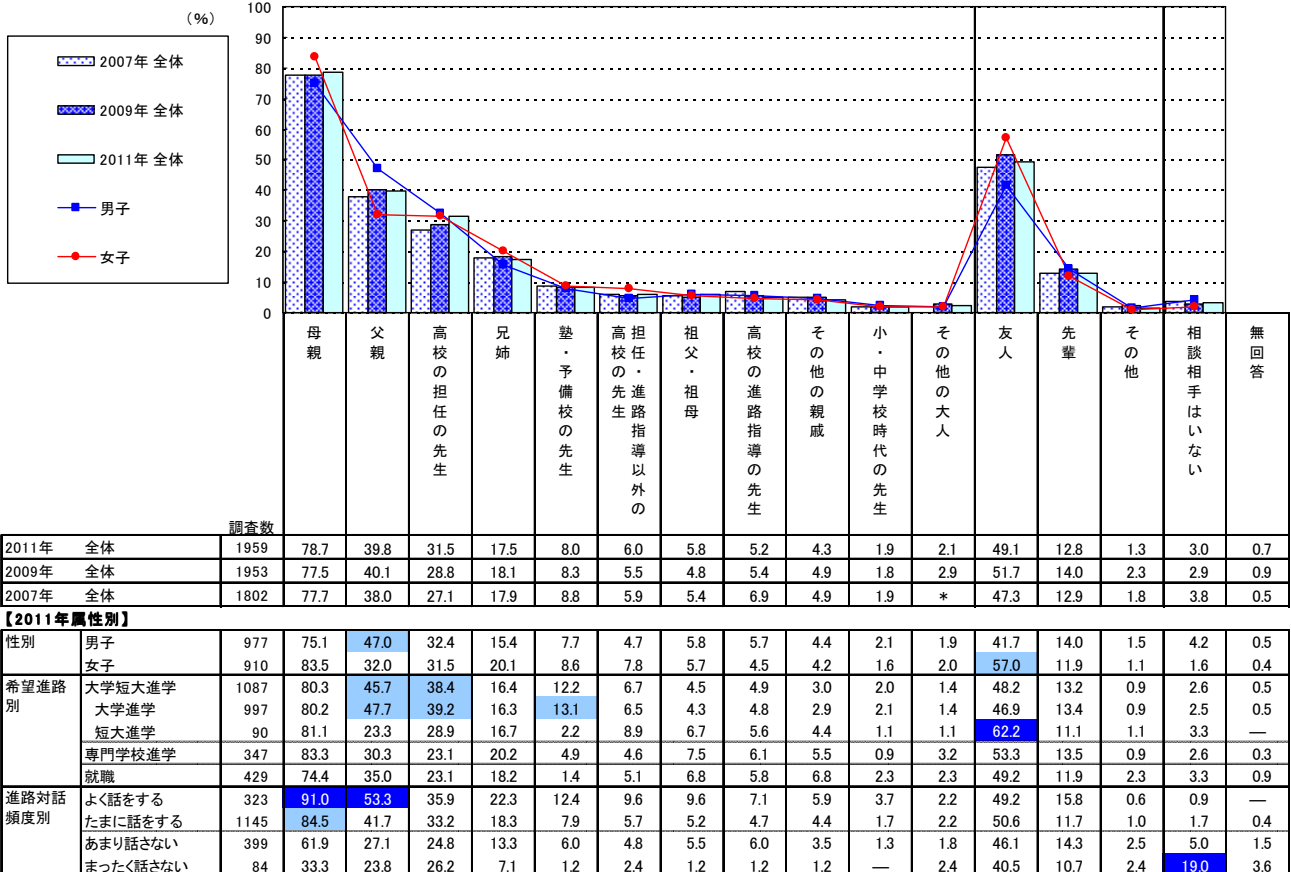
7.進路選択についての相談相手

▶ 高校生が進路を考えるうえで相談する相手は、「母親」が突出。

- ① 母親(79%)
- ② 友人(49%)
- ③ 父親(40%)
- ④ 高校の担任の先生(32%)
- ⑤ 兄姉(18%)

- 高校生に進路を考えるうえで相談する人すべてを尋ねた。トップは「母親」で突出。過去調査と同様、8割近くに達する。
- 性別にみると、男女とも「母親」がトップ。2位に男子は「父親」、女子は「友人」が続く。
- 希望進路別にみると、いずれの進路とも「母親」がトップ。大学短大進学は他進路希望者に比べ「父親」「高校の担任の先生」「塾・予備校の先生」のスコアが高く、相談相手が幅広い。
- 進路対話頻度別にみると、話をする層ほど「母親」「父親」だけでなく、「友人」「高校の担任の先生」「兄姉」「塾・予備校の先生」などのスコアも高く、幅広い立場の相談相手がいる。
- 高校生に一番の相談相手についてその理由を書いてもらったところ、「母親」は一緒にいる時間が長く自分のことをよく理解している“親近感”、「父親」は保護者・身近な社会人としての“信頼感”があることがうかがえる。また、「友人」は、親に話せないことも話し合える“仲間意識”が挙げられた。
→フリーコメントは15ページに掲載

【高校生】進路について、相談する相手（全体／複数回答）



※ カテゴリーごと「2011年全体」降順ソート

※ 【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

K_01_Q10

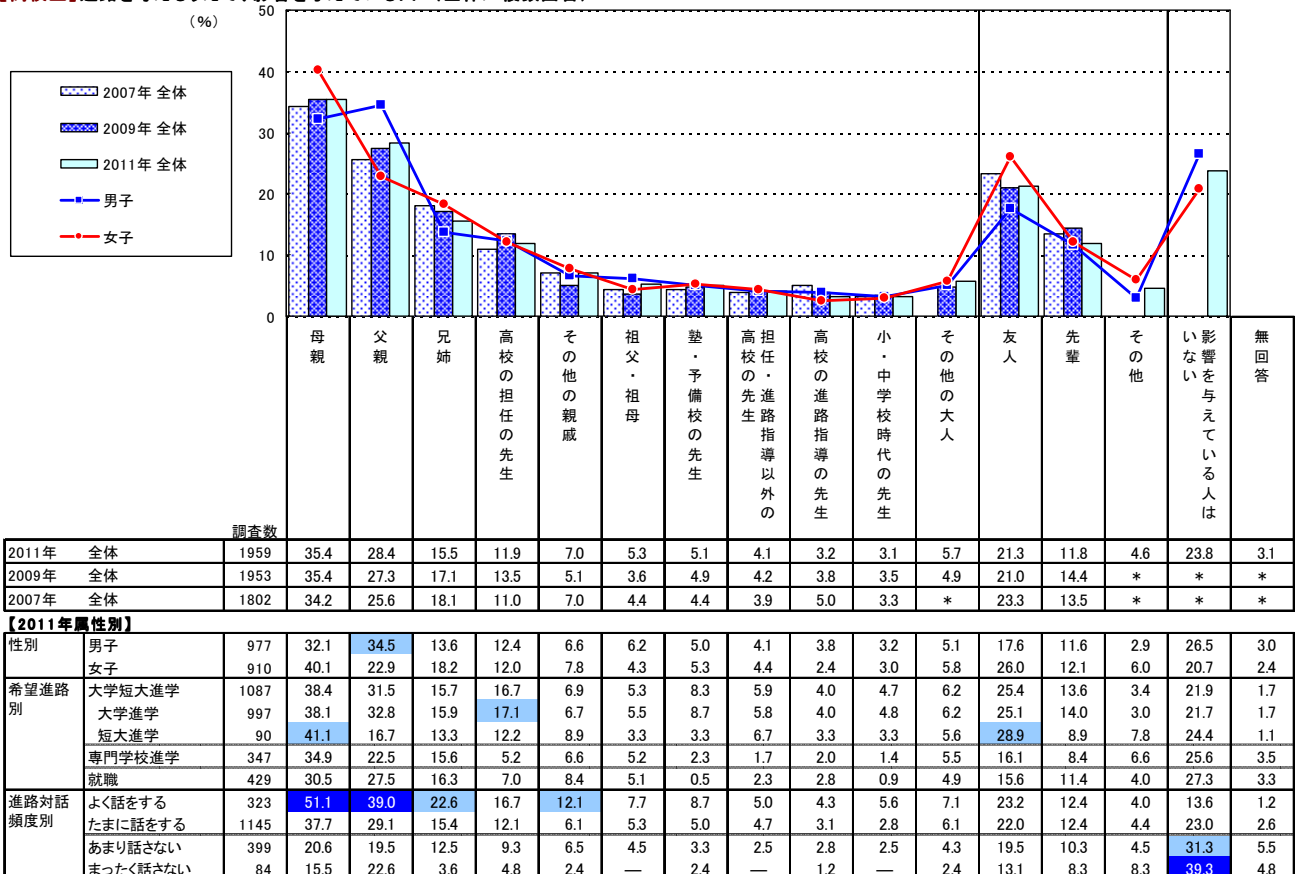
8.進路選択について影響を受ける人物

▶ 高校生が進路を考えるうえで影響を受ける相手も、「母親」がトップ。

- ① 母親(35%)
- ② 父親(28%)
- ③ 友人(21%)
- ④ 兄姉(16%)
- ⑤ 高校の担任の先生(12%)

- 進路を考えるうえで高校生に影響を与えている人すべてを尋ねた。相談相手と同様、「母親」がトップ。過去調査と比較して上位の顔ぶれは変化がないが、「父親」は2007年以降上昇し続けており、影響力が増している。
- 性別にみると、男子は「父親」、女子は「母親」がそれぞれトップであり、同性の保護者からの影響が強い。
- 希望進路別にみると、いずれの進路とも「母親」について「父親」が上位。
- 進路対話頻度別にみると、相談相手と同様に話をする層ほど「母親」「父親」「友人」「兄姉」などのスコアが高く、影響を受ける相手が幅広い。反対に話さない層ほど「影響を与えている人はいない」が多く、ひとりで進路を考える高校生が多い。
- 高校生にいちばん影響を受ける相手についてその理由を書いてもらったところ、「母親」「父親」とも、普段から会話が活発で、仕事・家事に向かう姿を尊敬しているといった親子関係ができていることがうかがえる。さらに、「親の働く姿を見て、なろうと決めた」と、保護者の職業が子どもの進路を決定づけるケースもみられた。また「友人」については、進路という同じ目標のもと刺激し合う良いライバル関係にあることがうかがえる。
→フリーコメントは15ページに掲載

【高校生】進路を考えるうえで、影響を与えている人（全体／複数回答）



※ カテゴリごと「2011年全体」降順ソート
※ 【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

<フリーコメント> 進路選択について一番の相談相手、その理由【高校生】

■母親

- 一緒にいる時間が長くて、自分のことをよくわかってくれているから
[新潟/男子/大短]
- 一番身近でアドバイスなどをしてもらえるし、励ましてもらえるから
[佐賀/男子/大短]
- いろいろと聞いてくれて、一緒に考えてくれる[青森/女子/就職]
- いろんな将来の話聞いてくれるから[佐賀/女子/大短]
- 何でも聞いてくれる、言ってくれるから。父があまり家にいないから
[新潟/女子/大短]

■父親

- 一番身近な社会人だから[新潟/男子/就職]
- 父が仕事の大変さを一番感じていると思うからです
[北海道/男子/専門]
- 大学も出ているから、話を理解しアドバイスしてくれるから
[大阪/男子/大短]
- どこに行くにも親に迷惑はかかるのでちゃんと話す
[北海道/女子/専門]
- お金を出すのは親だし、いろいろなことを知っているから
[北海道/女子/大短]

■高校の担任の先生

- 学力や進路について詳しくと思ったから[大阪/男子/就職]
- 私の成績をちゃんと把握してアドバイスをしてくれるから
[北海道/女子/大短]

■兄姉

- 兄が自分の失敗とかを踏まえてアドバイスしてくれる[東京/男子/専門]
- 少し前に私のような状況にいた人だから[大阪/女子/大短]

<フリーコメント> 進路選択について一番影響を受ける人物、その理由【高校生】

■母親

- 会話の機会が多いし、よくわからないけど親身になってくれるから
[愛知/男子/大短]
- よく相談する機会があり、自分のことのように考えてくれるから
[佐賀/男子/専門]
- 進路のことについてよく聞かれるから[鳥取/男子/専門]
- 言っていることがすぐわかるから[東京/女子/大短]
- 家計をいろいろやり繰りしているから[佐賀/女子/就職]
- 親の働く姿を見て、なろうと決めたから[北海道/女子/専門]

■父親

- 家族で父親が一番権限があるから[青森/女子/大短]
- 政治・経済のことでよく話をするから[佐賀/男子/大短]
- 立派に働いているから[大阪/男子/大短]
- いろいろと仕事の話をしてくれるから[大阪/男子/就職]
- 夢を決めるキッカケになった人だから[佐賀/男子/大短]
- 父が進路に口を出す機会が多いから[青森/女子/大短]

■兄姉

- 兄弟もまだいるからあまりお金をかけたくない[青森/女子/大短]
- 仕事に就いたばかりだから、社会の厳しさなどを教えてもらっている
[新潟/男子/就職]

■高校の担任の先生

- 三者面談などで具体的なアドバイスがあるから[佐賀/女子/専門]
- 多くのことを知ったうえで進路指導・提案をもらえるから[北海道/男子/大短]

■友人

- 一緒に頑張っていて、励みにもなるから[鳥取/男子/大短]
- お互いに自分のことだから、同感し合える[大阪/男子/大短]
- 気軽に話せるし、似たようなことを考えているから[東京/女子/専門]
- 親に言えないことも気軽に話せて、共感できるから[佐賀/女子/大短]
- やっぱ親に言えないこととかあるから、友人は話しやすい
[東京/女子/大短]
- 同じ年代同士気持ちが変わり合えるから[佐賀/女子/大短]

■先輩

- いろいろ教えてくれるし、自分の事情もわかってくれるから
[佐賀/女子/大短]
- 身近な経験者だから[鳥取/女子/大短]
- 自分が行きたい専門学校に行っている先輩だから
[北海道/男子/専門]
- 部活の時によく話すから[茨城/男子/就職]

■相談相手はいない

- 相談はあまりせず、自分で考えている[北海道/男子/就職]
- 人に話すのは恥ずかしい[茨城/女子/大短]
- 自分の中で考えがまとまってないから[大阪/女子/大短]
- 周りに自分が求める人が極端にいない[鳥取/男子/専門]

■友人

- 友達が頑張っているのを見ると自分も頑張ろうと思う
[新潟/男子/大短]
- 周りが進路に向けて頑張ってるのを見ると、自分のことが不安になる
[新潟/女子/大短]
- 友人の進路を聞いていると、いろいろな方向性が見えてくる
[青森/男子/大短]
- たくさんの情報をお互い交換できるから[北海道/女子/大短]
- 近い存在であり、ライバルでもあるから[愛知/女子/大短]
- ライバル心があり、勉強をしようと思える[愛知/男子/大短]

■先輩

- 悩んで決定するまでをみているから、尊敬できる先輩だったから
[青森/女子/就職]
- 頑張れば良い結果を残せるということを示してくれるから
[茨城/男子/大短]
- 就職・進学に関する経験をよく教えてくれるから[茨城/女子/大短]

■影響を与える人はいない

- あまり進路について目標としているものがない[鳥取/男子/大短]
- 自分で好きなことをやりたいから[佐賀/男子/専門]
- 自分でなりたい職業を選ばなかったら将来つまんないと思うから
[北海道/男子/大短]
- 自分で考えることだから[茨城/男子/大短]

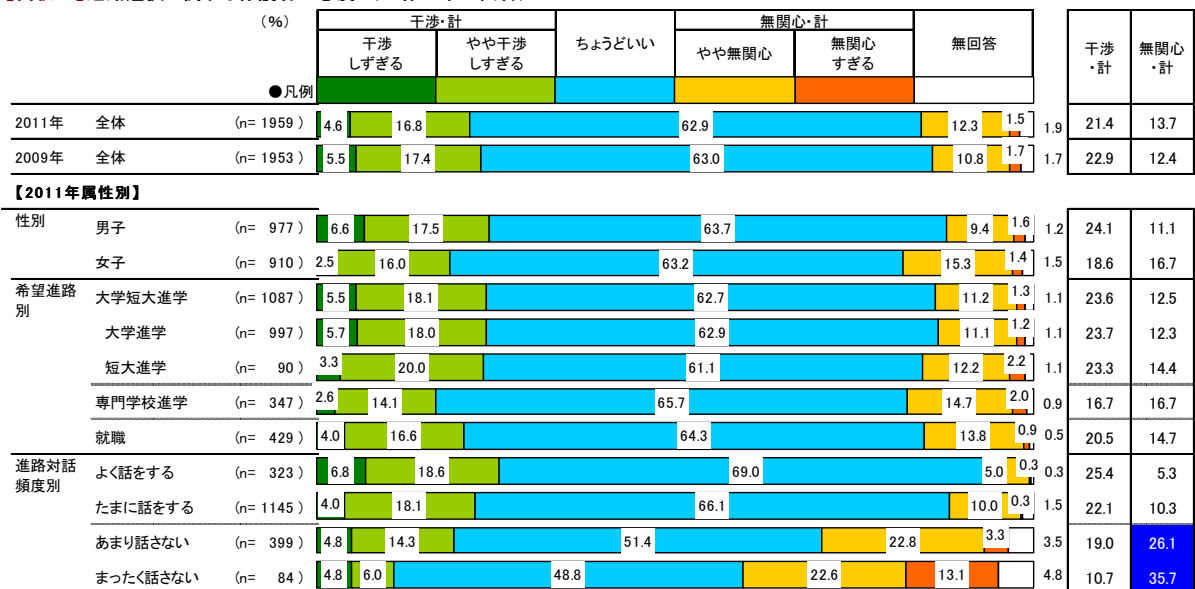
9.進路選択について保護者が取る態度

▶ 進路選択に関する保護者の態度が「ちょうどいい」と感じている高校生は63%。

▶ 「干渉」と感じるのは21%、「無関心」は14%。

- 進路選択に関する保護者の態度を高校生はどのように感じているか尋ねた。「ちょうどいい」が最も多く63%と過半数を占める。「干渉すぎる」「やや干渉すぎる」の合計は21%(干渉・計)、「無関心すぎる」「やや無関心」の合計は14%(無関心・計)。過去調査と比較して、「ちょうどいい」「干渉」「無関心」の割合は変化がない。
- 男女とも「ちょうどいい」が6割強を占めるが、男子は女子よりも「干渉・計」、女子は男子よりも「無関心・計」の割合がやや高い。
- 希望進路別にみると、いずれの進路とも「ちょうどいい」が6割強を占める。大学短大進学では専門学校進学、就職に比べ「干渉・計」が2割強と、干渉的と感じる割合がやや多い。
- 進路対話頻度別にみると、話をする層ほど「ちょうどいい」が多く、話さない層ほど「無関心・計」が多くなる。

【高校生】進路選択に関する保護者の態度（全体／単一回答）



※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

K_01_Q15

10.保護者の行動・態度

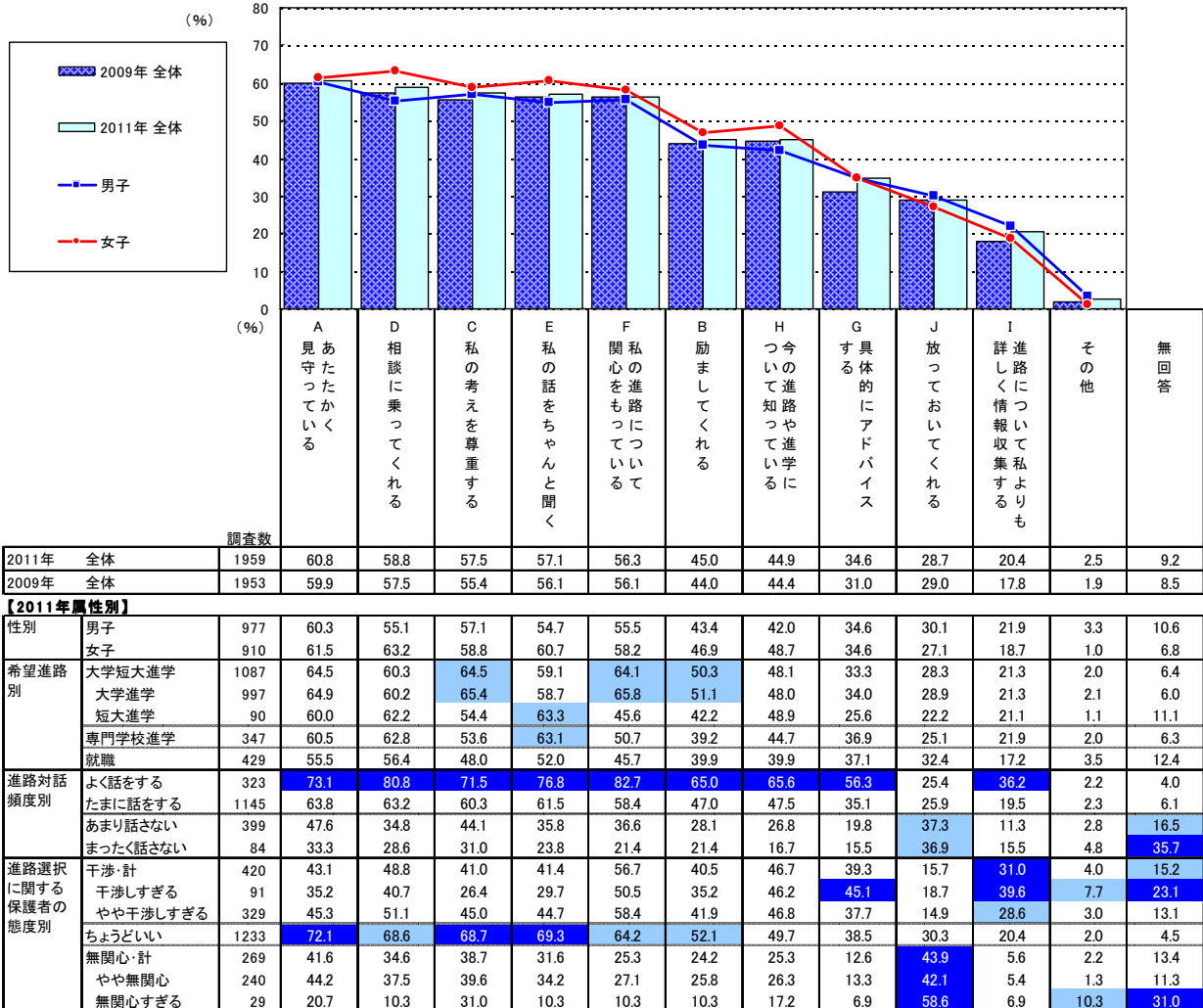
▶進路選択に関する保護者の行動・態度は、「あたたかく見守っている」がトップ。

- ①あたたかく見守っている(61%)
- ②相談に乗ってくれる(59%)
- ③私の考えを尊重する(58%)
- ④私の話をちゃんと聞く(57%)
- ⑤私の進路について関心をもっている(56%)

▶進路についてよく話をする高校生ほど、保護者に見守られ、相談に乗ってもらっている実感が強い。

- 進路選択に関する保護者の行動・態度を呈示し、自分の保護者に当てはまるものすべてを高校生に選んでもらったところ、「あたたかく見守っている」がトップ。過去調査の結果と比較して、上位の顔ぶれは変わらない。
- 性別にみると、男子は「あたたかく見守っている」、女子は「相談に乗ってくれる」がトップ。女子は男子に比べ「私の話をちゃんと聞く」「今の進路や進学について知っている」などのスコアが高く、保護者の関与が幅広い。
- 希望進路別にみると、全体に大学短大進学、専門学校進学の進学希望者でスコアが高い項目が多い。
- 進路対話頻度別にみると、よく話す層ほど「放っておいてくれる」を除く項目のスコアが高く、保護者は幅広い行動・態度で高校生の進路選択に関与していることがうかがえる。
- 進路選択に関する保護者の態度別(16ページの回答別)にみると、保護者の態度が「ちょうどいい」層では「あたたかく見守っている」「私の話をちゃんと聞く」「私の考えを尊重する」「相談に乗ってくれる」が約7割。また、「干渉」層では「進路について私よりも詳しく情報収集する」、「無関心」層では「放っておいてくれる」のスコアが他層に比べ目立って高い。

【高校生】進路選択で保護者に当てはまること (全体/複数回答)



※「2011年全体」降順ソート
 ※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

11. 保護者にしてほしい行動・態度

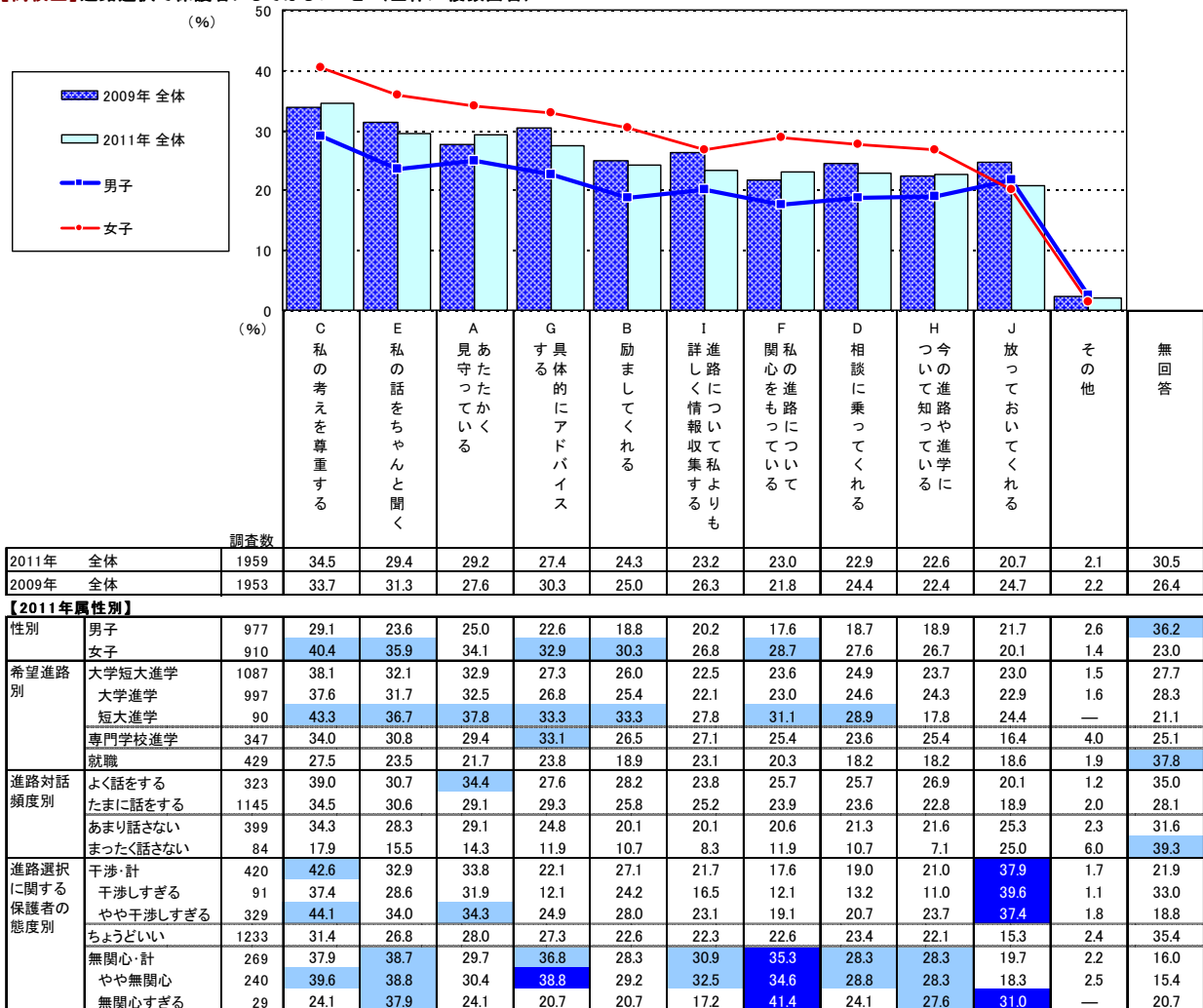
▶ 進路選択で保護者にしてほしい行動・態度は、「私の考えを尊重する」がトップ。

- ① 私の考えを尊重する(35%)
- ② 私の話をちゃんと聞く(29%)
- ③ あたたく見守っている(29%)
- ④ 具体的にアドバイスする(27%)
- ⑤ 励ましてくれる(24%)

▶ 進路選択に関して保護者が干渉的と感じている高校生は「考えを尊重」など自主性を保つ距離感を、無関心と感じている高校生は「話をちゃんと聞く」「アドバイスする」など積極的な関与をそれぞれ希望している。

- 17ページと同じ選択肢を用い、保護者に望む行動・態度を高校生に選んでもらった。「私の考えを尊重する」がトップ。過去調査と比較して、上位の顔ぶれは変わらない。
- 性別にみると、「放っておいてくれる」を除き女子のスコアが男子より高く、女子は保護者への要望が幅広い。
- 希望進路別にみると、全体に大学短大進学、専門学校進学の進学希望者でスコアが高い項目が多い。
- 進路対話頻度別にみると、よく話す層ほど「放っておいてくれる」を除く全項目のスコアが高く、保護者への要望が幅広い。反対に「放っておいてくれる」は話さない層で2割を超え、保護者の関与に反発がみられる。
- 進路選択に関する保護者の態度別にみると、「干渉」層では「私の考えを尊重する」「放っておいてくれる」「あたたく見守っている」のスコアが他層に比べ高い。一方、「無関心」層では「私の話をちゃんと聞く」「具体的にアドバイスする」「私の進路について関心をもっている」などのスコアが高い。

【高校生】進路選択で保護者にしてほしいこと（全体／複数回答）



※「2011年全体」降順ソート
 ※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

12. 保護者にやめてほしい行動・態度

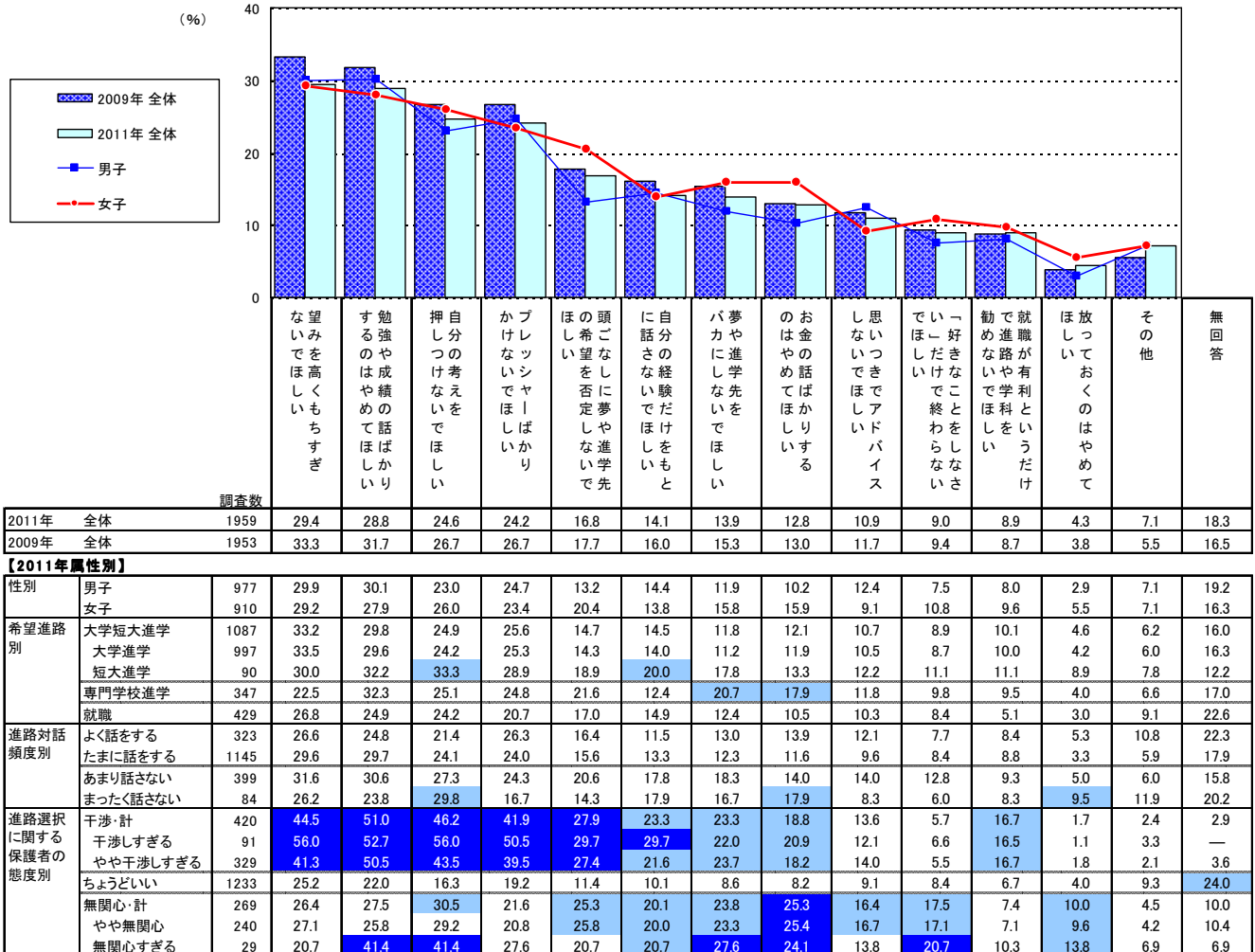
▶ 進路を考えるうえで保護者にやめてほしい行動・態度は「高望み」と「勉強や成績の話」。

- ① 望みを高くもちすぎないでほしい(29%)
- ② 勉強や成績の話ばかりするのはやめてほしい(29%)
- ③ 自分の考えを押しつけないでほしい(25%)
- ④ プレッシャーばかりかけないでほしい(24%)
- ⑤ 頭ごなしに夢や進学先の希望を否定しないでほしい(17%)

▶ 進路選択に関して保護者が干渉的・無関心と感じている高校生は、やめてほしい行動・態度が多い。

- 高校生に進路を考えるうえで保護者にやめてほしい行動・態度を選んでもらった。「望みを高くもちすぎないでほしい」「勉強や成績の話ばかりするのはやめてほしい」がほぼ同スコアでトップに並ぶ。過去調査の結果と比較して、上位の顔ぶれは変わらない。
- 男女とも上位の顔ぶれは同様。女子は「夢や進学先の希望を否定しないで」「お金の話ばかりするのはやめて」「夢や進学先をバカにしないで」のスコアが男子より高く、希望進路に対する保護者の反対への反発が強い。
- 進路選択に関する保護者の態度別にみると、全項目で「ちょうどいい」層に比べ「干渉」あるいは「無関心」層でスコアが高く、保護者にやめてほしい行動・態度が幅広い。

【高校生】進路選択で保護者にやめてほしいこと（全体／複数回答）



※ 「2011年全体」降順ソート

※ 【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Ⅱ 進学すること・働くことに関する考え

13. 進学についての価値観

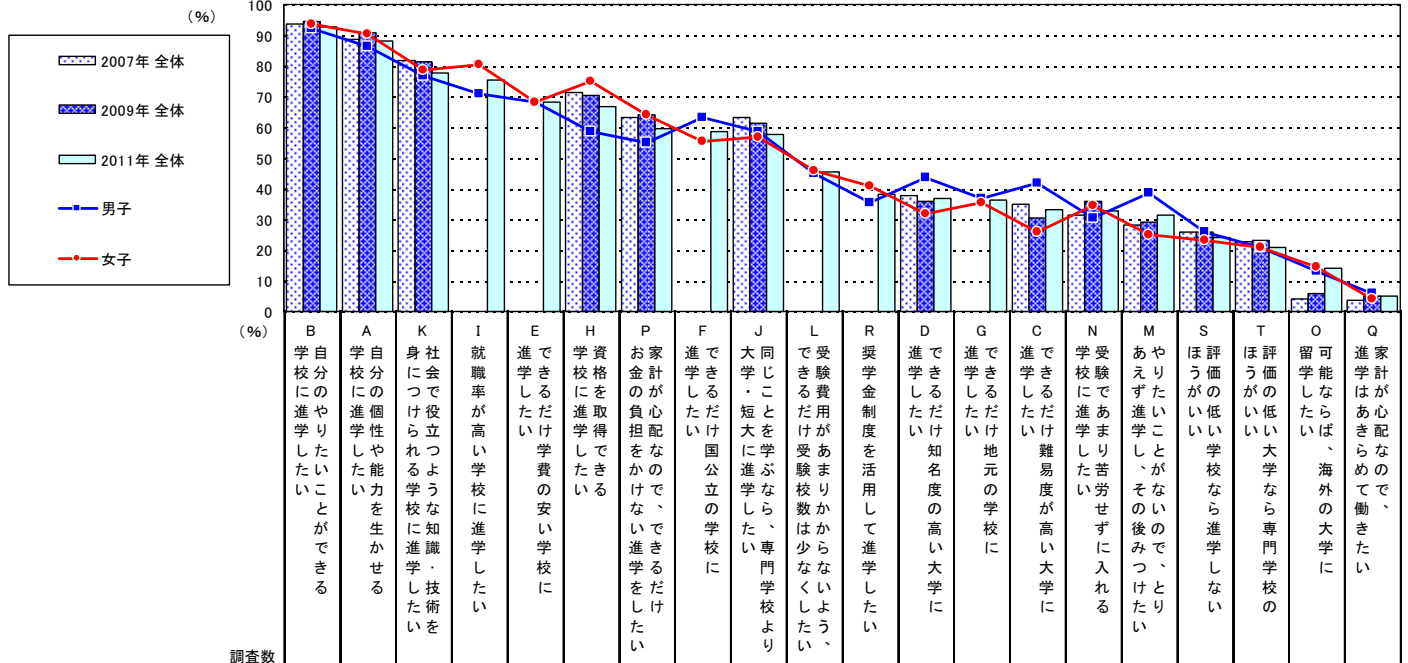
▶ 大学・短大・専門学校いずれかの進学を希望する高校生の、進学に関して思うことは

- ①自分のやりたいことができる学校に進学したい(93%)
- ②自分の個性や能力を生かせる学校に進学したい(88%)
- ③社会で役立つような知識・技術を身につけられる学校に進学したい(78%)
- ④就職率が高い学校に進学したい(75%)
- ⑤できるだけ学費の安い学校に進学したい(68%)

▶ 自分の「やりたいこと」「個性や能力」とともに「社会で役立つ」「就職率」を重視。

- 進学を希望する高校生と、子どもの進学を希望する保護者に、進学に関する価値観20項目についてそれぞれどう思うか尋ねた。高校生の「とてもそう思う」「まあそう思う」合計値が高い項目は上記のとおり。
- 男女とも上位の顔ぶれは同様。男子は、「国公立の学校」「知名度の高い大学」「難易度が高い大学」「やりたいことがないので、とりあえず進学」が女子に比べ高く、有名・難関大学への進学を目標とする価値観が強い。一方女子は「就職率が高い学校」「資格を取得できる学校」「家計が心配」のスコアが男子に比べ高く、進学先卒業後の職業につながる就職・資格の価値観が強い。
- 希望進路別にみると、大学短大進学は「同じことを学ぶなら、専門学校より大学・短大」、専門学校進学は「評価の低い大学なら専門学校」のスコアはそれぞれ高く、進学先の志向が異なる。さらに、大学短大進学希望者のうち、大学進学は「国公立」「知名度」「難易度」、短大進学は「就職率」「資格を取得」のスコアが高く、重視する項目が異なる。

【高校生】進学に関する価値観：「思う・計」の割合（進学希望者／各項目単一回答）



調査年	調査数	B	A	K	I	E	H	P	F	J	L	R	D	G	C	N	M	S	T	O	Q
2011年 全体	1434	92.9	88.1	77.7	75.4	68.3	66.8	59.7	58.7	57.5	45.5	38.3	37.0	36.2	33.1	32.6	31.2	24.1	21.0	14.0	5.0
2009年 全体	1381	94.4	91.0	81.2	*	*	70.3	63.9	*	61.3	*	*	35.8	*	30.4	35.8	28.9	25.9	23.3	6.1	4.9
2007年 全体	1325	93.7	88.8	81.7	*	*	71.5	63.1	*	63.3	*	*	37.8	*	34.9	31.3	28.2	26.0	22.9	4.1	3.8

【2011年属性別】

属性	調査数	B	A	K	I	E	H	P	F	J	L	R	D	G	C	N	M	S	T	O	Q
性別																					
男子	665	92.3	86.2	77.0	71.1	68.0	58.5	54.9	63.0	58.8	45.0	35.6	43.6	37.0	41.7	30.4	38.6	25.9	21.1	13.2	6.0
女子	727	93.8	90.5	78.7	80.3	68.2	75.1	64.2	55.6	56.7	45.9	41.1	31.6	35.4	25.9	34.4	24.9	23.0	20.9	14.6	3.9
希望進路別																					
大学短大進学	1087	93.8	88.4	79.9	77.6	69.5	63.7	60.0	70.9	69.5	45.6	36.7	44.9	36.3	41.7	29.9	36.1	25.4	17.0	15.2	4.0
大学進学	997	94.2	89.2	79.9	76.7	70.2	61.9	59.8	75.6	69.5	44.7	36.4	47.7	36.3	44.9	28.8	37.4	26.7	17.1	15.8	4.1
短大進学	90	90.0	80.0	78.9	87.8	61.1	83.3	62.2	18.9	68.9	55.6	40.0	13.3	36.7	5.6	42.2	21.1	11.1	16.7	7.8	3.3
専門学校進学	347	89.9	87.3	70.9	68.3	64.6	76.7	58.8	20.5	20.2	45.2	43.2	12.1	35.7	6.1	41.2	15.9	19.9	33.4	10.4	7.8
進路対話頻度別																					
よく話をする	268	93.7	92.9	86.9	81.3	68.3	71.6	61.6	67.2	60.8	47.0	45.5	42.9	39.9	43.3	26.1	17.5	25.7	19.4	18.3	6.0
たまに話をする	857	93.3	87.7	76.5	74.8	69.2	67.4	61.0	58.0	56.9	45.2	37.3	35.2	36.8	31.5	32.2	32.3	23.1	20.2	13.3	4.4
あまり話さない	268	92.5	85.4	73.5	73.5	64.9	60.4	53.0	52.2	57.5	44.4	34.0	36.2	31.0	28.7	38.4	40.7	25.7	25.0	12.3	5.2
まったく話さない	38	84.2	84.4	68.4	57.9	68.4	60.5	60.5	60.5	47.4	47.4	36.8	36.8	31.6	23.7	42.1	34.2	23.7	23.7	13.2	7.9

※「2011年全体」降順ソート

※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

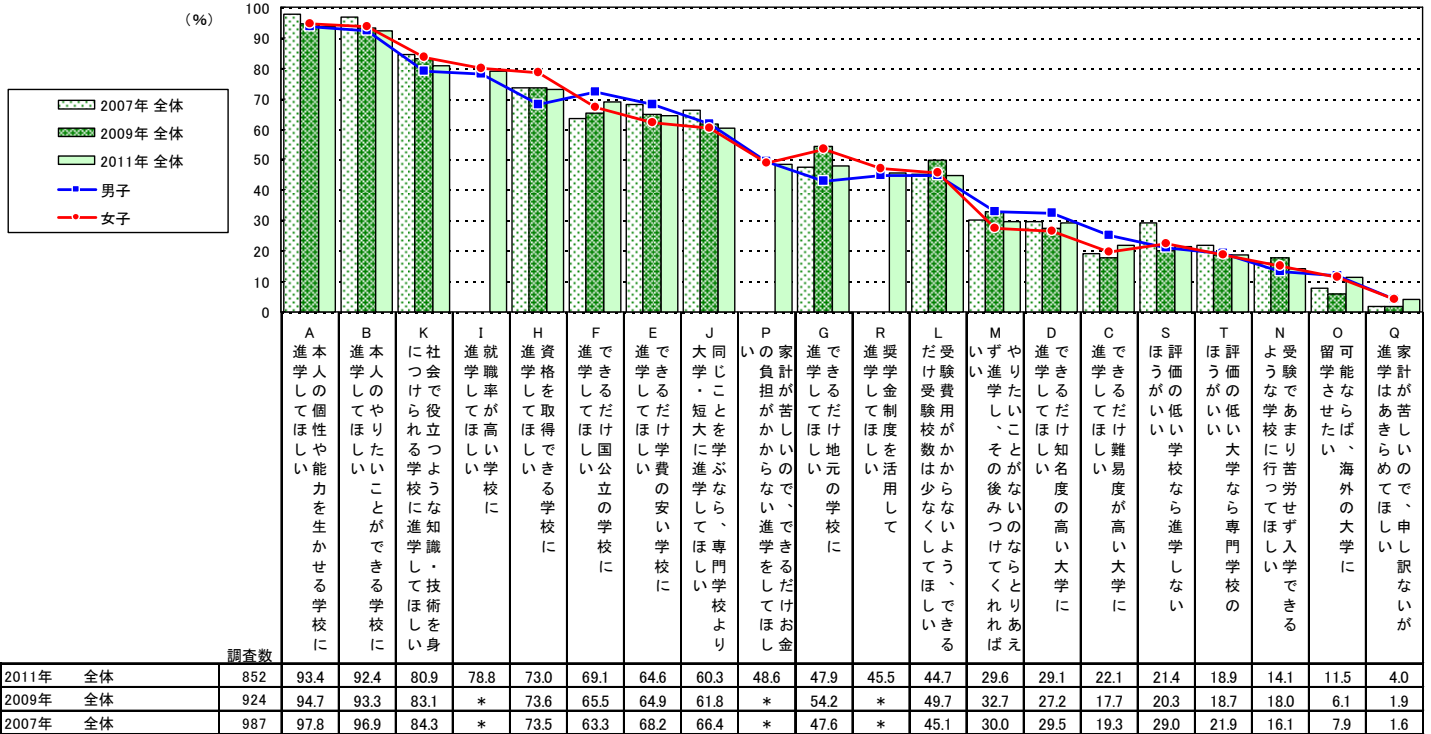
▶ 子どもの大学・短大・専門学校いずれかの進学を希望する保護者が進学に関して思うことは

- ① 本人の個性や能力を生かせる学校に進学してほしい(93%)
- ② 本人のやりたいことができる学校に進学してほしい(92%)
- ③ 社会で役立つような知識・技術を身につけられる学校に進学してほしい(81%)
- ④ 就職率が高い学校に進学してほしい(79%)
- ⑤ 資格を取得できる学校に進学してほしい(73%)

▶ 保護者も高校生と同様に「やりたいこと」「個性や能力」とともに「社会で役立つ」「就職率」を重視。

- 保護者の回答上位は上記のとおり。高校生で上位の項目は保護者でも順位は入れ替わるが上位に挙がり、重視する項目は同傾向である。
- 続柄別にみると、父親・母親とも上位の顔ぶれは同様。父親は「国公立の学校」「学費の安い学校」「お金の負担がかからない進学」「奨学金制度」のスコアが母親に比べ高く、学費・費用がかからない進学として国公立への志向がうかがえる。母親は「就職率」「資格を取得」が父親に比べ高く、進学先卒業後の就職・仕事を重視している。
- 子ども性別にみると、男子は「国公立の学校」「学費の安い学校」「やりたいことがないのならとりあえず進学」「知名度の高い大学」「難易度が高い大学」が女子に比べ高く、国公立、知名度、難易度が高い大学への進学を目標とする意向が強い。一方女子は「資格を取得」「地元の学校」が男子より高い。
- 希望進路別にみると、大学進学と短大進学・専門学校進学とで傾向が分かれる。大学進学は、「国公立の学校」「知名度の高い大学」「難易度が高い大学」のスコアが他進路に比べ高く、有名・難関大学志向が強い。短大進学・専門学校進学は、「資格を取得」「地元の学校」「奨学金制度」が大学進学に比べ高い。

【保護者】進学に関する価値観：「思う・計」の割合（進学希望者／各項目単一回答）



【2011年属性別】

属性	調査数	A	B	K	I	H	F	E	J	P	G	R	L	M	D	C	S	T	N	O	Q	
続柄別	父親	140	92.1	92.9	79.3	65.0	64.3	75.0	71.4	61.4	54.3	45.0	51.4	43.6	32.9	28.6	24.3	23.6	20.0	12.1	11.4	5.0
	母親	692	94.7	93.5	81.9	82.4	75.4	68.8	63.7	61.1	48.0	49.1	44.8	45.7	29.3	22.0	21.4	18.8	14.6	11.7	3.9	
子ども性別	男子	397	93.5	92.2	79.1	78.3	68.0	72.3	68.0	61.5	49.4	42.8	44.8	44.6	33.0	32.2	25.2	20.9	19.4	13.4	11.8	4.0
	女子	437	94.7	93.8	83.5	80.1	78.5	67.3	62.0	60.4	48.7	53.5	46.9	45.8	27.5	26.3	19.5	22.4	18.5	14.9	11.4	4.1
希望進路別	大学短大進学	679	94.4	94.3	80.4	79.1	69.1	75.7	66.4	71.4	47.6	46.1	43.4	43.9	32.3	33.1	26.1	22.4	15.5	13.3	13.4	2.5
	大学進学	628	94.9	94.6	80.1	79.0	67.5	77.9	66.4	72.3	46.7	45.2	42.0	42.5	32.3	34.1	27.7	22.3	15.8	11.8	14.2	2.1
	短大進学	51	88.2	90.2	84.3	80.4	88.2	49.0	66.7	60.8	58.8	56.9	60.8	60.8	31.4	21.6	5.9	23.5	11.8	31.4	3.9	7.8
	専門学校進学	173	89.6	85.0	82.7	77.5	88.4	43.4	57.2	16.8	52.6	54.9	53.8	48.0	19.1	13.3	6.4	17.3	32.4	17.3	4.0	9.8
進路対話頻度別	よく話す	251	96.4	96.8	82.1	79.7	74.5	67.7	61.0	63.7	47.0	45.0	44.6	42.2	25.9	33.5	25.9	24.3	21.1	14.7	13.5	5.2
	たまに話す	529	92.2	90.4	81.3	78.1	72.6	70.3	67.1	59.4	49.9	49.1	45.7	45.7	30.6	27.2	21.0	20.4	17.6	14.0	9.6	3.2
	あまり話さない	69	91.3	91.3	72.5	79.7	69.6	63.8	56.5	55.1	43.5	47.8	46.4	44.9	33.3	26.1	14.5	15.9	18.8	10.1	15.9	2.9
	まったく話さない	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	100.0	100.0	100.0	100.0

※「2011年全体」降順ソート

※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

14. 将来就きたい・就かせたい職業

1) 高校生が将来就きたい職業

▶ 高校生の65%が就きたい職業が「ある」。

▶ 就きたい職業は「公務員」が突出。以下「保育士・幼稚園教諭」「教師」など国家資格が必要な職業が上位。男子は「公務員」「技術者・研究者」、女子は「看護師」「保育士・幼稚園教諭」が人気。

- 高校生に将来就きたい職業はあるか尋ねたところ、「ある」が65%と過半数を占める。
- 性別にみると、女子で「ある」が72%と男子(58%)を大きく上回り、女子の多くが将来就きたい職業を決めている。
- 具体的に就きたい職業は、「公務員」が最も多く、「保育士・幼稚園教諭」「教師」「看護師」が続く。いずれも過去調査で上位5位以内に挙がっており、人気の職業であることがわかる。
- 男子は、「公務員」が突出。以下「技術者・研究者」「教師」「モノづくり」「俳優・タレント・ミュージシャン・声優」。女子は、「看護師」「保育士・幼稚園教諭」がほぼ同スコアでトップに並ぶ。ついで「公務員」「教師」「事務」。

【高校生】将来、就きたい職業はあるか (全体/単一回答)

		(%)	ある	ない	考えたことがない	無回答	
● 凡例							
2011年	全体 (n= 1959)		64.8		24.3	9.4	1.5
2009年	全体 (n= 1953)		65.1		24.7	8.8	1.4
2007年	全体 (n= 1802)		66.1		21.8	9.1	3.0
【2011年属性別】							
性別	男子 (n= 977)		58.0		27.8	13.2	0.9
	女子 (n= 910)		72.4		21.3	5.2	1.1
希望進路別	大学短大進学 (n= 1087)		65.2		26.5	7.6	0.6
	大学進学 (n= 997)		63.9		27.9	7.5	0.7
	短大進学 (n= 90)		80.0		11.1	8.9	—
	専門学校進学 (n= 347)		80.7		13.3	5.5	0.6
	就職 (n= 429)		56.2		28.2	14.9	0.7

K_02_Q19

【高校生】就きたい職業TOP10 (就きたい職業がある/単一回答)

(%)

全体				
順位	職業	2011年 (n=1269)	2009年 (n=1271)	2007年 (n=1192)
1	公務員(国家・地方)	10.0	7.9	7.9
2	保育士・幼稚園教諭	6.5	5.0	5.1
3	教師	6.4	7.2	6.5
4	看護師	5.8	5.8	6.7
5	技術者・研究者	4.3	3.7	4.2
6	医師・歯科医師・獣医	3.9	1.3	3.0
6	俳優・タレント・ミュージシャン・声優	3.9	3.9	1.7
8	調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	3.6	3.6	4.4
9	製造・加工・組立などのモノづくり	3.3	8.2	5.7
10	事務	3.0	1.9	3.2
11	理学療法士・作業療法士	2.7	2.3	1.2
12	社会福祉士・介護福祉士・福祉関係	2.5	1.8	3.4
13	ゲーム関係	2.4	2.9	1.7
13	薬剤師	2.4	2.1	4.0
15	会社員	1.7	1.3	1.8
16	グラフィックデザイナー・CGデザイナー	1.6	1.7	1.2
16	美容師・理容師	1.6	2.6	1.8
16	管理栄養士・栄養士	1.6	2.0	0.8
16	心理カウンセラー	1.6	0.6	1.2
20	ジャーナリスト・編集者・ライター	1.4	0.8	1.7
20	整備士	1.4	3.1	2.0
20	トリマー・動物関連	1.4	2.0	1.9

※「俳優・タレント・ミュージシャン・声優」は2007年までは「俳優・タレント・ミュージシャン」

K_02_Q19S01

男子				
順位	職業	2011年 (n= 567)	2009年 (n= 628)	2007年 (n= 494)
1	公務員(国家・地方)	14.1	11.8	12.1
2	技術者・研究者	8.1	5.6	7.7
3	教師	7.6	5.9	7.1
4	製造・加工・組立などのモノづくり	6.9	15.3	12.3
5	俳優・タレント・ミュージシャン・声優	5.3	4.6	2.4
6	ゲーム関係	4.4	4.8	2.8
7	医師・歯科医師・獣医	3.7	1.3	3.8
7	調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	3.7	3.3	3.4
9	理学療法士・作業療法士	3.5	1.9	0.4
10	整備士	2.8	6.2	4.7

女子				
順位	職業	2011年 (n= 659)	2009年 (n= 614)	2007年 (n= 698)
1	看護師	10.2	10.1	10.9
2	保育士・幼稚園教諭	9.9	9.3	8.0
3	公務員(国家・地方)	6.7	4.2	4.9
4	教師	5.6	8.6	6.0
5	事務	4.7	2.9	5.3
6	医師・歯科医師・獣医	4.1	1.3	2.4
7	調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	3.6	4.1	5.0
8	社会福祉士・介護福祉士・福祉関係	3.5	2.6	4.3
9	薬剤師	3.0	2.4	3.3
10	俳優・タレント・ミュージシャン・声優	2.7	2.9	1.1

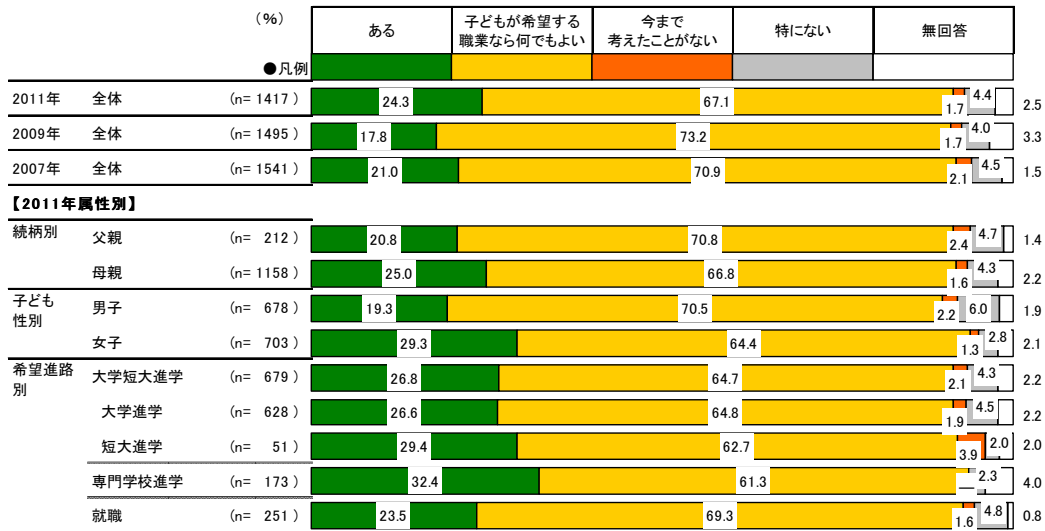
K_02_Q19S01

2)保護者が子どもに将来就いてほしい職業

- ▶保護者の24%が子どもに就いてほしい職業が「ある」。「子どもが希望する職業なら何でもよい」が最も多く、67%。
- ▶就いてほしい職業は「公務員」が突出。以下「看護師」「医師・歯科医師・獣医」など国家資格が必要な職業が上位。

- 保護者に子どもに将来就いてほしい職業はあるか尋ねたところ、「子どもが希望する職業なら何でもよい」(67%)が過半数を占める。就いてほしい職業が「ある」は24%。
- 子ども性別にみると、女子で「ある」が29%と男子(19%)を大きく上回る。
- 具体的に就いてほしい職業は、「公務員」が突出。ついで「看護師」「医師・歯科医師・獣医」「教師」が続く。「公務員」「看護師」「教師」は過去調査で常に上位5位以内に挙がっている。「医師・歯科医師・獣医」は2009年調査では17位と下位にあったが、2011年は3位に上昇した。
- 子どもが男子の場合、「公務員」が突出。「教師」「技術者・研究者」「モノづくり」「会社員」が続く。女子の場合は、「看護師」「公務員」が突出。ついで「保育士・幼稚園教諭」「医師・歯科医師・獣医」「事務」。

【保護者】将来、子どもに就いてほしい職業はあるか（全体／単一回答）



H_02_Q15

【保護者】就いてほしい職業TOP10（就いてほしい職業がある／単一回答）

(%)

全体				
順位	職業	2011年 (n= 345)	2009年 (n= 266)	2007年 (n= 323)
1	公務員(国家・地方)	29.3	1 35.0	1 29.4
2	看護師	15.4	2 10.9	2 8.4
3	医師・歯科医師・獣医	6.1	17 1.1	6 5.3
4	教師	5.2	3 9.0	4 6.2
5	保育士・幼稚園教諭	4.9	7 2.6	7 3.7
6	事務	4.3	17 1.1	9 3.1
7	社会福祉士・介護福祉士・福祉関係	4.1	5 3.0	9 3.1
8	製造・加工・組立などのモノづくり	3.8	7 2.6	11 2.2
9	技術者・研究者	3.5	7 2.6	5 5.9
9	薬剤師	3.5	4 4.5	3 7.4
11	理学療法士・作業療法士	3.2	5 3.0	- *
12	会社員	2.3	11 1.9	7 3.7
13	調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	1.7	11 1.9	16 0.6
14	心理カウンセラー	1.2	14 1.5	27 —
15	弁護士・法律関連	0.6	7 2.6	12 1.2
15	通訳・翻訳	0.6	27 —	16 0.6
15	アナウンサー	0.6	23 0.4	27 —
15	グラフィックデザイナー・CGデザイナー	0.6	23 0.4	27 —
15	建築設計士	0.6	20 0.8	14 0.9
15	整備士	0.6	20 0.8	14 0.9

※「*」: 該当カテゴリーなし
 ※2007年は「子ども性別」データなし

H_02_Q15SQ1

子ども性別: 男子				
順位	職業	2011年 (n= 131)	2009年 (n= 131)	
1	公務員(国家・地方)	42.7	1 51.1	
2	教師	7.6	2 6.1	
3	技術者・研究者	6.9	5 3.8	
4	製造・加工・組立などのモノづくり	6.1	3 4.6	
5	会社員	4.6	6 3.1	
5	医師・歯科医師・獣医	4.6	10 1.5	
7	薬剤師	3.1	3 4.6	
8	看護師	2.3	6 3.1	
8	理学療法士・作業療法士	2.3	6 3.1	
10	整備士	1.5	10 1.5	
10	社会福祉士・介護福祉士・福祉関係	1.5	9 2.3	

子ども性別: 女子				
順位	職業	2011年 (n= 206)	2009年 (n= 127)	
1	看護師	22.8	2 17.3	
2	公務員(国家・地方)	20.9	1 19.7	
3	保育士・幼稚園教諭	7.8	4 5.5	
4	医師・歯科医師・獣医	7.3	15 0.8	
5	事務	6.8	14 1.6	
6	社会福祉士・介護福祉士・福祉関係	5.8	6 3.9	
7	教師	3.9	3 12.6	
7	薬剤師	3.9	5 4.7	
9	理学療法士・作業療法士	3.4	7 3.1	
10	調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	2.4	7 3.1	

H_02_Q15SQ1

<フリーコメント> 将来就きたい職業の理由【高校生】

■公務員

- 人のために働けて収入も安定しているから[佐賀/男子/就職]
- 安定していて、周りの力になってあげられるから[青森/女子/大短]
- 地域や国に生きる人のために働きたいから[北海道/男子/大短]
- 自分の住んでいる地域のために働きたいから[茨城/女子/就職]
- 安定しているから、クビにならないから[愛知/男子/就職]
- 親や周りの人が勧めてくるから[北海道/男子/就職]

■保育士・幼稚園教諭

- 子どもが好きで、自分がたのしいと思えるから[北海道/女子/専門]
- 小さい時先生にあこがれたから[茨城/女子/大短]
- 保育実習などの体験をして、興味をもったから[新潟/女子/就職]

■教師

- よく知っている職業であり古くから関心があったから[茨城/男子/大短]
- あこがれの先生のようにになりたいから[新潟/女子/大短]
- 社会が好きだということを生かせるし、中学校時代の先生の存在が大きかったから[新潟/男子/大短]
- 学校が好きだから[愛知/女子/大短]

■看護師

- やりがいがあるが大変そうだけど、人の役に立てる仕事だと思うから[佐賀/女子/専門]
- 手に職をつけたい。厳しいけれど需要がある[大阪/女子/大短]
- 安定しているし、いつの時代でも必要とされているから[青森/女子/大短]
- 興味があるし、高収入で母を楽にできるかもしれないから[茨城/女子/専門]

<フリーコメント> 将来就いてほしい職業の理由【保護者】

■公務員

- 解雇されることがなく、安定している給与面でも確実に昇給がある[愛知/母親/男子]
- 安定しているから。女性でも男性と対等に評価してもらえるので[佐賀/母親/女子]
- 仕事は大変だが、収入的に安定している[茨城/母親/男子]
- 大学は他県で客観的に地元を見てもらい、将来は戻ってきて地域のために役立ってほしい[佐賀/母親/女子]

■看護師

- 就職率が高い。結婚、子育てにより仕事をやめても再就職できるので[茨城/母親/女子]
- 大変な仕事なのはわかるが人の役に立つ、求められる人材になってほしいから[青森/母親/女子]
- 自分のため、人のためになるとてもやりがいのある仕事だから[鳥取/母親/女子]

■医師・歯科医師・獣医

- やりがいがあり人のために役立つ職業だから就職率が高い[茨城/母親/女子]
- 専門知識を必要とし、社会に貢献できる職業であるから[茨城/母親/男子]

■教師

- 本人の子供のころからの夢だから[新潟/母親/女子]
- やりがいもあり、女性が働きやすい職場・職業であると思うから[青森/母親/女子]

■技術者・研究者

- 好きな事を仕事として研究できるなんて、この上もなく幸福なことだと思いますから[青森/男子/大短]
- とことん自分の興味のあることを追究してみたい[茨城/男子/大短]
- 日本を支えてる人たちだから、自分も支えていきたいと思ったから[大阪/男子/就職]

■医師・歯科医師・獣医

- 命を助けることのすばらしさがあるから[大阪/男子/大短]
- 技術をもっていればどこに行っても役に立つことができる[茨城/男子/大短]
- 役に立つ仕事で一番初めに思い浮かんだ[北海道/女子/大短]

■俳優・タレント・ミュージシャン・声優

- 誰かが楽しめるような職に就きたいから[大阪/男子/専門]
- 人気の職業だし、すぐくすてきだと思うから[愛知/女子/就職]

■製造・加工・組立などのモノづくり

- 製品が実生活に役立つから[佐賀/男子/大短]
- 工業高校なので、工業関係の仕事に就きたい[東京/男子/就職]
- 機械に興味があるから[鳥取/男子/大短]

■事務

- コソコソやるのが好きだし、給料もいいと思うから[北海道/女子/大短]
- 簿記の資格を生かせるから[佐賀/女子/就職]
- 安定している職業だから。電卓やエクセルが好きだから[佐賀/女子/就職]

■保育士・幼稚園教諭

- 結婚してからもできる職業[茨城/母親/女子]
- 専門職であること。自分の子育てにも役に立つこと。子どもの性格に合っていると思うから[鳥取/母親/女子]
- 子供の幼い時からの夢だからかなえてほしい[茨城/母親/女子]

■事務

- そのために商業高校で勉強しているから[茨城/母親/女子]
- 学校で習ったことを生かしてほしい[茨城/母親/女子]
- 医療事務に就いてほしいのですが、安定しているし、職場も豊富なため[佐賀/母親/女子]

■製造・加工・組立などのモノづくり

- 高校で取得した資格を生かしてほしいから[愛知/母親/男子]
- 本人が機械加工に興味があるようなので、その道に進むべきと考えています[愛知/父親/男子]

■技術者・研究者

- 本人の希望だから[茨城/母親/男子]
- 好きなものを調べるのが得意だから[茨城/父親/男子]

■会社員

- 正社員として働いてほしい[愛知/母親/男子]
- 給料が安定[青森/母親/男子]

15. 目指している・あこがれている人

▶ 目指している人やあこがれている人が「いる」高校生は29%。

▶ 目指している人物として、「父親」は15%、「母親」は11%。

- 高校生に目指す人・あこがれる人はいるか尋ねたところ、「いる」は29%。過去調査と比較して変化はない。
- 目指す人・あこがれる人がいる高校生にその対象を選んでもらった。「有名人」が最も多く26%。ついで「父親」(15%)、「母親」(11%)。
- 性別にみると、男子は「父親」、女子は「母親」の割合が多く、同性の親を理想とする傾向がみられる。

【高校生】目指している・あこがれている人はいるか（全体／単一回答）

			(%)			
			いる	いない	無回答	
●凡例						
2011年	全体	(n= 1959)	29.2	69.5		1.2
2009年	全体	(n= 1953)	27.7	70.4		1.9
2007年	全体	(n= 1802)	28.1	69.8		2.1

【2011年属性別】

		(%)			
		いる	いない	無回答	
性別	男子	(n= 977)	27.0	72.1	0.9
	女子	(n= 910)	30.5	69.0	0.4
希望進路別	大学短大進学	(n= 1087)	28.4	71.1	0.5
	大学進学	(n= 997)	28.5	71.0	0.5
	短大進学	(n= 90)	27.8	72.2	—
	専門学校進学	(n= 347)	32.9	66.6	0.6
	就職	(n= 429)	26.3	73.0	0.7

K 02 Q18

【高校生】目指している・あこがれている人（目指している人がいる／単一回答）

			(%)					
			父親	母親	有名人	その他	無回答	
●凡例								
2011年	全体	(n= 573)	15.0	11.0	25.5	39.4	9.1	
2009年	全体	(n= 541)	17.6	9.6	21.4	47.1		4.3
2007年	全体	(n= 507)	14.8	11.6	25.2	44.0		4.3
【2011年属性別】								
性別	男子	(n= 264)	25.0	2.3	29.5	34.1	9.1	
	女子	(n= 278)	6.1	19.4	22.3	44.2	7.9	
希望進路別	大学短大進学	(n= 309)	16.2	10.7	18.8	45.3	9.1	
	大学進学	(n= 284)	17.6	9.2	19.0	44.7	9.5	
	短大進学	(n= 25)	—	28.0	16.0	52.0		4.0
	専門学校進学	(n= 114)	9.6	14.0	36.8	31.6	7.9	
	就職	(n= 113)	20.4	10.6	27.4	34.5	7.1	

K_02_Q18SQ1

<フリーコメント> 目指している・あこがれている理由【高校生】

■父親

- とても知識も豊富で、なんでもできる父だからです
[北海道/男子/専門]
- 家族を幸せにしているから[東京/男子/就職]
- 仕事を一生懸命やってるから[佐賀/男子/大短]
- 自分の目指す職業と同じ分野の仕事をしているから
[北海道/男子/大短]

■母親

- こんなに家族のために頑張る姿がカッコイイ。驚く[青森/女子/大短]
- テキパキしていて頼れる存在だから[大阪/女子/大短]
- 仕事も家事も頑張っているから[新潟/女子/就職]
- 身近な存在だから[大阪/女子/大短]

※有名人

「ビル・ゲイツ」「秋元康」「川越達也」、その他:声優、ミュージシャン、俳優、作家など

※その他

「兄」「姉」など家族・親戚、小学校～高校の「先生」「先輩」、就きたい職業の人物など

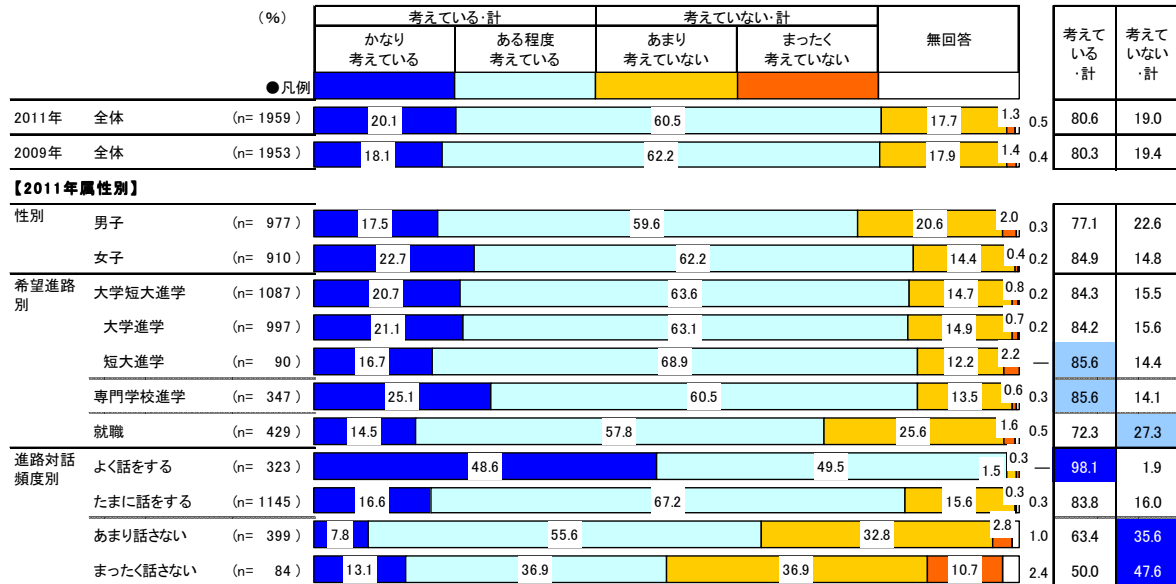
Ⅲ 進路にまつわる期待と不安

16.進路意識と将来への自信

- ▶ 高校生の81%が進路について「考えている」。自分の進路を歩んでいけると「思う」高校生は70%。
- ▶ 進路について保護者と活発に話す高校生ほど、進路意識と将来の自信が高まる。

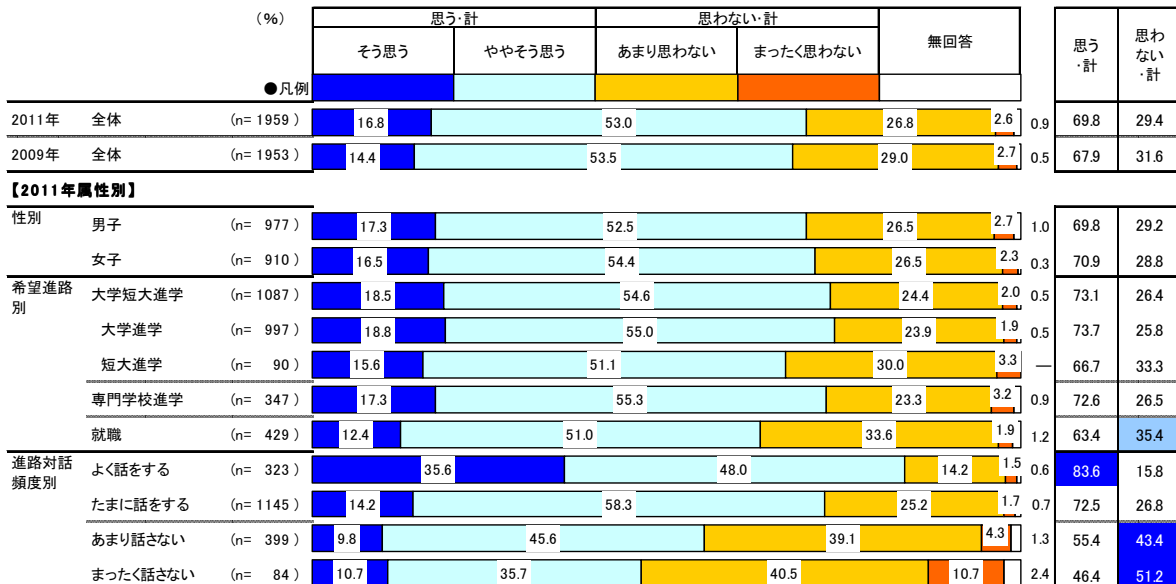
- 高校2年生の時点で進路選択についてどの程度考えているか高校生に質問したところ、20%が「かなり考えている」と回答。「ある程度考えている」の61%と合わせると81%が進路について考えている(考えている・計)。
- 性別にみると、「考えている・計」は女子が85%と男子(77%)より多く、女子のほうが進路検討意識が高い。
- 希望進路別にみると、「考えている・計」は大学短大進学、専門学校進学の進学希望者は8割強を占めるが、就職希望者は7割と考えている割合が少ない。
- また、これからいろいろなことがあっても自分の進路を歩んでいけそうか質問した。「そう思う」は17%、「ややそう思う」の53%を含め70%が歩んでいけそうと思っている(思う・計)。
- 男女とも「思う・計」は7割と過半数を占める。
- 希望進路別にみると、「思う・計」は大学短大進学、専門学校進学の進学希望者で7割強。一方、就職希望者は63%と進学希望者に比べ実現可能であるという認識が相対的に低い。
- 進路対話頻度別にみると、話をする層ほど進路選択について「考えている」、自分の進路を歩んでいけると「思う」どちらも多く、活発な会話は積極的な進路意識と将来への自信にむすびついていることがわかる。

【高校生】自分の進路選択について考えているか (全体/単一回答)



K 03 Q04

【高校生】自分の進路を歩んでいけそうか (全体/単一回答)



※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

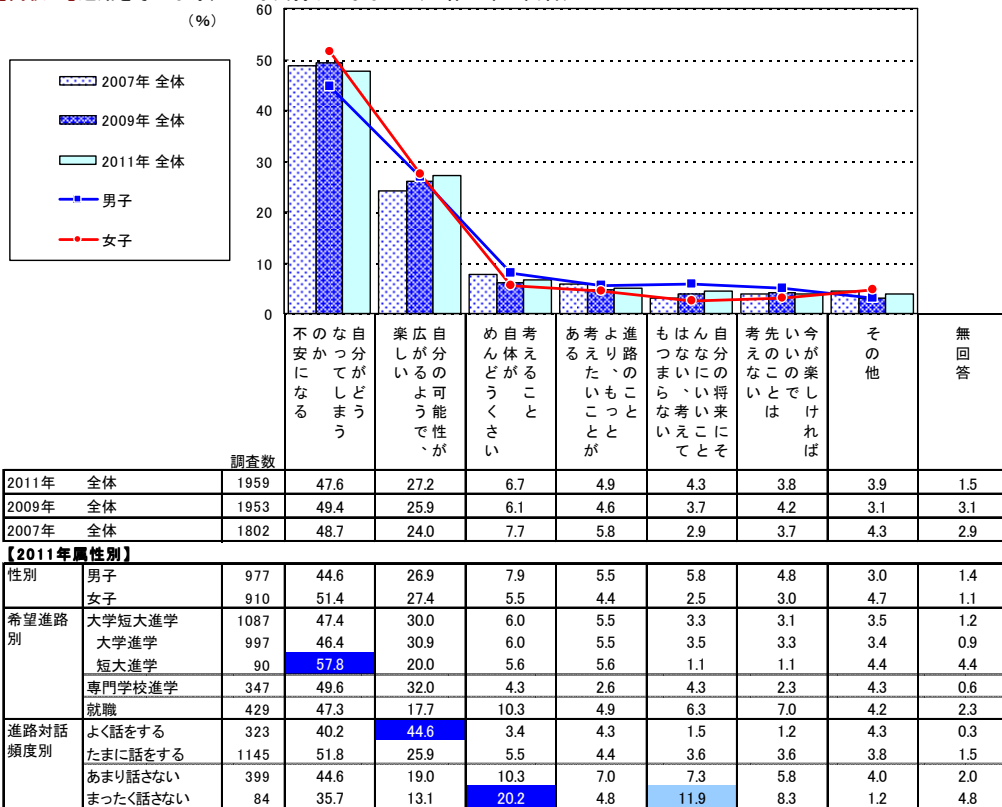
K 03_Q05

17. 進路を考えたときの気持ち

- ▶ 進路を考えたとき、高校生の48%が「自分がどうになってしまうのか不安になる」。
- ▶ 進路について保護者と活発に話す高校生は、「自分の可能性が広がるようで、楽しい」と前向き。

- 高校生に進路を考えたとき、どんな気持ちになるか質問したところ、「自分がどうになってしまうのか不安になる」が最も多く48%。ついで「自分の可能性が広がるようで、楽しい」が27%。過去調査と比較して「不安になる」の割合は変化がないが、「楽しい」は微増傾向がみられる。
- 男女とも「不安になる」がトップだが、女子で特に多く5割を超える。
- 進路対話頻度別にみると、よく話をする層では「楽しい」が45%と半数近くを占めトップ。しかし、ついで対話頻度が高いたまたに話をする層では、「自分がどうになってしまうのか不安になる」が52%と、話さない層よりも多く、十分な会話がないと不安が強くなることがうかがえる。
- さらに、進路を考えたときの気持ち別に保護者と話す内容(6ページ参照)をみると、「楽しい」高校生はほぼ半数が「将来の自分の夢」について会話しており、他層に比べ突出している。

【高校生】進路を考えた時、どんな気持ちになるか (全体/単一回答)



K_03_Q06

【高校生】進路を考えたときの気持ち別・進路についてどんな話をしているか (よく話をする～あまり話さない/複数回答)

(%)

調査年	属性	調査数	科・進路・就職先	高校卒業後の学問	職業に就きたいか	将来の夢	現在の成績	将来の自分の夢	生活をしたいか	生き方をしたいか	進路費用について	保護者の話(現在の)	保護者の高校時代の話	大・短大・専門学校の動向	経済や企業の動き	保護者の大学の話	保護者の進路選択の話	その他	無回答
2011年	全体	1867	57.8	50.0	42.1	37.9	26.2	20.2	16.4	15.7	14.4	11.2	8.1	7.8	6.2	1.1	1.8		
進路検討時の気持ち別	自分がどうしてしまうのか不安になる	901	61.5	50.4	43.1	35.7	23.9	17.3	16.0	14.5	14.2	11.5	7.0	8.1	5.5	1.0	1.3		
	自分の可能性が広がるようで、楽しい	516	58.5	54.7	38.6	49.8	30.8	24.8	20.2	18.6	15.3	11.4	8.5	7.9	6.0	0.6	1.7		
	考えること自体がめんどくさい	115	44.3	43.5	35.7	26.1	16.5	13.9	8.7	8.7	11.3	7.8	7.0	7.0	6.1	3.5	—		
	進路のことより、もっと考えたいことがある	92	48.9	35.9	51.1	25.0	21.7	22.8	12.0	15.2	14.1	13.0	6.5	7.6	6.5	—	1.1		
	自分の将来にそんなにいいことはない、考えてもつまらない	75	46.7	40.0	45.3	17.3	22.7	16.0	18.7	12.0	10.7	13.3	8.0	2.7	5.3	—	9.3		
	今が楽しければいいので先のことは考えない	68	50.0	52.9	42.6	32.4	39.2	26.5	8.8	16.2	14.7	10.3	8.8	7.4	7.4	1.5	1.5		

※「2011年全体」降順ソート

※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

K_03_Q01SQ1

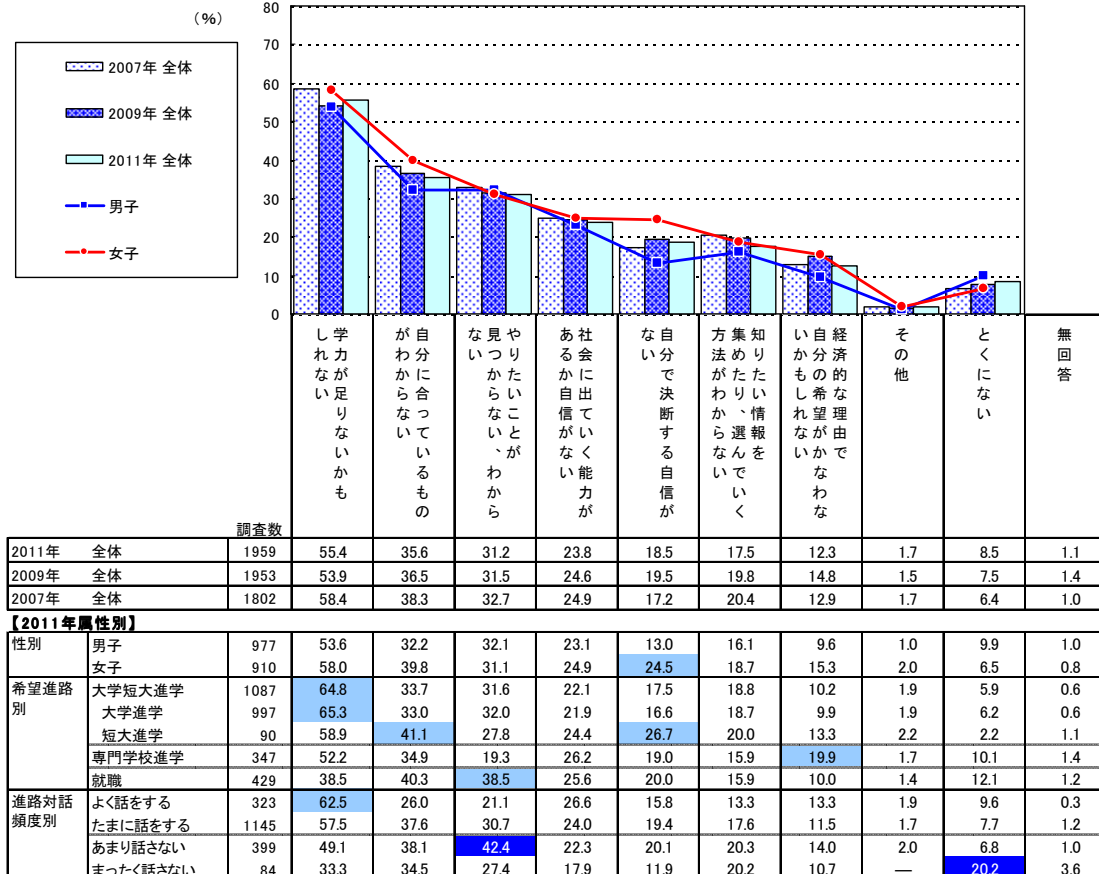
18.進路選択についての気付き

▶ 進路選択について高校生の最大の気付きは「学力不足」。

- ① 学力が足りないかもしれない(55%)
- ② 自分に合っているものがわからない(36%)
- ③ やりたいことが見つからない、わからない(31%)

- 高校生に進路選択についての気付きをすべて選んでもらった。トップは「学力が足りないかもしれない」で55%と半数を超える。過去調査と比較して、上位の顔ぶれは変わらない。
- 性別にみると、女子は男子に比べほとんどの項目でスコアが高く、気付きなことが幅広い。特に「自分で決断する自信がない」は男子を大きく上回り、4人に1人が進路決定に不安がある。
- 希望進路別にみると、大学短大進学、専門学校進学の進学希望者は「学力が足りないかもしれない」、就職希望者は「自分に合っているものがわからない」がそれぞれトップ。就職希望者はさらに「やりたいことが見つからない、わからない」のスコアが進学希望者に比べ高く、進路を選択するうえで自分の適性・希望がわからない高校生が多い。
- 進路対話頻度別にみると、話をする層ほど「学力が足りないかもしれない」が突出。よく話をする層は「自分に合っているものがわからない」「やりたいことが見つからない、わからない」が他層に比べ低く、十分に保護者と会話ができている高校生は進路選択への不安は相対的に低いことがうかがえる。

【高校生】進路選択についての気付き (全体/複数回答)



※「2011年全体」降順ソート

※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

K_03_Q07

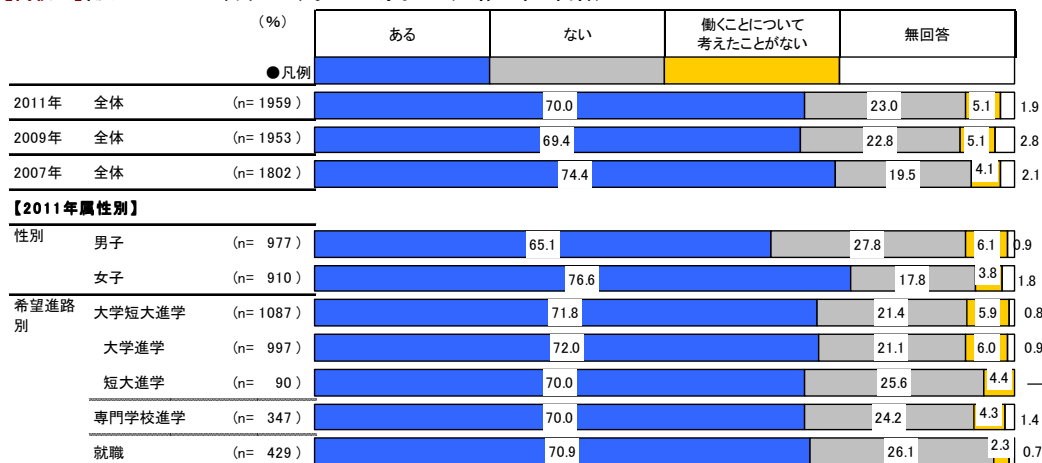
19. 将来働くことについての気付き

1) 高校生が将来働くことについて気付きはあるか

- ▶ 高校生・保護者とも、70%が将来働くことについて気付きが「ある」。
- ▶ 保護者は気付きがある割合が2009年からやや増加。

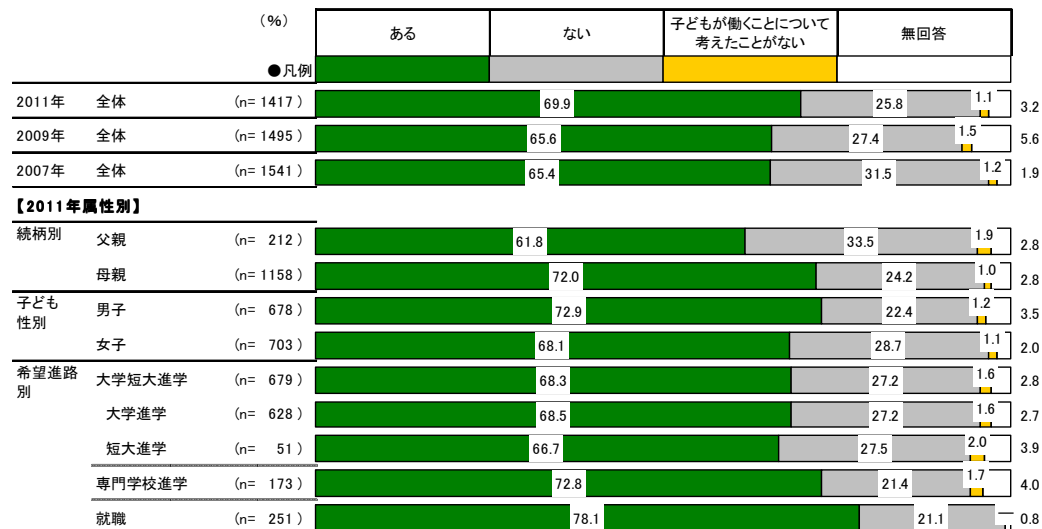
- 高校生が将来働くことについて気付きなことがあるかという質問に、高校生の70%が「ある」と回答。過去調査と比較すると、「ある」の割合は2007年以降7割前後で推移している。
- 性別にみると、「ある」の割合は女子(77%)が男子(65%)よりも多く、約8割を占める。
- 同様に、保護者にも将来子どもが働くことについて気付きはあるか尋ねたところ、70%が「ある」。過去調査と比較すると、「ある」の割合は2007～2009年はほぼ横ばい推移だったが、2011年はやや増加。
- 続柄別にみると、「ある」の割合は母親(72%)が父親(62%)を大きく上回る。
- 子ども性別にみると、「ある」の割合は男子が73%と女子(68%)に比べ多い。

【高校生】働くことについて、気付きなことはあるか（全体／単一回答）



K_03_Q21

【保護者】将来、子どもが働くことについて気付きはあるか（全体／単一回答）



H_03_Q16

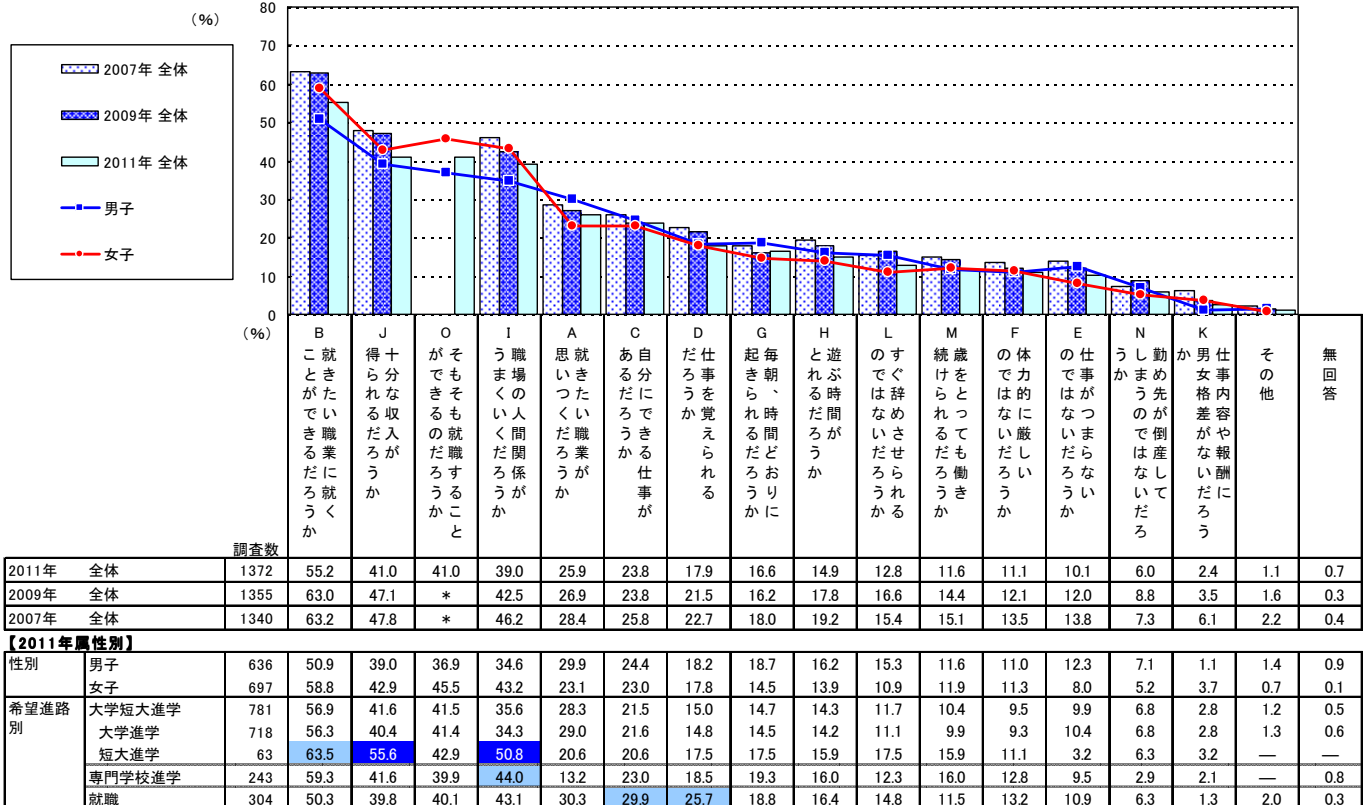
2) 将来働くことについて気がかりなこと

▶ 将来働くことについて、高校生の最大の気がかりは「就きたい職業に就けるか」。

- ① 就きたい職業に就くことができるだろうか(55%)
- ② 十分な収入が得られるだろうか(41%)
- ② そもそも就職することができるのだろうか(41%)
- ④ 職場の人間関係がうまくいだろうか(39%)
- ⑤ 就きたい職業が思いつくだろうか(26%)

- 将来働くことに気がかりが「ある」高校生と保護者に、具体的に気がかりな内容を5項目まで選んでもらった。高校生の回答上位は上記のとおり。
- 男女とも上位の顔ぶれは同様だが、女子のスコアのほうが高い。特に「そもそも就職することができるだろうか」「職場の人間関係がうまくいだろうか」は4割以上が気がかりなことに挙げた。
- 希望進路別にみると、いずれの進路も上位の顔ぶれは同様。就職希望者は「自分にできる仕事があるだろうか」「仕事を覚えられるだろうか」が進学希望者に比べスコアが高く、仕事の適性に対する不安が強い。

【高校生】働くことについて気がかりなこと（気がかりがある／5項目まで回答）



※ 「2011年全体」降順ソート

※ 【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

▶ 子どもが将来働くことについて、保護者の最大の気がかりも「就きたい職業に就けるか」。

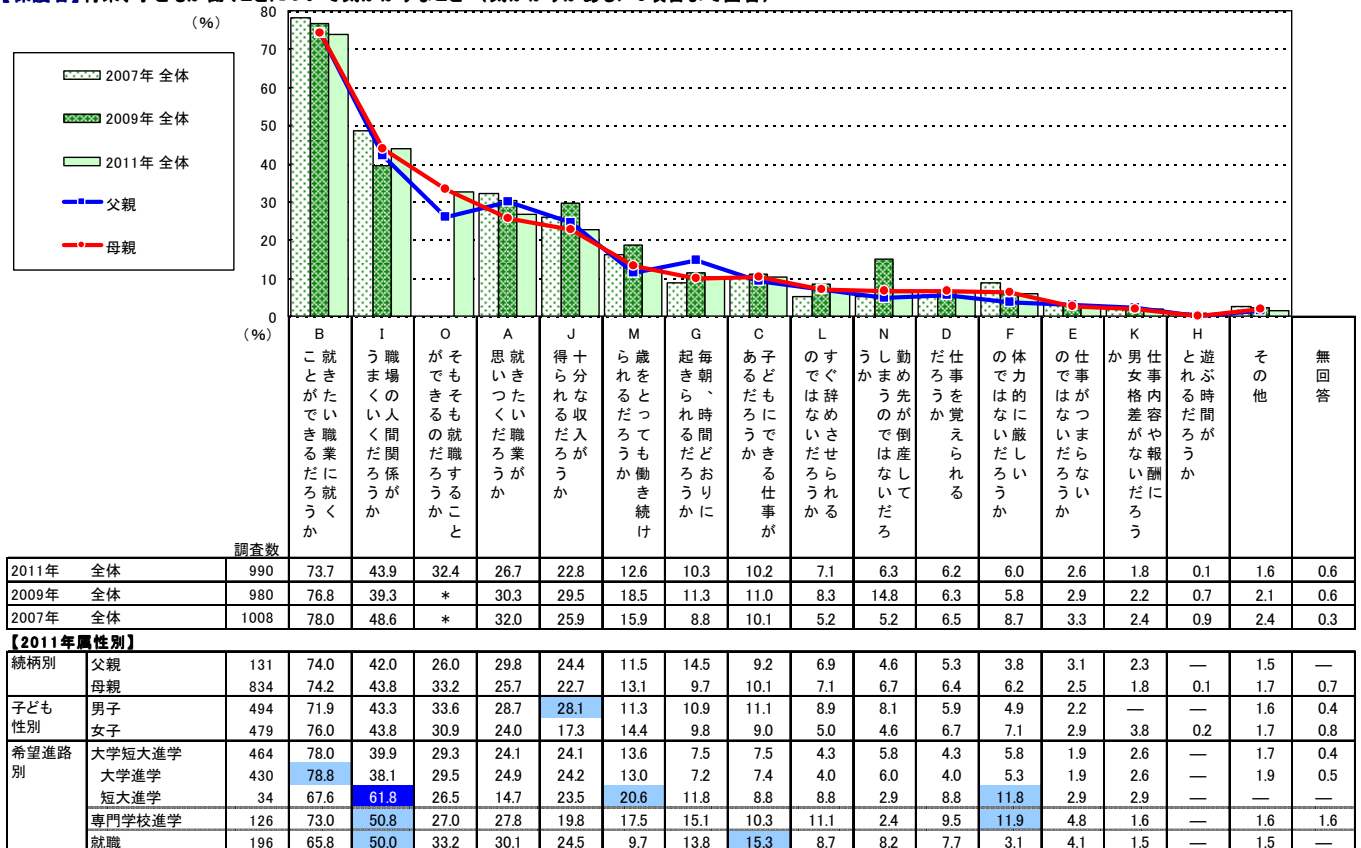
- ① 就きたい職業に就くことができるだろうか(74%)
- ② 職場の人間関係がうまくいだろうか(44%)
- ③ そもそも就職することができるのだろうか(32%)
- ④ 就きたい職業が思いつくだろうか(27%)
- ⑤ 十分な収入が得られるだろうか(23%)

- 保護者の回答上位は上記のとおり。
- 続柄別にみると、父親・母親とも上位の顔ぶれは同様。母親は父親に比べ「そもそも就職することができるか」のスコアが高く、就職が可能であるかを気がかりに感じている。
- 子ども性別にみると、上位の顔ぶれは同様。男子は「十分な収入が得られるだろうか」は女子に比べスコアが高く、気がかりの度合いが高い。
- 希望進路別にみると、いずれの進路も上位の顔ぶれは同様。就職希望者は「子どもにできる仕事があるだろうか」が他進路に比べて高く、子どもの職場・職業への適性を気がかりに感じている。

▶ 高校生・保護者ともトップは「就きたい職業に就くことができるだろうか」。
2位は、高校生では「十分な収入」、保護者は「職場の人間関係」が続く。

- 高校生、保護者とも気がかりなこと上位の顔ぶれは同様だが、2位以下の順位が入れ替わる。
高校生は「収入」、保護者は「人間関係」をそれぞれ気がかりとして強くとらえていることがうかがえる。

【保護者】将来、子どもが働くことについて気がかりなこと（気がかりがある／5項目まで回答）



※「2011年全体」降順ソート

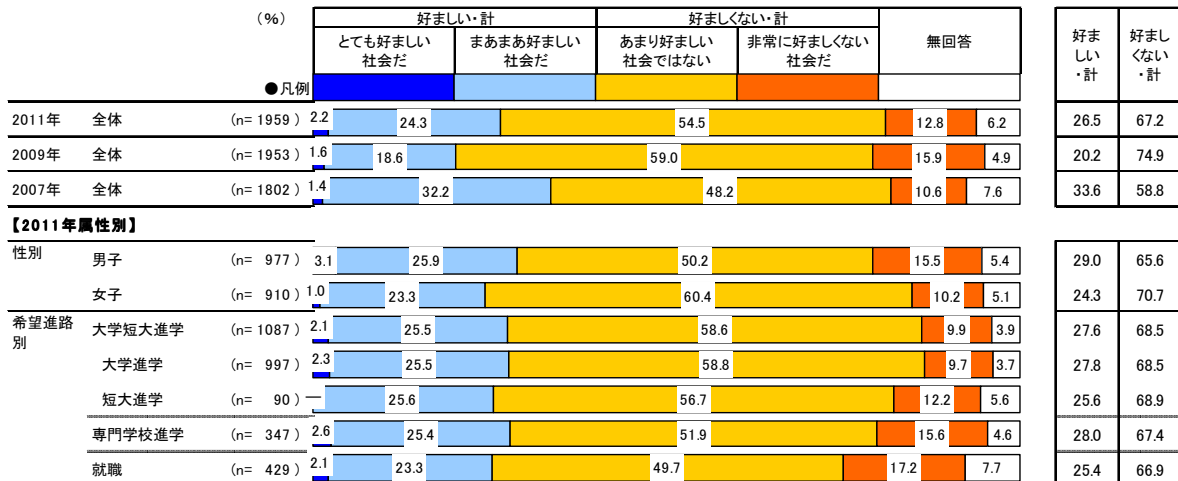
※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

20. 未来社会への認識

- ▶ 高校生の67%、保護者の70%がこれからの社会は高校生にとって「好ましくない」と考えている。
- ▶ 高校生・保護者とも、2009年に減少した「好ましい」が2011年は増加に転じた。

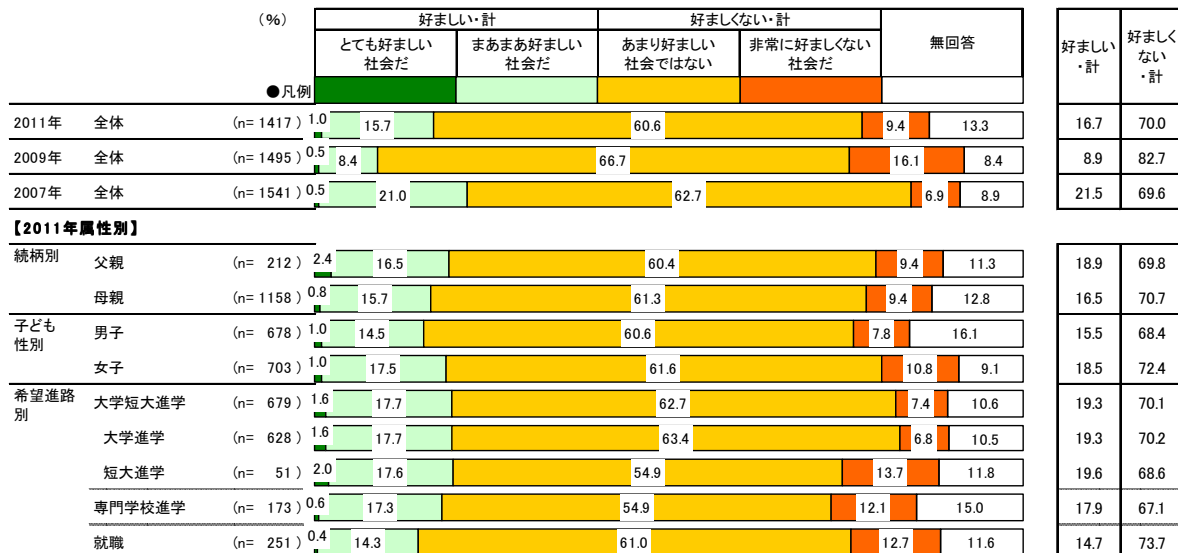
- これからの社会は高校生にとって好ましいと思うか質問した。高校生は「非常に好ましくない社会だ」「あまり好ましい社会ではない」の合計が過半数を占め、67%（好ましくない・計）。過去調査と比較すると、2009年に「好ましくない・計」の割合が大幅に増加したが、2011年は減少。
- 性別にみると、「好ましくない・計」の割合は女子（71%）が男子（66%）に比べ高く、女子はより厳しい認識でいる。
- 同様に、保護者にもこれからの社会は子どもにとって好ましいと思うか尋ねたところ、「好ましくない・計」が70%と過半数を占めた。過去調査と比較すると、高校生と同様に「好ましくない・計」は2009年に増加したが、2011年は減少。「好ましくない」認識が依然過半数を占めているが、2009年に比べ肯定的な認識が増えている。
- 続柄別、子ども性別にみると、いずれの属性も「好ましくない・計」が7割。
- 未来社会について「とても好ましい」～「非常に好ましくない」と思う理由を書いてもらったところ、高校生・保護者とも認識の仕方はよく似ている。好ましいと思う高校生・保護者は、好ましくない現状に対し「気持ちだけは前向きで」「適応できる柔軟性と強さが必要」など適応しようとする態度、「自分次第で何でもできる」「能力次第」と乗り越えようとする意欲的なコメントが多い。一方、好ましくない理由には、「不景気」「経済面・生活水準などの格差」といった経済不況や、「就職先が少ない」と就職難、「政治に怒り」と不安定な政局を嘆くコメントが大半を占めている。

【高校生】これからの社会は好ましいか（全体／単一回答）



K.03_Q22

【保護者】これからの社会は好ましい社会か（全体／単一回答）



※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

H.03_Q17

<フリーコメント> 未来社会への認識の理由

【高校生】

■とても好ましい

- 好ましくなくても、気持ちだけは前向きでいたい[愛知/女子/就職]
- そもそも好ましいと思ってやっていかないとダメだと思う
[茨城/女子/大短]
- 自分次第で何でもできるから[新潟/女子/大短]
- 震災とかあったけど、それにめげず頑張り続けているから
[青森/男子/就職]

■まあまあ好ましい

- 個の生活スタイルを尊重しようとしてくれる人が増えているから
[愛知/女子/専門]
- あんまりいい話は聞かないけれど自分次第で変わると思うから
[愛知/女子/大短]
- たとえ好ましくなくても、それは自分自身で変えられるため、努力していきたい[北海道/女子/大短]
- 頑張る人は報われてると思う。しかし、少し格差が大きすぎるのでは…?と感ずることもある[新潟/男子/大短]
- 自分のやりたいことができ、いろんな面で便利なものがある
[佐賀/女子/大短]
- 何を言ったところでその社会で生きていくのだから
[鳥取/男子/大短]
- 政治はきちんとしてないが、特に不満はない
[茨城/男子/大短]
- 他国より平和だから[佐賀/男子/大短]
- 最終的にお金がかかわっているのが不安。平和な社会だから、そこは許せる[新潟/女子/大短]
- いくら失敗しても餓死することはないから[佐賀/男子/大短]
- 不況だけど、働く場は多種あるから[佐賀/男子/大短]

【保護者】

■とても好ましい

- 今があまりにもひどい状況なので良くなっていくしかないから
[新潟/母親/男子]
- 子どもの生き方ひとつで好ましい社会だと思えるはず[大阪/父親/女子]
- 好ましいか好ましくないかは本人が決めることだと思うから
[愛知/母親/男子]

■まあまあ好ましい

- どんな社会であっても適応できる柔軟性と強さが必要であると考えている[北海道/母親/女子]
- 大変だけど自分たちの力で好ましい社会にしていいたい
[北海道/母親/女子]
- どんな状況でも自分で進んでいくしかない。好ましいと思わなければ進めない[新潟/母親/女子]
- 今の社会で育った本人には、それ以外知らないし、好ましい社会だと感ずるように努力すべし[佐賀/母親/男子]
- 不景気で条件も悪かったりする反面、自ら考えなければならぬので必死でやっていけるはず[愛知/母親/男子]
- 自分のやる気次第で、どうにでもなるから[佐賀/母親/女子]
- 平和で努力すれば幸せになれる社会だから[新潟/母親/男子]
- 能力次第でやりたいことがみつけれられるから[茨城/父親/男子]
- 学歴だけではなく実力を認めてくれる社会もあるから
[北海道/母親/男子]
- 食べたくても食べられないという環境ではないし、望めばある程度の夢は手に入れられる[愛知/母親/男子]
- 選択肢が多い。復興に向けて前進する可能性がある
[茨城/母親/女子]

■あまり好ましくない

- 不景気で生活が苦しくなりそうだから[佐賀/男子/大短]
- 給料は減っているみたいだし、私の町では子どもが減っているから(若い人も)[北海道/女子/大短]
- これからは人口ももっと減るし、経済ももっと下がると思うので、なにをしても自立できなさそう[北海道/女子/大短]
- 就職難という言葉が目立ち将来に不安を感じる[北海道/男子/就職]
- 就職先は減ってきているし、給料も減ってきているから
[青森/女子/大短]
- 今の日本の政治に怒りを抱いているから[東京/男子/就職]
- 国の借金が自分たちの世代にしわよせでくるから[北海道/男子/就職]
- 便利な暮らしになっている反面、自然や環境の問題が増加しているから[青森/女子/就職]
- 就職難・地球温暖化・放射線[茨城/女子/大短]
- まだまだ不景気だし、震災の影響も残っている[愛知/女子/大短]
- テレビニュースを見ていても、あまり良くないことばかりだから
[茨城/女子/大短]

■非常に好ましくない

- 現在はとても不況で就職先が見つかるか、とても不安
[新潟/女子/専門]
- 経済的に落ちているし、今の状況では確実に就職率は上がらないから
[青森/女子/専門]
- 震災などの影響で、不景気がさらに厳しい不景気となったから
[青森/男子/大短]
- すごい不況で倒産している会社も増えていっているから
[新潟/男子/就職]
- 高齢社会で若者の負担が大きいのから[北海道/男子/大短]
- 政治が不安定[東京/女子/専門]

■あまり好ましくない

- 少子高齢化、年金問題、環境問題などあまりにも問題が山積しているため[北海道/父親/女子]
- 5～10年後の日本の政治、経済の状況が、安定、上向きになっているとは思えないため[新潟/母親/女子]
- 政治、経済ともに不安定で、将来に夢を抱きにくい[青森/父親/男子]
- 経済面・生活水準などの格差が大きいのから[愛知/父親/男子]
- 若い世代の人口が減っているのになにかと税金など負担が多くなるでしょう[北海道/母親/女子]
- 良くわからないけどこれから先は子どもも少なく、年金ももらえる額が少なくなるようだし不安[東京/母親/女子]
- 就職したくても希望どおりできるのは難しい[青森/母親/男子]
- 正社員採用が少ない[北海道/母親/女子]
- リストラ、能力主義、就職難[茨城/母親/女子]
- 人間関係が難しくなっている[茨城/母親/男子]

■非常に好ましくない

- 高齢化、少子化が進み、生活しづらい世の中[北海道/母親/女子]
- 就職先が少ない。将来の安定した雇用が望みにくい
[大阪/父親/男子]
- 大人でも大変なのに、明るい未来、将来を想像できない
[青森/母親/男子]
- 自分たちの仕事も安定していないし学校に最後まで通わせてあげられるか心配。あまりにも若者が仕事に就けないことに納得できないと思うから[青森/母親/女子]
- 災害があまりに多いので、将来(今後の景気)どうなるのか心配
[新潟/母親/男子]

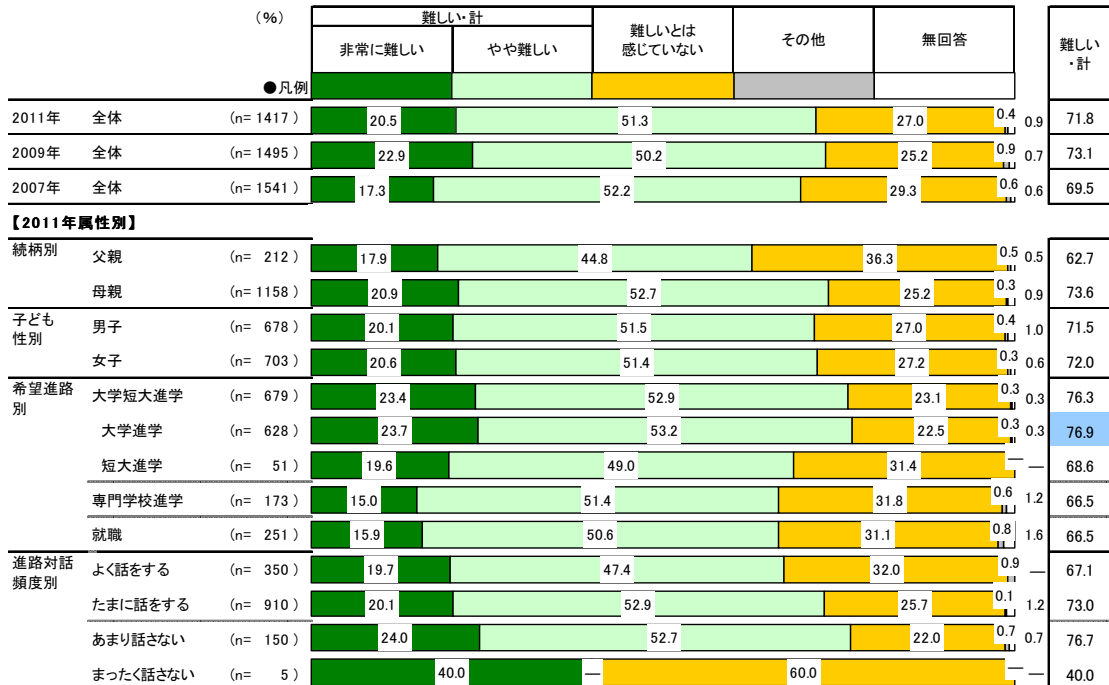
21.保護者がアドバイスすることの困難

1)子どもの進路選択についてアドバイスすることは難しいか

▶保護者の72%が進路選択について子どもにアドバイスすることは「難しい」。

- 12ページで保護者に子どもの進路選択についてアドバイスしているか実施状況を尋ねたが、その難しさの程度も質問した。「非常に難しい」が21%、「やや難しい」(51%)を合わせた「難しい・計」は72%。過去調査と比較すると、2007年以降「難しい・計」は約7割で推移している。
- 続柄別にみると、「難しい・計」の割合は母親(74%)が父親(63%)を大きく上回る。父親・母親とも子どもに対するアドバイス実施状況(12ページ)は同程度だが、母親は父親に比べ「難しい」と感じながらアドバイスしていることがうかがえる。
- 子ども性別にみると、「難しい・計」の割合は男女とも72%と差がない。
- 希望進路別にみると、「難しい・計」の割合は大学短大進学希望者で高く、76%。特に大学進学(77%)で難しいと感じられている。
- 進路対話頻度別にみると、話さない層ほど「非常に難しい」が多い。

【保護者】進路選択について子どもにアドバイスすることは難しいか (全体/単一回答)



※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

H_03_Q05

2)子どもの進路選択についてアドバイスすることが難しい理由

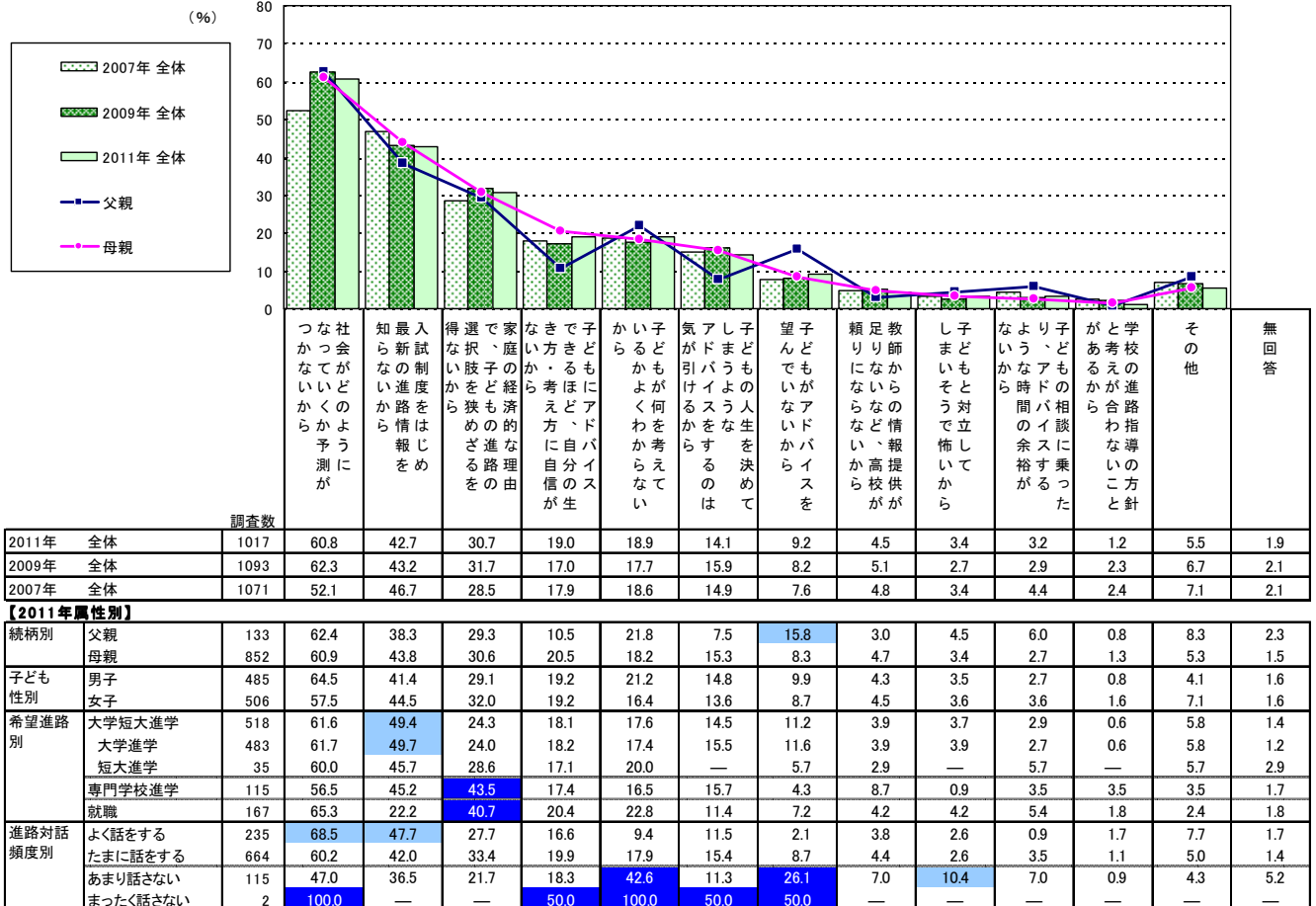
▶アドバイスが難しい理由のトップは、保護者自身が「社会がどうなるか予測がつかないから」。

- ①社会がどのように変わっていくか予測がつかないから(61%)
- ②入試制度をはじめ最新の進路情報を知らないから(43%)
- ③家庭の経済的な理由で、子どもの進路の選択肢を狭めざるを得ないから(31%)
- ④子どもにアドバイスできるほど、自分の生き方・考え方に自信がないから(19%)
- ⑤子どもが何を考えているかよくわからないから(19%)

●34ページの子どもの進路選択についてアドバイスが「難しい」と回答した保護者に、その理由をすべて選んでもらった。トップは「社会がどのように変わっていくか予測がつかないから」で61%と過半数に達する。

●続柄別に見ると、母親は父親に比べ「子どもにアドバイスできるほど、自分の生き方・考え方に自信がないから」「子どもの人生を決めてしまうようなアドバイスをするのは気が引けるから」のスコアが高く、アドバイスすることへの自信のなさが母親からはうかがえる。一方父親は母親に比べ「子どもが何を考えているかよくわからないから」「子どもがアドバイスを望んでいないから」のスコアが高く、子どもにアドバイスしやすい関係を築けていないという課題がみえる。

【保護者】進路選択についてアドバイスを難しいと感じる要因（アドバイスが難しい／複数回答）



※「2011年全体」降順ソート
 ※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

IV 震災・原発事故の影響

22. 震災・原発事故後の意識の変化

▶ 2011年3月の東日本大震災と原発事故により、高校生の14%、保護者の13%が進路や将来の考え方に変化が「ある」。

▶ 進路について保護者と活発に話す高校生・保護者ほど、意識に変化がある。

- 2011年3月11日の東日本大震災および原発事故を思い出してもらい、それらにより進路や将来の考え方に変化があったかどうかを尋ねた。高校生の14%が変化が「ある」と回答。78%は変化は「ない」。
- 性別にみると、「ある」の割合は女子(16%)が男子(12%)をやや上回る。
- 進路対話頻度別にみると、よく話をする層ほど「ある」の割合が高く、保護者との会話が活発な高校生において意識の変化が目立つ。
- 同様に、保護者にも子どもの進路や将来について考え方に変化があったか尋ねたところ、13%が「ある」と回答。65%が変化は「ない」。
- 続柄別にみると、「ある」の割合は母親(14%)が父親(8%)よりも多い。
- 子ども性別にみると、「ある」の割合は女子(14%)が男子(11%)をわずかに上回る。
- 進路対話頻度別にみると、高校生と同様、よく話をする層ほど「ある」の割合が高く、保護者がわも会話が活発であるほど意識の変化が多い。

【高校生】震災・原発事故により進路や将来の考え方に変化があったか (全体/単一回答)

		(%)	ある	ない	無回答
●凡例					
2011年	全体 (n= 1959)		13.8	78.2	8.0
性別	男子 (n= 977)		12.2	80.9	7.0
	女子 (n= 910)		16.0	77.4	6.6
希望進路別	大学短大進学 (n= 1087)		14.4	79.8	5.9
	大学進学 (n= 997)		14.1	79.8	6.0
	短大進学 (n= 90)		16.7	78.9	4.4
	専門学校進学 (n= 347)		11.8	80.7	7.5
	就職 (n= 429)		14.0	77.6	8.4
進路対話頻度別	よく話をする (n= 323)		16.7	77.1	6.2
	たまに話をする (n= 1145)		13.9	78.3	7.9
	あまり話さない (n= 399)		12.8	78.9	8.3
	まったく話さない (n= 84)		6.0	78.6	15.5

K 04_Q24

【保護者】震災・原発事故により進路や将来の考え方に変化があったか (全体/単一回答)

		(%)	ある	ない	無回答
●凡例					
2011年	全体 (n= 1417)		12.6	65.2	22.2
続柄別	父親 (n= 212)		7.5	80.7	11.8
	母親 (n= 1158)		13.6	63.5	23.0
子ども性別	男子 (n= 678)		11.4	65.9	22.7
	女子 (n= 703)		13.8	66.3	19.9
希望進路別	大学短大進学 (n= 679)		14.1	64.8	21.1
	大学進学 (n= 628)		14.3	65.6	20.1
	短大進学 (n= 51)		11.8	54.9	33.3
	専門学校進学 (n= 173)		12.7	64.7	22.5
	就職 (n= 251)		11.6	64.9	23.5
進路対話頻度別	よく話をする (n= 350)		18.3	60.0	21.7
	たまに話をする (n= 910)		10.8	67.0	22.2
	あまり話さない (n= 150)		10.7	65.3	24.0
	まったく話さない (n= 5)			80.0	20.0

H.04.Q21

- 高校生、保護者とも、意識の変化が「ある」の回答者に具体的にどのような変化があったかを書いてもらい、その内容を分類、集計した。
- 高校生のコメントで多かったのは、「社会や人の役に立ちたい」について「毎日を大切に生きたい」。その他「命の尊さを考えるようになった」「ボランティアに参加したい」など、“人や社会のために役に立ちたい”と前向きな態度がうかがえる内容が多い。
- 一方、保護者のコメントで突出していたのは、「地元で進学・就職してほしい/東日本には進学・就職させたくない」と、地震の再発生や原発事故の影響を恐れ、子どもの進路・将来を不安に思う保護者の声が目立つ。

＜フリーコメント内容分類＞ 意識の変化があった理由

【高校生】

【高校生】東日本大震災や原発事故によって起きた自分の将来に対する考え方の変化(自由回答カウント/複数回答)

総発言数における% (カッコ内は件数)	性別		
	全体	男子	女子
変化ありと回答した者のうちの理由記入者数 総発言数	248 259	109 111	134 143
社会や人の役に立ちたい	25.9 (67)	20.7 (23)	28.7 (41)
毎日を大切に生きたい	11.6 (30)	6.3 (7)	16.1 (23)
就職がますます難しくなった	8.5 (22)	9.0 (10)	8.4 (12)
地元を離れたくない・災害が起きそうな場所へは行きたくない	5.0 (13)	4.5 (5)	5.6 (8)
命の尊さを考えるようになった	5.0 (13)	7.2 (8)	3.5 (5)
ボランティアに参加したい	3.1 (8)	2.7 (3)	3.5 (5)
人と人のきずな、助け合いを大事にしたい	3.1 (8)	4.5 (5)	2.1 (3)
しっかりと勉強して就職しようと思った	2.3 (6)	1.8 (2)	2.8 (4)
医療に携わりたい	1.9 (5)	—	3.5 (5)
自分にできることはやる	1.9 (5)	2.7 (3)	1.4 (2)
あたりまえの日常に感謝したい	1.5 (4)	1.8 (2)	1.4 (2)
将来について考えるようになった	1.5 (4)	1.8 (2)	1.4 (2)
物事に関心をもつ	1.5 (4)	0.9 (1)	2.1 (3)
災害に備える意識が強まった	1.5 (4)	0.9 (1)	2.1 (3)
日本を立て直したい・復興に役立ちたい	1.5 (4)	2.7 (3)	0.7 (1)
進学か就職か慎重に考えるようになった	1.2 (3)	1.8 (2)	—
資格を取りたい	1.2 (3)	0.9 (1)	1.4 (2)
原発に反対	1.2 (3)	0.9 (1)	1.4 (2)
責任をもとうと思った	1.2 (3)	0.9 (1)	1.4 (2)
しっかりと生きようと思う	1.2 (3)	1.8 (2)	0.7 (1)
政府は無力	1.2 (3)	2.7 (3)	—
教職に就きたい	0.8 (2)	0.9 (1)	0.7 (1)
やりたいことをやっていたい	0.8 (2)	—	1.4 (2)
災害は他人事ではない	0.8 (2)	—	1.4 (2)
自分、人間の無力さを感じた	0.8 (2)	1.8 (2)	—
原発については慎重に考えるべき	0.8 (2)	1.8 (2)	—
原発、放射線に対する関心が高まった	0.8 (2)	—	1.4 (2)
日本には住みたくない・日本で暮らすことに不安	0.8 (2)	0.9 (1)	0.7 (1)
節約意識が高まった	0.8 (2)	1.8 (2)	—
エネルギー問題に取り組みたい	0.8 (2)	1.8 (2)	—
この世は無常である	0.8 (2)	1.8 (2)	—
震災に衝撃を受けた・被災地が心配	0.8 (2)	0.9 (1)	0.7 (1)
自分だけ楽をしてはいけない	0.8 (2)	—	1.4 (2)
その他	7.7 (20)	11.7 (13)	4.2 (6)

FAカウント:高校生_Q24

社会や人の役に立ちたい

○人の役に立つ仕事に就きたいと思った[茨城/男子/大短]

毎日を大切に生きたい

○いつ何が起きるかわからないから、毎日大切にしたいと思うようになった[大阪/女子/就職]

就職がますます難しくなった

○就職か進学か迷っていたが進学することにした[青森/男子/大短]

地元を離れたくない・災害が起きそうな場所へは行きたくない

○原発の近くに住みたくない[大阪/男子/大短]
○なるべく関西の方に進学したい[愛知/女子/大短]

命の尊さを考えるようになった

○震災を通して、命の大切さがよくわかり、前以上に医療系に興味をもった[青森/女子/大短]

ボランティアに参加したい

○震災の前はボランティアなどに興味はなかったけど、今はもし自分が人の役に立てるなら、してみたいと思っている[佐賀/女子/専門]

人と人のきずな、助け合いを大事にしたい

○人のつながりや助け合っていく心が改めて必要だと思った[鳥取/男子/就職]

【保護者】

【保護者】東日本大震災や原発事故によって起きた子どもの将来に対する考え方の変化(自由回答カウント/複数回答)

総発言数における% (カッコ内は件数)	全体	続柄別		子ども性別	
		父親	母親	男子	女子
変化ありと回答した者のうちの理由記入者数 総発言数	155 166	14 15	137 147	68 70	84 93
地元で進学・就職してほしい/東日本には進学・就職させたくない	33.1 (55)	20.0 (3)	33.3 (49)	30.0 (21)	34.4 (32)
毎日を大切に生きたい	10.2 (17)	6.7 (1)	10.2 (15)	10.0 (7)	9.7 (9)
社会や人の役に立つ人であってほしい	8.4 (14)	13.3 (2)	8.2 (12)	10.0 (7)	7.5 (7)
あたりまえの日常に感謝してほしい	7.2 (12)	6.7 (1)	7.5 (11)	11.4 (8)	4.3 (4)
家族を大切にしたい	3.6 (6)	—	4.1 (6)	1.4 (1)	5.4 (5)
自分の頭でしっかり考えて行動してほしい	3.6 (6)	—	4.1 (6)	2.9 (2)	4.3 (4)
興味のあることにどんどん挑戦してほしい	3.0 (5)	—	3.4 (5)	2.9 (2)	3.2 (3)
就職がますます難しくなった	3.0 (5)	—	3.4 (5)	1.4 (1)	4.3 (4)
命の尊さを知ってほしい	3.0 (5)	20.0 (3)	1.4 (2)	2.9 (2)	3.2 (3)
手に職をつけてほしい	2.4 (4)	—	2.7 (4)	2.9 (2)	2.2 (2)
日本には住みたくない・日本で暮らすことに不安	1.8 (3)	6.7 (1)	1.4 (2)	2.9 (2)	1.1 (1)
人と人のきずなを大事にしてほしい	1.8 (3)	—	2.0 (3)	2.9 (2)	1.1 (1)
元気でいてくれるだけでいい	1.8 (3)	—	2.0 (3)	2.9 (2)	1.1 (1)
東電関係企業には就職してほしくない	1.8 (3)	6.7 (1)	1.4 (2)	2.9 (2)	1.1 (1)
節約意識が高まった	1.2 (2)	—	1.4 (2)	—	2.2 (2)
子どもの将来が心配	1.2 (2)	—	1.4 (2)	—	2.2 (2)
その他	12.7 (21)	20.0 (3)	12.2 (18)	12.9 (9)	12.9 (12)

FAカウント:保護者_Q21

地元で進学・就職してほしい/

東日本には進学・就職させたくない

○できるだけ地元の大学に進み、すぐに連絡がとれる所にいてほしいと思うようになった[愛知/母親/男子]

○原発近く・震災の大きな被害のあった所にある大学への進学への躊躇[新潟/母親/女子]

○進学先は放射線量の低い所へ行ってほしい[茨城/父親/女子]

○関東方面は危険なのではないか[佐賀/母親/女子]

毎日を大切に生きてほしい

○災害はいつ起こるかわからないので、毎日を大切に生活してほしい(感謝の気持ちを忘れずに)[茨城/母親/男子]

○明日どうなるかわからないから毎日をできるだけ楽しく精いっぱいくらせたい[北海道/母親/女子]

○毎日を悔いのないようにしっかりと頑張りたい[鳥取/母親/男子]

社会や人の役に立つ人であってほしい

○人の役に立つ仕事をしてほしい(資格があればそれを生かして)[愛知/母親/女子]

○人の痛みをわかってあげられる人間に、器の広い人間に[愛知/母親/男子]

あたりまえの日常に感謝してほしい

○あたりまえの日常がとても幸せだと思えるようになった[北海道/母親/男子]

家族を大切にしたい

○今の生活への感謝、家族の大切さ[佐賀/母親/男子]

自分の頭でしっかり考えて行動してほしい

○あまり親の考え方を押しつけないようにしようとした[佐賀/母親/女子]

興味のあることにどんどん挑戦してほしい

○いっどうなってもよいように、興味があることにどんどん挑戦していきたいです(と、さらに思うようになりました)[新潟/母親/女子]

23. 震災・原発事故の発生前後での進路や将来の考え方

▶ 高校生の、震災・原発事故が発生する前、発生した後(現在)の、進路や将来の考え方は

【1】震災・原発事故の前

- ① 資格を取得したり、手に職をつけたい(75%)
- ② 社会に役立つ知識・技術を身につけたい(69%)
- ③ 人の役に立つ仕事に就きたい(68%)
- ④ 毎日を大切に生きていきたい(68%)
- ⑤ 進学先では、しっかり勉強・研究をしたい(67%)

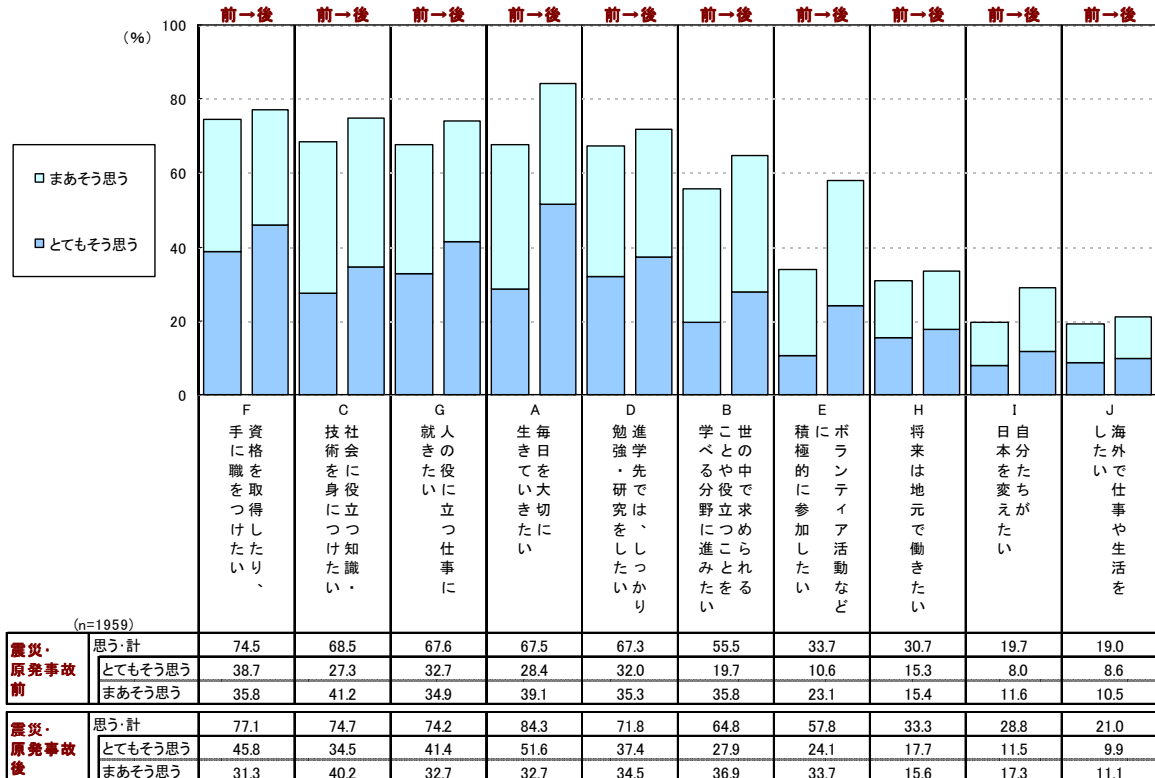
【2】震災・原発事故の後(現在)

- ① 毎日を大切に生きていきたい(84%)
- ② 資格を取得したり、手に職をつけたい(77%)
- ③ 社会に役立つ知識・技術を身につけたい(75%)
- ④ 人の役に立つ仕事に就きたい(74%)
- ⑤ 進学先では、しっかり勉強・研究をしたい(72%)

▶ 震災・原発事故により、「ボランティア活動などに積極的に参加したい」「毎日を大切に生きていきたい」など、進路や将来の考え方のすべてで「思う」と意識・意向が強まった。

- 進路や将来に対する考え方10項目について、2011年3月11日の東日本大震災および原発事故が【1】発生する前と【2】発生した後(現在)での考えを尋ねた。高校生の震災・原発事故前後で「とてもそう思う」「まあそう思う」合計値が高い項目は上記のとおり。震災前のトップは「資格を取得したり、手に職をつけたい」(75%)だったが、震災後の現在は「毎日を大切に生きていきたい」(84%)がトップ。
- 震災・原発事故の前に比べ、発生後は全項目で「思う・計」の割合が増加。特に増加幅が大きい項目は、ボランティア活動などに積極的に参加したい(34%→58%:24ポイント上昇)
毎日を大切に生きていきたい(68%→84%:17ポイント上昇)
- また、震災・原発事故の後には発生前に比べ全項目の「とてもそう思う」割合が増え、意識・意向が強まっていることがうかがえる。

【高校生】震災・原発事故の発生前後での進路や将来の考え方:「とてもそう思う」「まあそう思う」の割合(全体/各単一回答)



K 04. Q23

▶ 保護者の、震災・原発事故が発生する前、発生した後(現在)の、進路や将来の考え方は

【1】震災・原発事故の前

- ① 毎日を大切に生きてほしい(90%)
- ② 資格を取得したり、手に職をつけてほしい(85%)
- ③ 社会に役立つ知識・技術を身につけてほしい(81%)
- ④ 進学先では、しっかり勉強・研究をしてほしい(81%)
- ⑤ 人の役に立つ仕事に就いてほしい(68%)
- ⑥ 世の中で求められることや役立つことを学べる分野に進んでほしい(67%)

【2】震災・原発事故の後(現在)

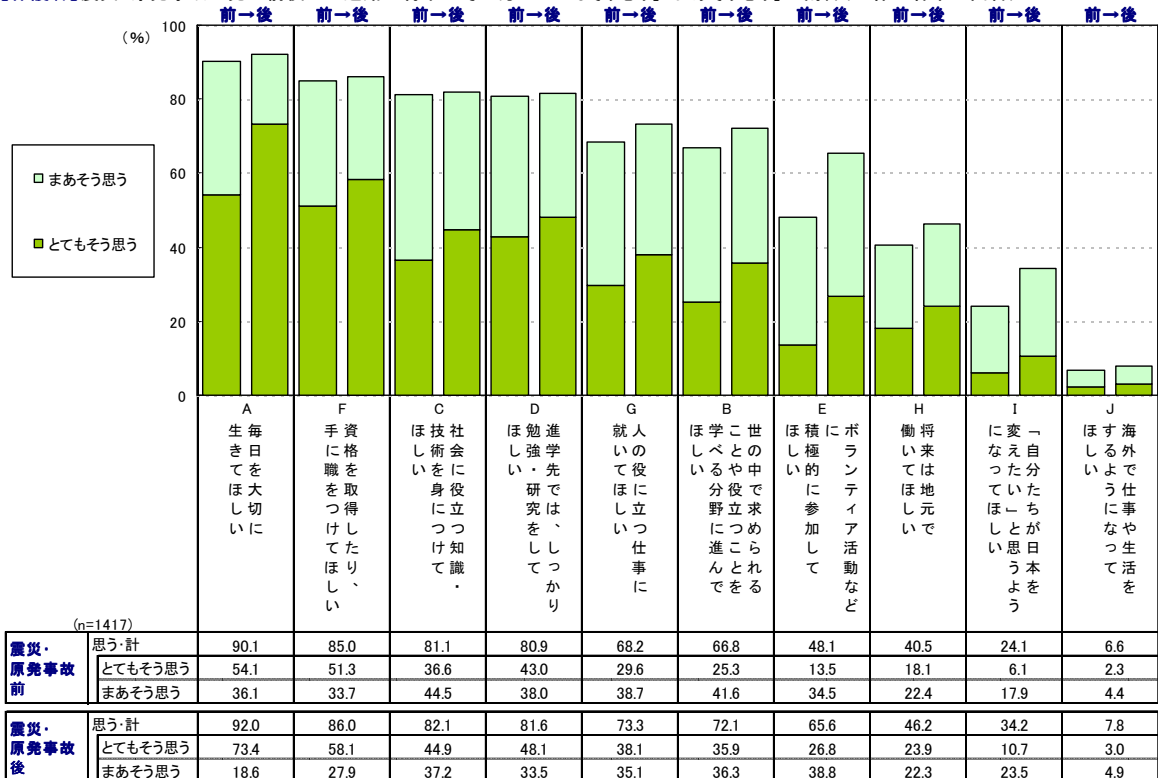
- ① 毎日を大切に生きてほしい(92%)
- ② 資格を取得したり、手に職をつけてほしい(86%)
- ③ 社会に役立つ知識・技術を身につけてほしい(82%)
- ④ 進学先では、しっかり勉強・研究をしてほしい(82%)
- ⑤ 人の役に立つ仕事に就いてほしい(73%)
- ⑥ 世の中で求められることや役立つことを学べる分野に進んでほしい(72%)

▶ 震災・原発事故により、「ボランティア活動などに積極的に参加してほしい」意識が大きく上昇。

▶ 保護者は、高校生に比べ震災・原発事故前の時点で過半数を占める項目が多い。震災・原発事故後は「とてもそう思う」が全項目で増えており、意識・意向が強くなっている。

- 保護者の進路や将来に対する考え方10項目について震災・原発事故前後で「とてもそう思う」「まあそう思う」合計値が高い項目は上記のとおり。
- 震災後に順位が入れ替わる項目はないが、「ボランティア活動などに積極的に参加したい」の「思う・計」が大幅に上昇した(48%→66%:18ポイント上昇)。
- また、震災・原発事故の前に比べ発生後は全項目で「とてもそう思う」の割合が増えており、意識・意向が強まっていることがうかがえる。

【保護者】震災・原発事故の発生前後での進路や将来の考え方:「とてもそう思う」「まあそう思う」の割合(全体/各単一回答)



H.04_Q20

V 家庭教育と自立意識

24. 家庭教育の実施状況

- ▶ 高校生が子どものころから家庭で感じてきた教育は
 - ① 保護者に「自分で選択し、それに責任をもつ」ように言われてきた(66%)
 - ② 家族で自分の本音を話してきたと思う(62%)
 - ③ 保護者に「夢や目標をもつことは大切だ」と言われてきた(61%)

- ▶ 保護者が高校生が子どものころから心がけてきた家庭での教育は
 - ① 「自分で選択し、それに責任をもつ」ことの大切さを伝えてきた(79%)
 - ② 子どもが本音で話せるような家族の雰囲気づくりを心がけてきた(79%)
 - ③ 「夢や目標をもつことは大切だ」ということを伝えてきた(78%)

▶ 2007年以降、保護者の心がけてきたという認識が高校生の実感に比べ高い傾向が続く。

- 高校生は幼少期からどのような家庭教育を受けてきたか、高校生と保護者に、7項目それぞれについてどう思うか尋ねた。
高校生・保護者それぞれ、「とてもそう思う」「少しそう思う」の合計値が高い項目は上記のとおり(思う・計)。高校生・保護者とも過去調査の結果と比較して、「思う・計」のスコアに大きな変化はみられない。
高校生が感じてきた、保護者が心がけてきた家庭教育上位3項目は一致している。
- 「思う・計」の割合は、「厳しくしつけられてきた／厳しくしつけることを心がけてきた」を除き、保護者のスコアが高校生を上回っており、保護者は家庭教育を実施してきたという認識が子どもの実感よりも高い。特に「ほめる」に関する項目でスコア差が大きく、高校生の「よくほめられてきた」実感は51%とほぼ半数だが、保護者の「ほめることを心がけてきた」は72%と過半数に達する。
一方、「しつけ」に関しては、高校生の「厳しくしつけられてきた」(51%)、保護者の「厳しくしつけることを心がけてきた」(50%)はほぼ同スコアであり、認識は同程度。

【高校生】家庭での教育について子どものころから感じてきたこと (全体/各単一回答)

	思う・計				思わない・計		思う・計	思わない・計
	とてもそう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答			
(n=1959)	●凡例							
F 保護者に「自分で選択し、それに責任をもつ」ように言われてきた	23.7	41.8	25.8	5.4	3.3	65.5	31.2	
A 家族に自分の本音を話してきたと思う	23.7	38.4	26.9	8.0	3.0	62.1	34.9	
E 保護者に「夢や目標をもつことは大切だ」と言われてきた	18.8	41.8	27.4	8.8	3.3	60.5	36.1	
B 保護者に厳しくしつけられてきたと思う	16.1	35.1	37.6	8.0	3.2	51.3	45.6	
C 保護者によくほめられてきたと思う	11.7	38.9	37.8	8.5	3.1	50.6	46.3	
G 保護者からのすすめで、「自分で選択し、それに責任をもつ」ような体験をしてきた	11.7	30.9	42.2	9.8	5.4	42.6	52.0	
D 保護者に「あなたの将来は明るい」と言われてきた	5.6	18.9	50.1	22.0	3.3	24.6	72.1	

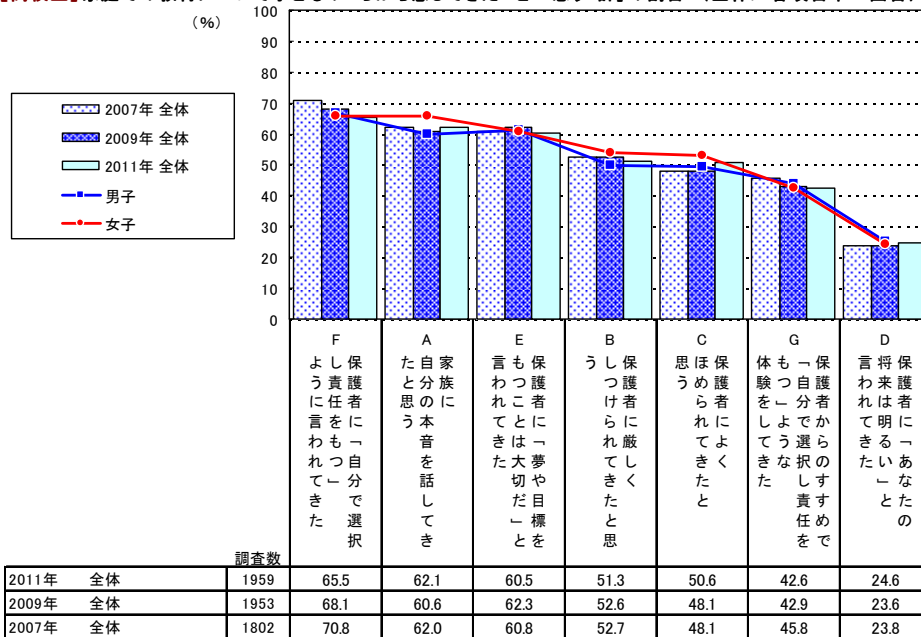
K_05_Q25M

【保護者】家庭での教育について子どものころから心がけてきたこと (全体/各単一回答)

	思う・計				思わない・計		思う・計	思わない・計
	とてもそう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答			
(n=1417)	●凡例							
F 「自分で選択し、それに責任をもつ」ことの大切さを子どものころから伝えてきた	29.6	49.5	14.9	0.6	5.5	79.0	15.5	
A 子どもが本音で話せるような家族の雰囲気づくりを子どものころから心がけてきた	31.8	46.8	15.2	0.9	5.2	78.6	16.2	
E 「夢や目標をもつことは大切だ」ということを子どものころから伝えてきた	29.9	48.1	15.8	0.8	5.4	78.1	16.6	
C ほめることを子どものころから心がけてきた	18.1	54.1	21.8	1.1	4.9	72.1	22.9	
G 「自分で選択し、それに責任をもつ」ような体験を子どものころからさせてきた	13.5	41.3	37.1	1.8	6.4	54.8	38.8	
B 厳しくしつけることを子どものころから心がけてきた	8.8	40.8	40.8	4.4	5.2	49.6	45.2	
D 「あなたの将来は明るい」ということを子どものころから伝えてきた	7.5	30.3	51.4	5.2	5.6	37.8	56.6	

H_05_Q22M

【高校生】家庭での教育について子どもから感じてきたこと：「思う・計」の割合（全体／各項目単一回答）

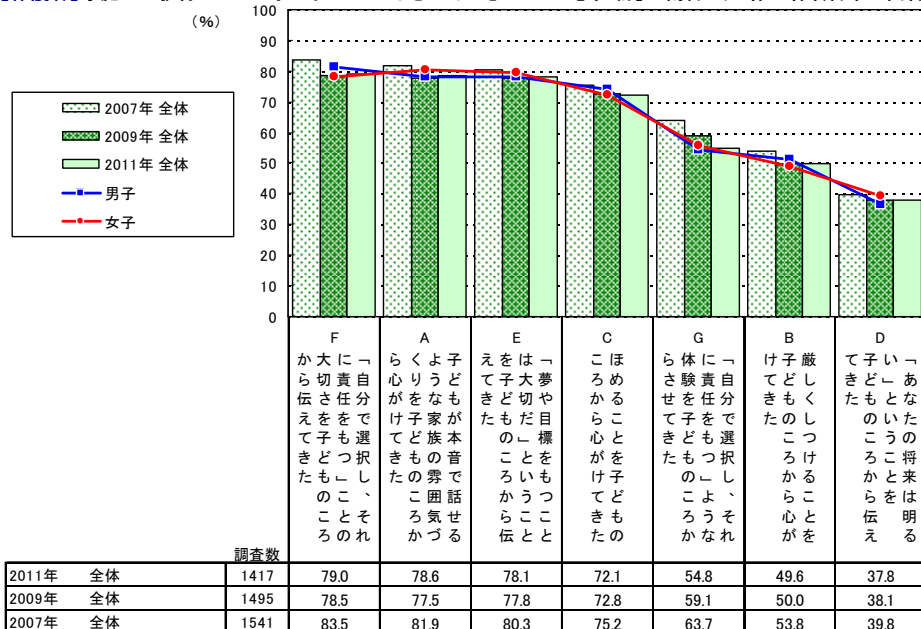


【2011年属性別】

性別	男子	977	66.8	59.9	61.2	49.8	49.2	43.8	25.3
	女子	910	65.6	65.9	60.9	54.0	53.1	42.5	24.3
希望進路別	大学短大進学	1087	69.2	66.8	65.1	52.9	57.8	46.8	28.6
	大学進学	997	70.2	67.1	66.0	53.5	58.7	47.6	30.1
	短大進学	90	57.8	63.3	55.6	46.7	47.8	37.8	12.2
	専門学校進学	347	64.0	60.8	60.5	51.0	45.5	37.5	19.3
	就職	429	61.8	56.2	53.4	47.1	40.1	38.5	17.9

K.05.Q25

【保護者】家庭での教育について子どもから心がけてきたこと：「思う・計」の割合（全体／各項目単一回答）



【2011年属性別】

続柄別	父親	212	82.5	72.6	72.6	72.6	54.2	46.2	27.4
	母親	1158	79.3	80.6	80.1	73.1	55.3	50.9	39.8
子ども性別	男子	678	81.3	78.2	78.2	73.9	54.3	51.3	36.4
	女子	703	78.2	80.2	79.5	72.0	55.9	48.9	39.4
希望進路別	大学短大進学	679	80.7	82.9	80.9	75.7	57.9	53.3	44.6
	大学進学	628	81.2	83.0	80.9	76.1	57.8	53.8	45.2
	短大進学	51	74.5	82.4	80.4	70.6	58.8	47.1	37.3
	専門学校進学	173	73.4	76.3	75.7	67.1	52.6	42.8	30.6
	就職	251	78.1	74.5	76.9	69.7	49.4	51.0	30.7

※「2011年全体」降順ソート

※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け H.05.Q22

25.なぜ学び・働くのかについての話し合い

1)なぜ学ぶのか

- ▶『なぜ勉強しなければいけないのか』話し合ったことが「ある」高校生は17%、保護者は47%。
- ▶依然として話し合った経験の認識のギャップは大きい。

- 「なぜ勉強しなければいけないのか」話し合ったことがあるかという質問に、高校生の17%が「ある」。
- 性別にみると、「ある」の割合は女子(22%)が男子(12%)よりも多いが、男女とも1~2割と少ない。
- 一方、保護者は話し合ったことが「ある」は47%と半数近く、高校生の認識と異なる。
- 続柄別にみると、「ある」の割合は母親(49%)が父親(41%)よりも多い。
- 話し合った内容を書いてもらったところ、双方から「将来の選択肢」と将来の進路や生き方への影響や「今しかできない」と高校生活の意義などが挙げられた。

【高校生】「なぜ勉強しなければいけないのか」保護者と話し合ったことがあるか
(全体/単一回答)

		(%)	ある	ない	無回答
●凡例					
2011年	全体 (n= 1959)		17.2	79.0	3.9
2009年	全体 (n= 1953)		17.0	80.2	2.8
2007年	全体 (n= 1802)		20.7	76.1	3.2
【2011年属性別】					
性別	男子 (n= 977)		12.4	84.9	2.8
	女子 (n= 910)		22.3	75.7	2.0
希望進路別	大学短大進学 (n= 1087)		18.7	79.2	2.1
	大学進学 (n= 997)		18.4	79.4	2.2
	短大進学 (n= 90)		22.2	76.7	1.1
	専門学校進学 (n= 347)		17.9	77.5	4.6
	就職 (n= 429)		13.3	83.2	3.5

<フリーコメント> 話し合った内容【高校生】

K_05_Q26

- 将来の選択肢を広げるためにする[大阪/男子/大短]
- 資格を取るためには、それなりの学力が必要だから[新潟/男子/専門]
- 成績によって将来が変わる[鳥取/女子/大短]
- 学生のうちしか勉強できない(仕事があるから)。今しかできないことがある[大阪/女子/大短]
- 将来、自分のためになるから。たくさんの知識は生きるうえで大切だから [佐賀/女子/大短]

【保護者】「なぜ勉強しなければいけないのか」子どもと話し合ったことがあるか
(全体/単一回答)

		(%)	ある	ない	無回答
●凡例					
2011年	全体 (n= 1417)		46.9	42.1	11.0
2009年	全体 (n= 1495)		52.6	38.7	8.7
2007年	全体 (n= 1541)		56.7	36.4	6.9
【2011年属性別】					
続柄別	父親 (n= 212)		41.0	51.9	7.1
	母親 (n= 1158)		49.1	41.0	9.9
子ども性別	男子 (n= 678)		46.9	42.6	10.5
	女子 (n= 703)		48.6	42.7	8.7
希望進路別	大学短大進学 (n= 679)		51.3	39.8	9.0
	大学進学 (n= 628)		52.4	39.6	8.0
	短大進学 (n= 51)		37.3	41.2	21.6
	専門学校進学 (n= 173)		46.2	42.8	11.0
	就職 (n= 251)		37.8	49.8	12.4

<フリーコメント> 話し合った内容【保護者】

H_05_Q23

- 教養はある程度必要。人生が開けていきやすい[新潟/父親/女子]
- 今しかできないことだから。勉強した結果は自分への自信につながるということ[新潟/母親/男子]
- 仕事の選択肢が増える[青森/父親/女子]
- 大人になっていくうえでの段階であり自分のためになること [佐賀/母親/女子]
- 勉強ができない→仕事先が選べない[茨城/母親/男子]
- 人生を豊かにするものである！[新潟/母親/男子]

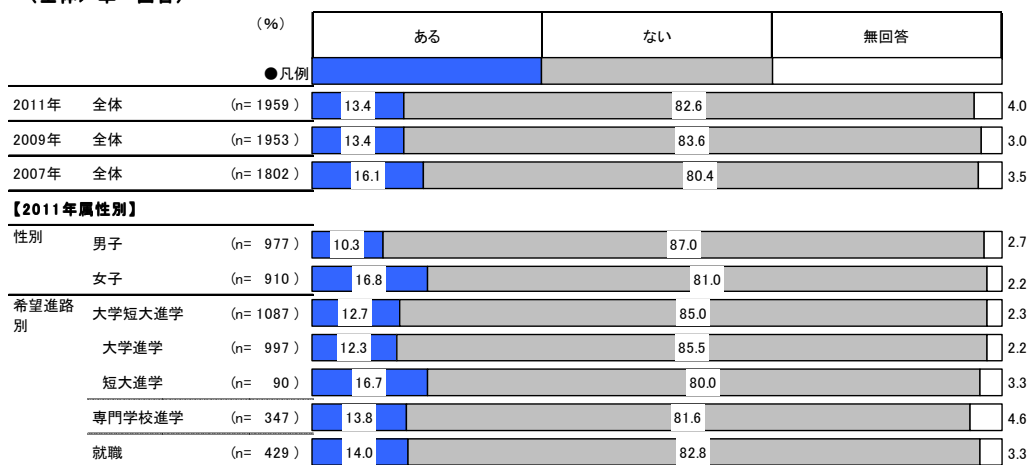
2)なぜ働くのか

▶『将来なぜ働かなければいけないのか』話し合ったことが「ある」高校生は13%、保護者は42%。

▶『なぜ勉強しなければいけないのか』と同様、依然として話し合った経験の認識のギャップは大きい。

- 「将来なぜ働かなければいけないのか」話し合ったことがあるかという質問に、高校生の13%が「ある」。
- 性別にみると、「ある」の割合は女子(17%)が男子(10%)よりも多いが、男女とも1~2割と少ない。
- 一方、保護者は話し合ったことが「ある」は42%と、高校生の認識を大きく上回る。
- 続柄別にみると、「ある」の割合は母親(44%)が父親(38%)よりも多い。
- 話し合った内容を書いてもらったところ、双方とも「生きるため・生活するため」「社会人・大人として自立するため」といったものが多い。

【高校生】「将来なぜ働かなければいけないのか」保護者と話し合ったことがあるか
(全体/単一回答)

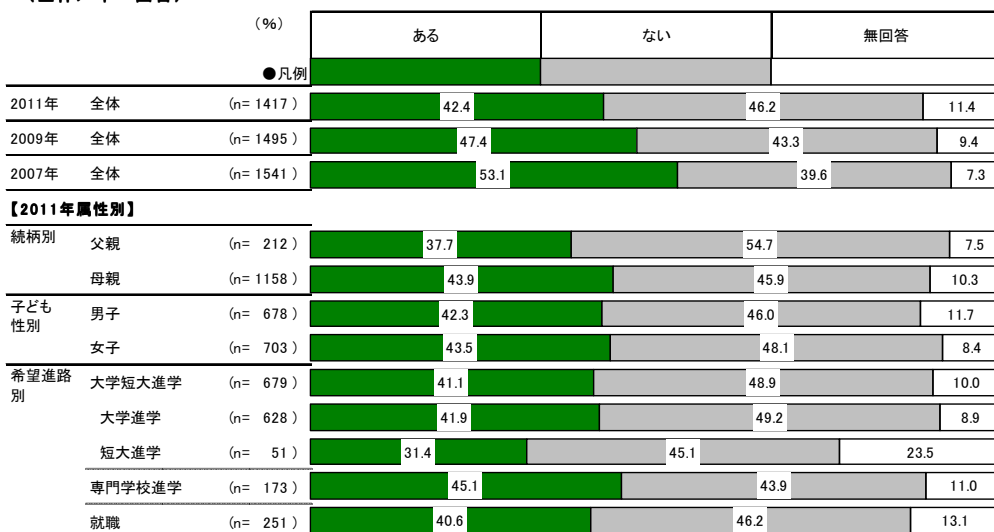


K.05.Q27

<フリーコメント> 話し合った内容【高校生】

- 生きていくため、また、自分のやりたいことなどをするためにはお金が必要だから[佐賀/女子/大短]
- 社会人の一員として生まれたなら当然[佐賀/女子/大短]
- お金がないと生きていけないから[茨城/男子/就職]
- 家族ができればなら養わねばならないし、親孝行しないといけないだろうから[佐賀/男子/大短]
- いつまでも親の世話にはなれないから[青森/女子/就職]
- 働かなければまともな生活はできない[北海道/男子/大短]

【保護者】「なぜ働かなければいけないのか」子どもと話し合ったことがあるか
(全体/単一回答)



H.05.Q24

<フリーコメント> 話し合った内容【保護者】

- 勤労の義務(義務を果たせない人は権利を主張できない)[佐賀/母親/女子]
- 社会とつながることによって、自分の存在感を認められる[新潟/母親/女子]
- 自分で自立した生活を送るため[愛知/母親/男子]
- 生きていくため。自立して人生を設計し、人生を幸せに過ごすため[愛知/母親/男子]
- 大人としての責任、自覚、生活のため[佐賀/母親/女子]

26.保護者の仕事についての会話

- ▶ 保護者の仕事について、高校生の49%、保護者の68%が「話す」。
- ▶ 父親よりも母親のほうが会話が多い。会話の内容は勤務先の状況や日々のできごと・苦労話など。
 - 保護者の仕事の内容や楽しさ、大変さを話し合っているかという質問に、高校生は「よく話をする」「たまに話をする」を合わせ49%が話している(話す・計)。
 - 性別にみると、「話す・計」の割合は女子(58%)が男子(41%)よりも多い。
 - 具体的な会話内容を尋ねると、勤務先の経営状況やその日仕事であった事柄の会話が挙げられた。
 - 一方、保護者は「話す・計」が68%と過半数を占め、高校生の認識を大きく上回る。
 - 続柄別にみると、「話す・計」の割合は母親(71%)が父親(52%)を大きく上回り、母親のほうが会話の機会が多い。
 - 子どもが職業選択する際、自分の経験から伝えたいことを尋ねると、やりたいことを実現する大切さ、世の中の厳しさ、人間関係の重要性など、保護者自身の人生経験に基づくアドバイスが挙げられた。

【高校生】保護者の仕事の内容、楽しさや大変さについて話すことがあるか (全体/単一回答)

	(%)	話す・計		話さない・計		無回答	話す・計	話さない・計
		よく話をする	たまに話をする	あまり話さない	まったく話さない			
●凡例								
2011年 全体 (n=1959)		13.2	35.4	40.7	8.0	2.8	48.5	48.6
2009年 全体 (n=1953)		11.7	33.4	43.6	9.0	2.3	45.1	52.6
【2011年属性別】								
性別								
男子 (n=977)		8.3	32.9	47.4	9.6	1.8	41.1	57.0
女子 (n=910)		18.8	38.8	35.1	6.5	0.9	57.6	41.5
希望進路別								
大学短大進学 (n=1087)		13.5	35.3	42.0	7.7	1.5	48.9	49.7
大学進学 (n=997)		13.9	35.4	41.3	7.8	1.5	49.3	49.1
短大進学 (n=90)		8.9	34.4	48.9	6.7	1.1	43.3	55.6
専門学校進学 (n=347)		13.3	31.7	45.5	6.6	2.9	45.0	52.2
就職 (n=429)		13.1	40.1	35.4	9.3	2.1	53.1	44.8

K.05_Q28

<フリーコメント> 保護者が話している内容【高校生】

- 今の状況、これからの自分の世代になってからの経営方針 [北海道/男子/就職]
- 取引先の話や材料の原産地はどこかという話をよくする [佐賀/男子/就職]
- その会社で、父がどんな場所でどんな仕事を受け持っているのか [愛知/女子/大短]
- 締め切りがいつか、今はどんなことをやっているのか、アプリケーションの使い方 [東京/女子/大短]
- 職場で失敗したことや人間関係のこと [愛知/女子/大短]
- 仕事の苦労とその後の達成感 [茨城/女子/大短]

【保護者】仕事の具体的な内容、楽しさや大変さについて子どもに話すことがあるか (全体/単一回答)

	(%)	話す・計		話さない・計		無回答	話す・計	話さない・計
		よく話す	時々話す	ほとんど話さない	まったく話さない			
●凡例								
2011年 全体 (n=1417)		18.6	49.3	27.2	1.6	3.2	67.9	28.9
2009年 全体 (n=1495)		18.5	49.4	27.4	1.4	3.3	68.0	28.8
2007年 全体 (n=1541)		21.0	51.7	24.2	1.5	1.7	72.6	25.7
【2011年属性別】								
続柄別								
父親 (n=212)		11.8	40.1	42.9	2.8	2.4	51.9	45.8
母親 (n=1158)		20.0	51.3	24.8	1.5	2.4	71.3	26.3
子ども性別								
男子 (n=678)		16.8	49.9	28.8	1.9	2.7	66.7	30.7
女子 (n=703)		20.6	49.5	26.3	1.4	2.1	70.1	27.7
希望進路別								
大学短大進学 (n=679)		17.2	49.8	29.3	1.0	2.7	67.0	30.3
大学進学 (n=628)		17.2	49.5	29.8	0.8	2.7	66.7	30.6
短大進学 (n=51)		17.6	52.9	23.5	3.9	2.0	70.6	27.5
専門学校進学 (n=173)		18.5	54.3	19.1	2.3	5.8	72.8	21.4
就職 (n=251)		21.9	46.2	28.3	2.4	1.2	68.1	30.7

※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

H.05_Q18

<フリーコメント> 子どもが職業選択する際に保護者の経験から伝えたいこと【保護者】

- 自分自身でよく考え、選択することの大切さ [新潟/父親/女子]
- どんな仕事でも、楽しさや苦労があること [愛知/母親/男子]
- やりがいを見いだせる職業を選ぶこと [愛知/父親/男子]
- 楽な仕事はないけれど、働くことは誰かのためになる [青森/母親/男子]
- 社会に出ると理不尽なこともよくあるが、辛抱も必要 [青森/父親/男子]
- 人間関係は必ずついて回る。時には我慢も必要 [佐賀/母親/男子]

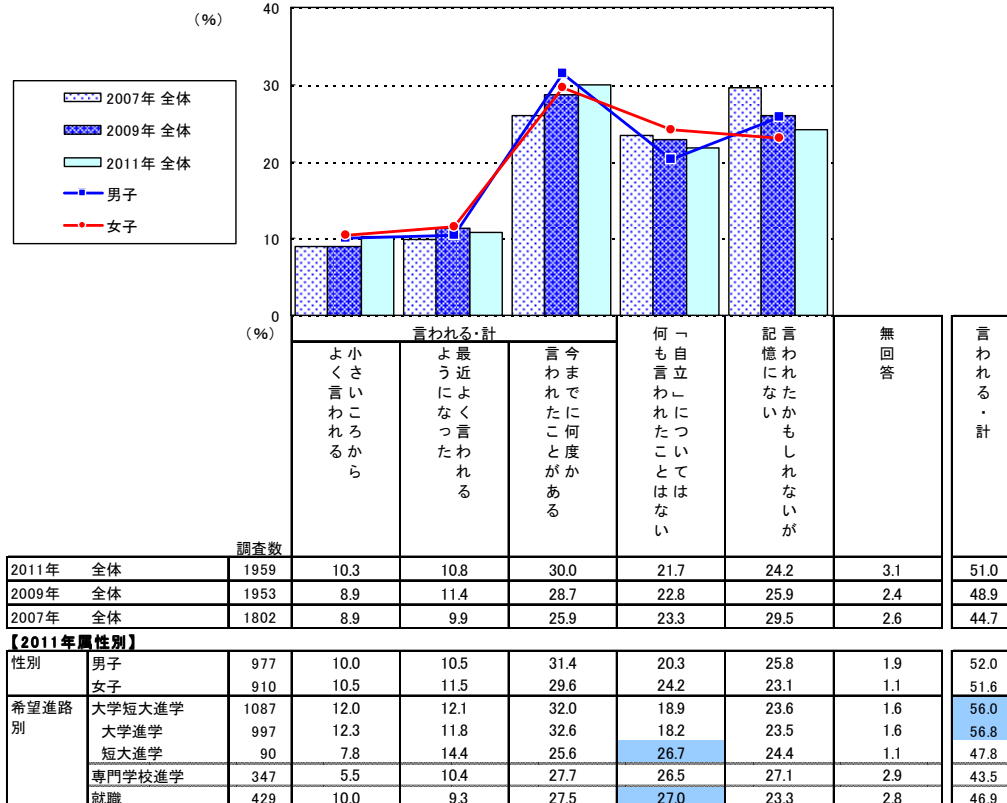
27. 自立についての認識

1) 高校生の認識

- ▶ 保護者から「自立しなさい」と言われたことがある高校生は51%。
- ▶ 「自立しなさい」と言われる高校生は、2007年以降微増傾向。

- 保護者から「自立しなさい」と言われたことがあるか、高校生に質問した。「今までに何度か言われたことがある」が最も多く、30%。「最近よく言われるようになった」「小さい頃からよく言われる」と合計すると、保護者から自立について言われた経験がある高校生は51%とほぼ半数(言われる・計)。過去調査の結果と比較すると、「言われる・計」の割合は2007年以降微増傾向がみられる。
- 男女とも、ほぼ半数が自立について言われている。
- 希望進路別にみると、大学進学で「言われる・計」の割合が最も多く、6割近い。

【高校生】保護者から「自立しなさい」と言われるか (全体/単一回答)



※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

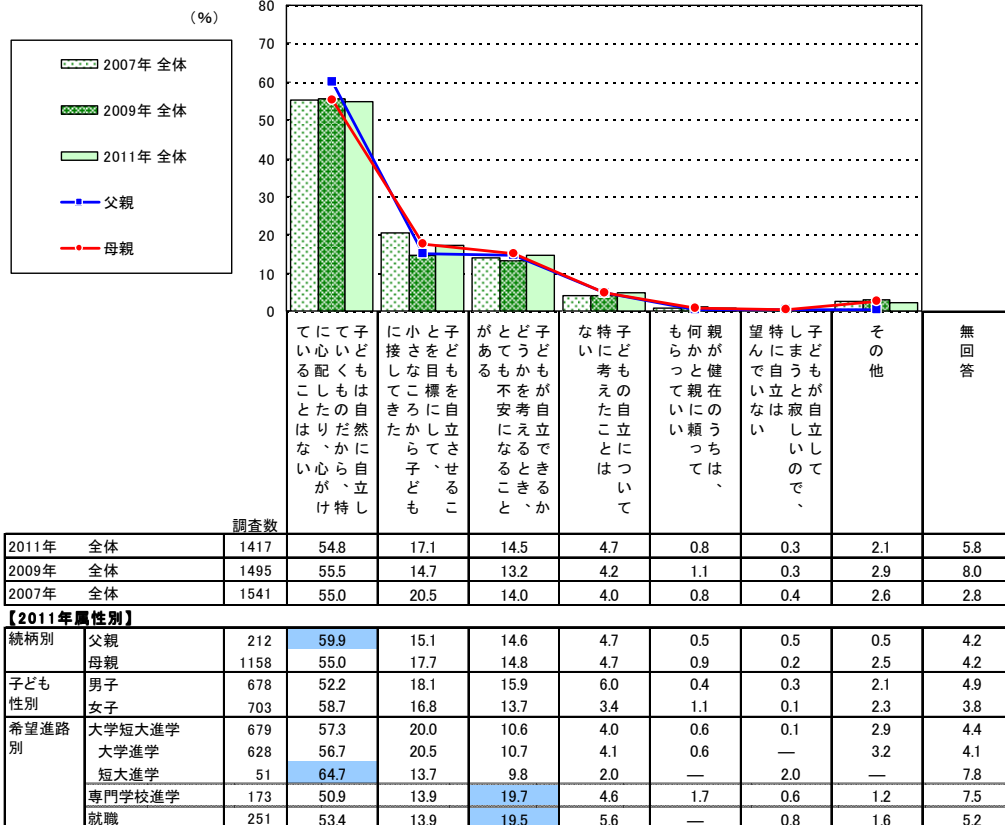
K_05_Q29

2)保護者の認識

▶子どもの自立について保護者の考えは、「子どもは自然に自立していくものだから、特に心配したり、心がけていることはない」が55%。

- 保護者には、子どもの自立についての考えを6項目呈示し、自分の考えに近いものを選んでもらった。トップは「子どもは自然に自立していくものだから、特に心配したり、心がけていることはない」で55%と過半数。ついで「子どもを自立させることを目標にして、小さなころから子どもに接してきた」「子どもが自立できるかどうかを考えると、とても不安になることがある」が1割台で続く。
- 続柄別にみると、トップの「子どもは自然に自立していくものだから」という認識は父親(60%)が母親(55%)よりも多い。
- 子ども性別にみると、「子どもは自然に自立していくものだから」は女子(59%)が男子(52%)よりも多い。
- 希望進路別にみると、いずれの進路も「子どもは自然に自立していくものだから」がトップ。専門学校進学希望者、就職希望者は「子どもが自立できるかどうかを考えると、とても不安になることがある」が2割近くあり、大学短大進学希望者に比べ子どもの自立を不安視している保護者が多い。

【保護者】子どもの自立についての考え（全体／単一回答）



※「2011年全体」降順ソート

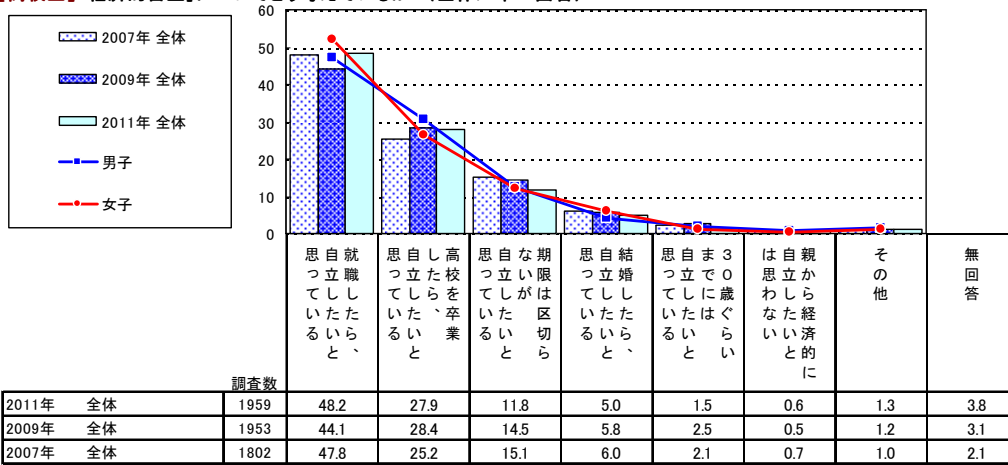
※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

28. 経済的自立・精神的自立

- ▶ 高校生の半数が経済的自立は「就職したら」、精神的な自立は「高校を在学中～卒業したら」と考えている。
- ▶ 「すでに精神的には自立していると思う」高校生は19%。

- 経済的自立を「実家を出て経済的に自立する」と定義し、高校生がどのように考えているか選んでもらった。最も多いのは「就職したら」で48%とほぼ半数。「高校を卒業したら」(28%)がついで多く、高校卒業や就職を経済的自立の機会としてとらえている。
- 男女とも、各項目のスコアは同傾向であり、経済的自立の考え方に男女差はみられない。
- 次に、精神的自立を「自分のことは自分で判断する」と定義し、質問すると、「高校を卒業したら」(28%)、「高校在学中には」(26%)が合計5割強。また、高校2年生の時点で「すでに精神的には自立していると思う」が19%いる。
- 性別にみると、男女とも各項目のスコアは同傾向。女子は「高校を卒業したら」が男子に比べやや多く、卒業を自立の機会と考えていることがうかがえる。

【高校生】「経済的自立」についてどう考えているか（全体／単一回答）

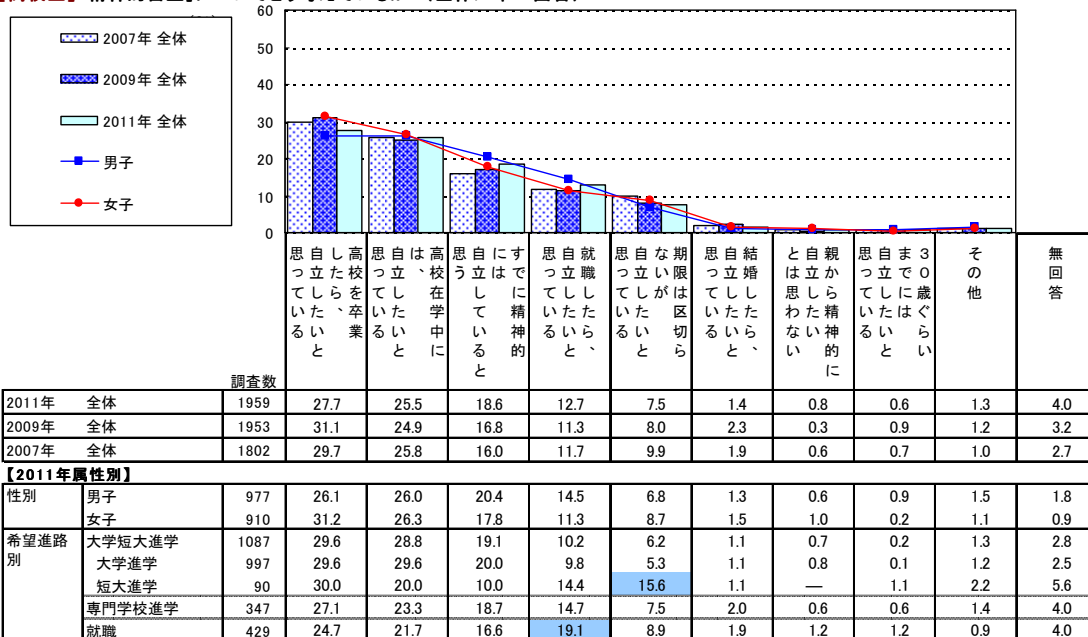


【2011年属性別】

性別	調査数	思自就 つ立職 てしし らいた らと、	思自し つ立た てし ら、卒 業	思自な 期 つ立 てし ら、区 切ら	思自結 つ立 てし ら、	思自ま つ立 てし ら、	は自親 は思 わし らな い	その他	無回 答
男子	977	47.2	30.7	12.4	4.1	1.9	0.7	1.4	1.5
女子	910	52.2	26.5	11.9	6.0	1.1	0.3	1.2	0.8
希望進路別	1087	56.8	25.9	9.0	3.4	1.0	0.3	1.0	2.7
大学短大進学	997	58.3	25.7	8.1	3.3	0.9	0.3	0.9	2.5
短大進学	90	40.0	27.8	18.9	4.4	2.2	—	2.2	4.4
専門学校進学	347	44.1	29.1	13.8	6.3	1.2	1.2	0.9	3.5
就職	429	35.2	30.5	16.3	8.2	2.8	0.9	2.1	4.0

K.05.Q30-1

【高校生】「精神的自立」についてどう考えているか（全体／単一回答）



【2011年属性別】

性別	調査数	思自し つ立た てし ら、卒 業	思自は 高 校 を 在 学 中 に	思自に す で に 精 神 的 に	思自就 つ立職 てしし らいた らと、	思自な 期 つ立 てし ら、区 切ら	思自結 つ立 てし ら、	と自親 は思 わし らな い	思自ま つ立 てし ら、	その他	無回 答
男子	977	26.1	26.0	20.4	14.5	6.8	1.3	0.6	0.9	1.5	1.8
女子	910	31.2	26.3	17.8	11.3	8.7	1.5	1.0	0.2	1.1	0.9
希望進路別	1087	29.6	28.8	19.1	10.2	6.2	1.1	0.7	0.2	1.3	2.8
大学進学	997	29.6	29.6	20.0	9.8	5.3	1.1	0.8	0.1	1.2	2.5
短大進学	90	30.0	20.0	10.0	14.4	15.6	1.1	—	1.1	2.2	5.6
専門学校進学	347	27.1	23.3	18.7	14.7	7.5	2.0	0.6	0.6	1.4	4.0
就職	429	24.7	21.7	16.6	19.1	8.9	1.9	1.2	1.2	0.9	4.0

※ 「2011年全体」降順ソート

※ 【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

K.05.Q30-2

VI 保護者の動きと学校への要望

29.進学情報の必要性・入手方法

1)重要な進学に関する情報

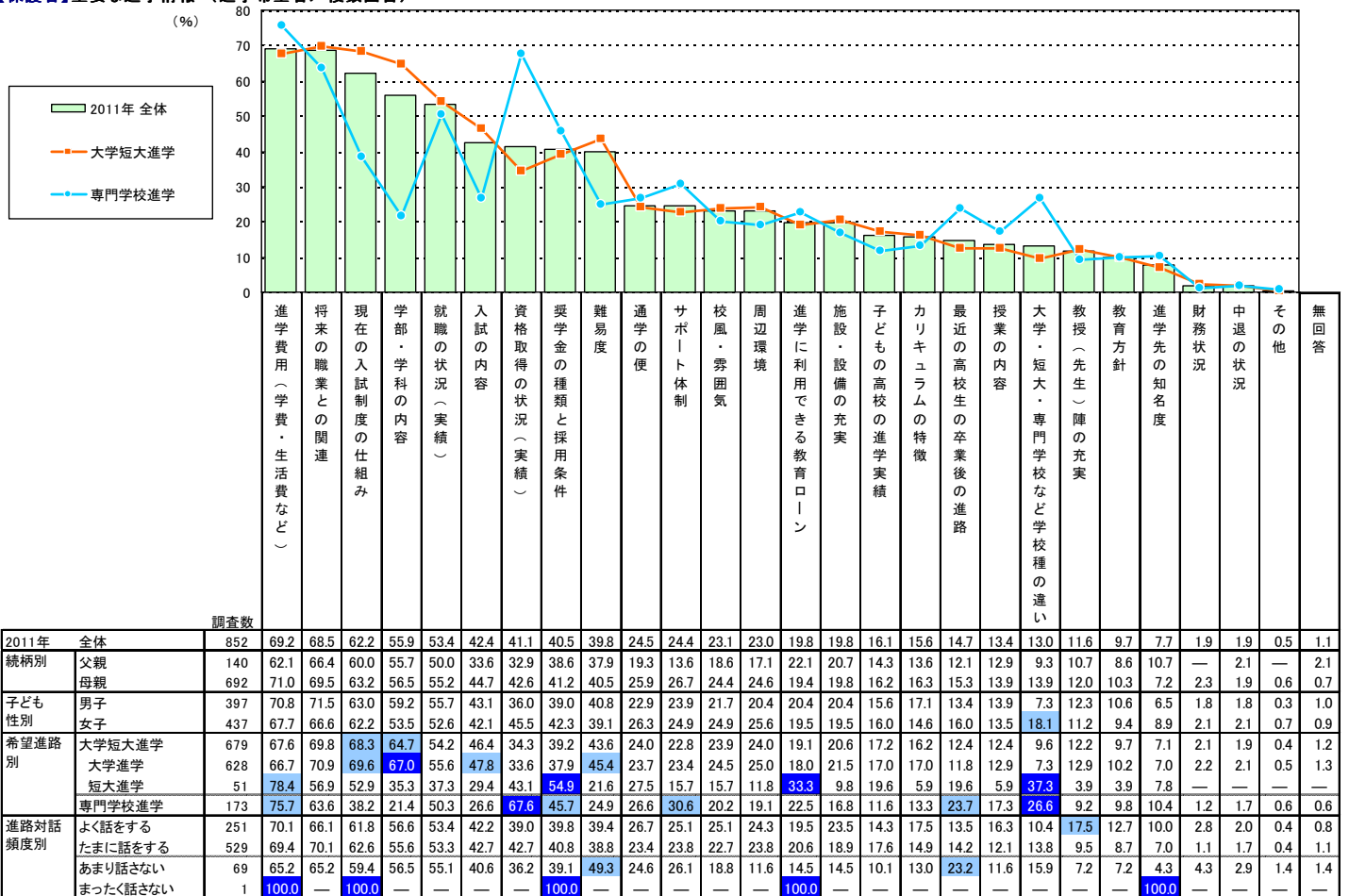
▶子どもの進学を希望する保護者にとって、進学先検討で重要な情報は

- ①進学費用(69%)
- ②将来の職業との関連(69%)
- ③現在の入試制度の仕組み(62%)
- ④学部・学科の内容(56%)
- ⑤就職の状況(53%)

▶大学短大進学希望者は、「学部・学科」や「入試制度」「入試の内容」「難易度」など入試情報、専門学校進学希望者は、「進学費用」「資格取得」の情報を特に重視している。

- 子どもに進学を希望する保護者に、どのような進学情報が重要だと思うかすべて選んでもらった。回答上位は上記のとおり。「進学費用」と「将来の職業との関連」が7割近くに達し、多くの保護者が重視している。
- 続柄別にみると、父親よりも母親のスコアが高い項目が多く、母親は重視する情報が幅広い。
- 子ども性別にみると、男女とも上位の顔ぶれは同様。
- 希望進路別にみると、大学短大進学希望者は「入試制度の仕組み」「学部・学科の内容」「入試の内容」「難易度」、専門学校進学希望者は「進学費用」「資格取得の状況」のスコアがそれぞれ高く、進学先により特に重視する情報が異なる。

【保護者】重要な進学情報（進学希望者／複数回答）



※「2011年全体」降順ソート
 ※「2011年属性別」は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

2)進学に関する情報の入手先

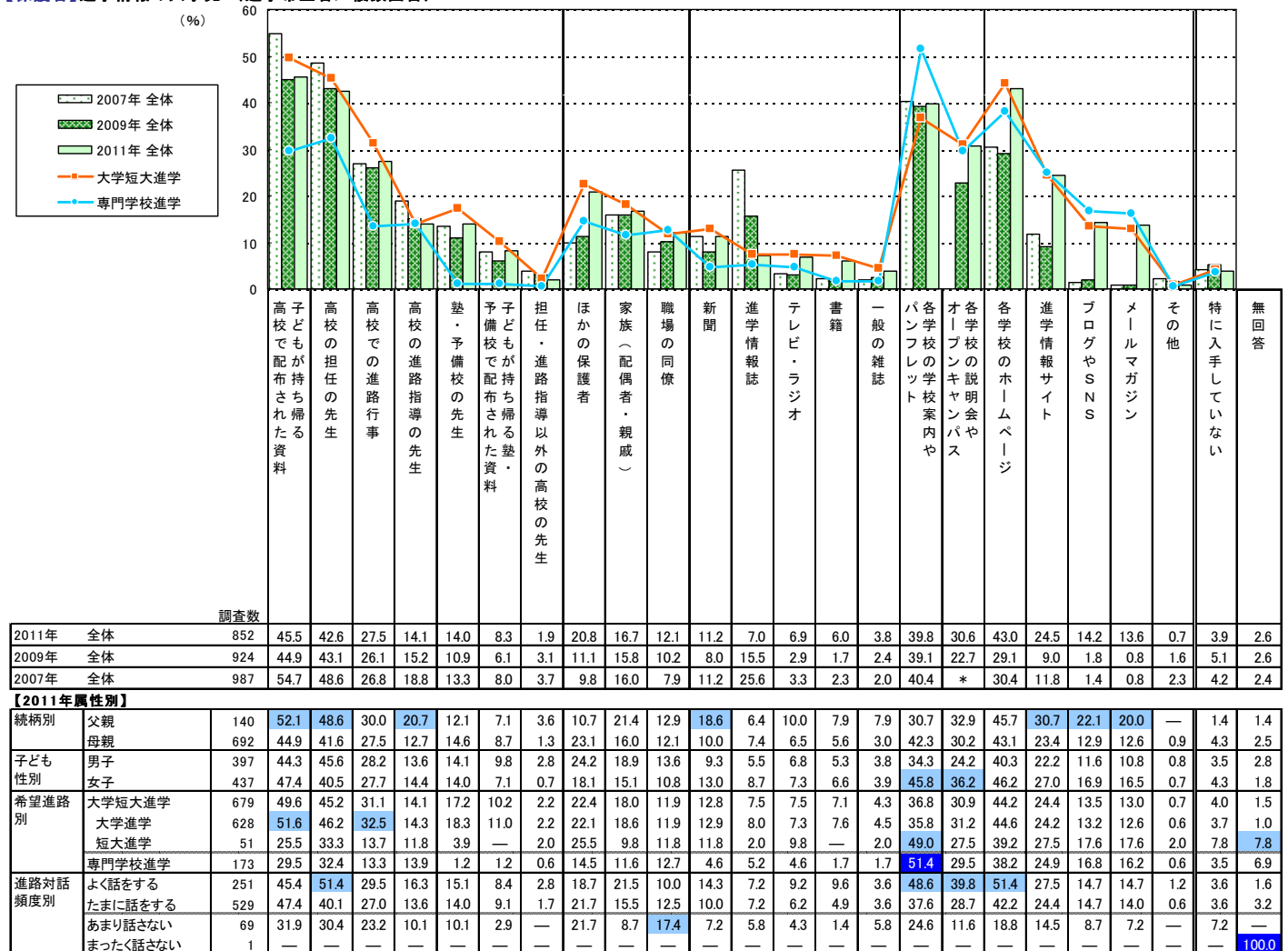
▶進学に関する最大の情報源は高校。さらに各学校がホームページ、学校案内、説明会で発信する情報。

- ①子どもが持ち帰る高校で配布された資料(46%)
- ②各学校のホームページ(43%)
- ③高校の担任の先生(43%)
- ④各学校の学校案内やパンフレット(40%)
- ⑤各学校の説明会やオープンキャンパス(31%)

▶「各学校のホームページ」「進学情報サイト」「ブログやSNS」「メールマガジン」など、ネット情報が増加。

- 子どもの進路を考えるための情報をどこから入手しているかすべて選んでもらった。回答上位は上記のとおり。「子どもが持ち帰る高校で配布された資料」「高校の担任の先生」が上位に挙がり、高校が主たる情報源である。過去調査と比較すると、2009年から「各学校のホームページ」「進学情報サイト」「ブログやSNS」「メールマガジン」のスコアが大幅に増加しており、ネットから情報を入手する保護者が増えている。
- 続柄別にみると、母親よりも父親のスコアが高い項目が多く、父親は情報源が幅広い。「進学情報サイト」「ブログやSNS」「メールマガジン」のネット系情報は、父親で利用する割合が母親よりも多い。一方、母親は「ほかの保護者」のスコアが父親を大きく上回っており、保護者間の口コミも情報源であることがうかがえる。
- 子ども性別にみると、女子は「各学校のホームページ」「各学校の学校案内やパンフレット」「各学校の説明会やオープンキャンパス」のスコアが男子に比べ多く、進学検討先の学校が発信する情報の入手が目立つ。
- 希望進路別にみると、大学短大進学は「高校で配布された資料」、専門学校進学は「学校案内やパンフレット」がトップ。大学短大進学希望者は高校、塾・予備校からの情報のスコアが高め。

【保護者】進学情報の入手先（進学希望者／複数回答）



※ カテゴリーごと「2011年全体」降順ソート

※ 【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

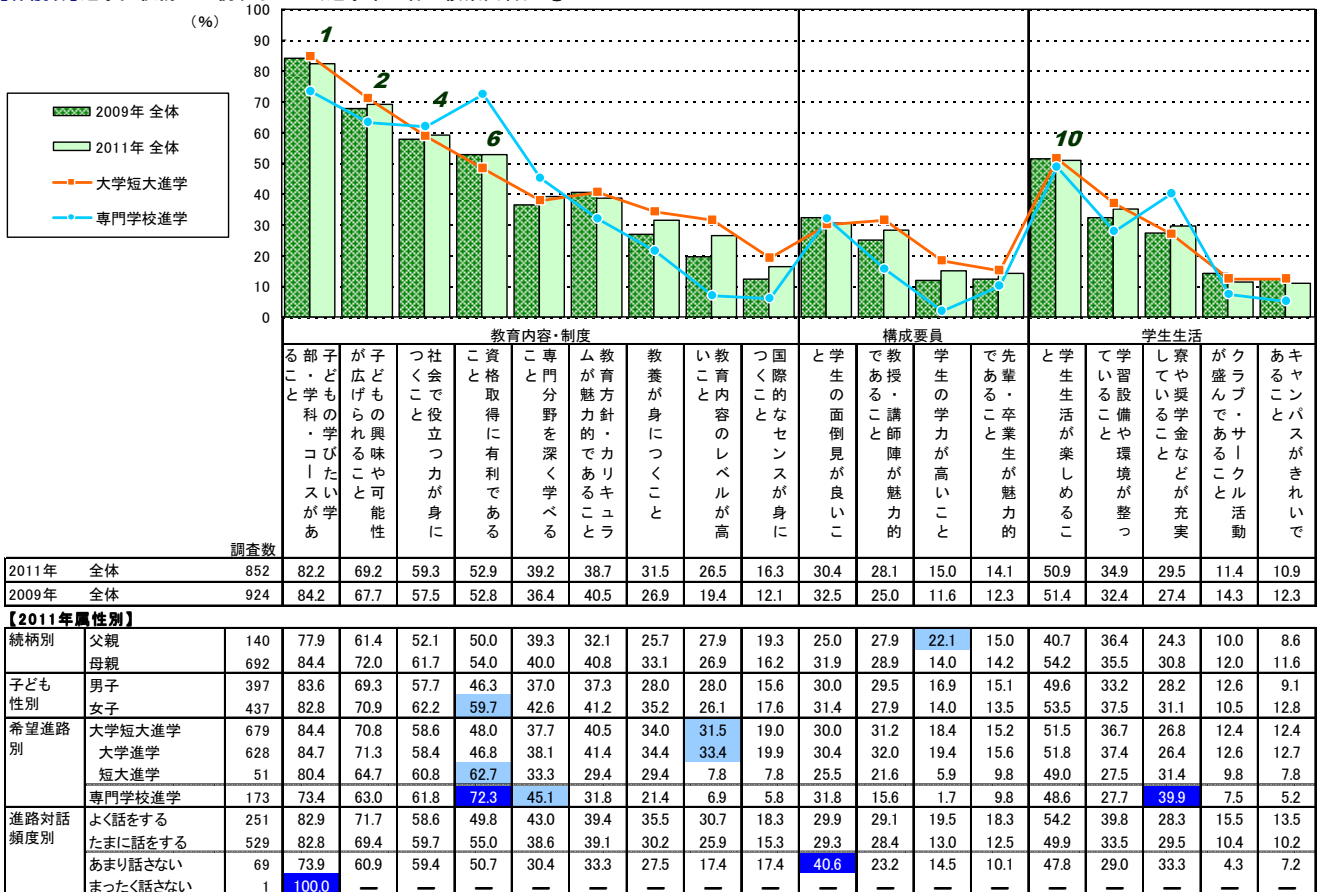
30.進学先検討の重視点

▶ 子どもの進学を希望する保護者が進学先検討で重視するのは、教育内容・制度や卒業後の就職に関する事柄が多い。

- ① 子どもの学びたい学部・学科・コースがあること(82%)
- ② 子どもの興味や可能性が上げられること(69%)
- ③ 就職に有利であること(66%)
- ④ 社会で役立つ力が身につくこと(59%)
- ⑤ 卒業後に社会で活躍できること(57%)
- ⑥ 資格取得に有利であること(53%)
- ⑦ 学費が高くないこと(52%)
- ⑧ 勉強するのに良い環境であること(52%)
- ⑨ 将来の選択肢が増えること(52%)
- ⑩ 学生生活が楽しめること(51%)

● 子どもの進学先の学校を考える際に、重視するのはどのようなことが、すべて選んでもらった。回答上位は上記のとおりで、いずれの項目も半数以上の保護者が重視している。

【保護者】進学先検討で重視すること（進学希望者／複数回答）①

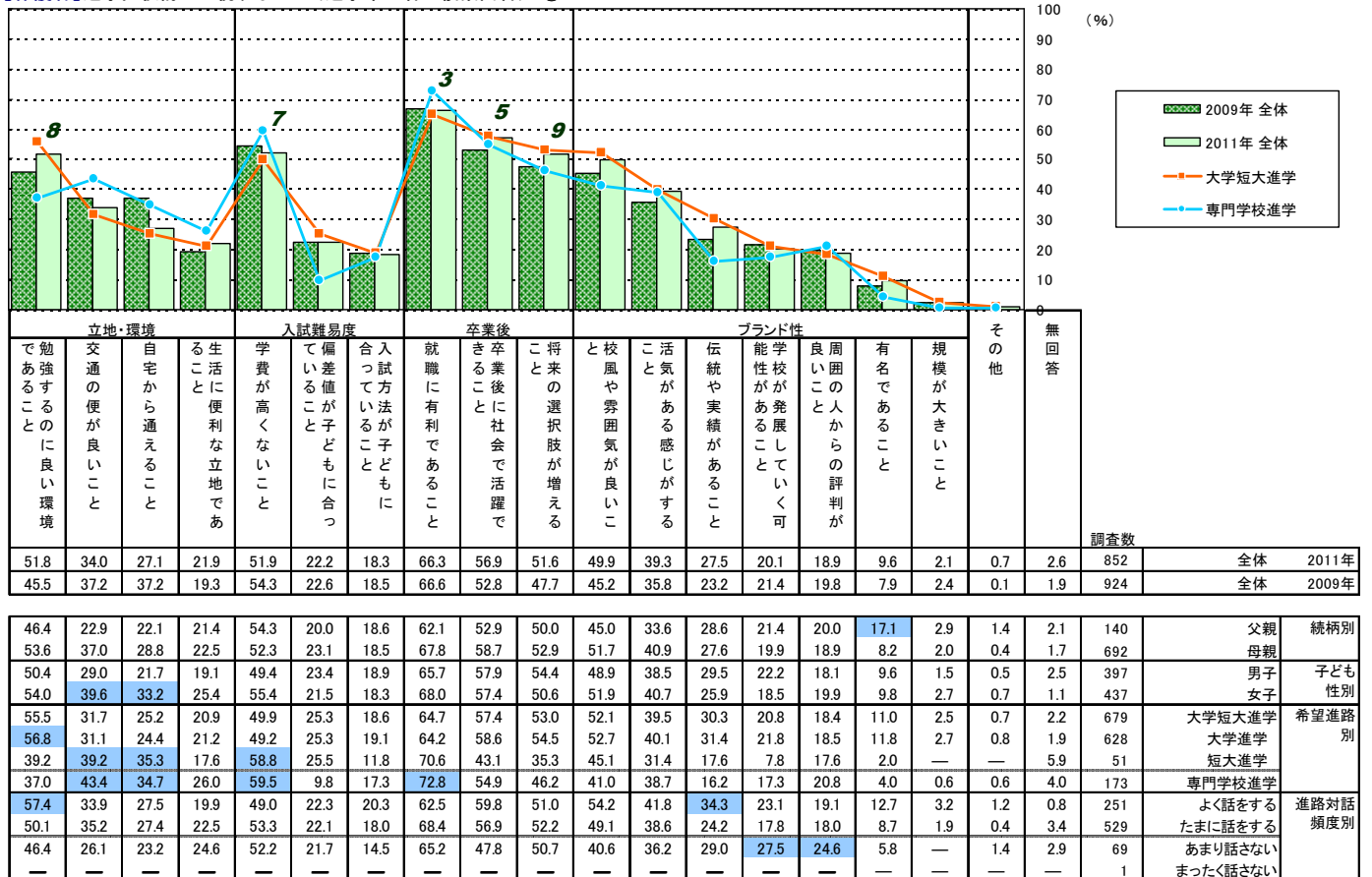


※ カテゴリーごと「2011年全体」降順ソート

※ 【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

- 続柄別にみると、父親・母親とも重視する上位項目の顔ぶれは同様。父親は母親に比べ「学生の学力が高いこと」「有名であること」のスコアが高く、母親に比べ学校の学カレベルやブランド力を重視している。
- 子ども性別にみると、女子は「資格取得に有利であること」が6割と過半数に達する他、「交通の便が良いこと」「自宅から通えること」が3割台と、男子に比べ資格取得や地元志向が強い。
- 希望進路別にみると、いずれの進路とも「子どもの学びたい学部・学科・コースがあること」がトップ。ついで、大学短大進学希望者は「子どもの興味や可能性が広げられること」、専門学校進学希望者は「資格取得に有利であること」が続き、重視する事柄の優先順位がやや異なる。

【保護者】進学先検討で重視すること（進学希望者／複数回答）②



31.保護者の進路選択行動

1)子どもの進路選択行動への関与状況

▶行ったことがある行動は分野・職業・進学先検討の“アドバイス”が多く、今後行いたい行動は興味をもった学校について“調べる”こと。

▶2009年に比べ、“調べる”保護者が微増しており、具体的検討のタイミングが早まっていると考えられる。

- 子どもの進学を希望する保護者に、子どもの進路選択行動10項目それぞれについて保護者としてどうかかわっているか、今後どうしたいかを尋ねた。
- 子どもが高校2年生の時点で、すでに「行ったことがある」行動は、進路選択するための「アドバイス」に関する行動が多い。
 - ①子どもに合う分野をアドバイスする(65%)
 - ②将来の職業をアドバイスする(64%)
 - ③就職か進学かを選ぶ際にアドバイスする(62%)
 - ④大学か短大か専門学校かを選ぶ際にアドバイスする(59%)
- 子どもが高校2年生の時点で、「行ったことはないが今後行いたい」行動は、具体的進路検討のため「調べる」行動が多い。
 - ①興味をもった学校の入試方法を調べる(49%)
 - ②興味をもった学校の資料請求をする(47%)
 - ③興味をもった学校の見学に行く(43%)
- 過去調査の結果と比較すると、「行ったことがある」「今後行いたい」それぞれの上位項目は変化がないが、「行ったことがある」行動で「興味をもった学校の入試方法を調べる」「興味をもった学校の見学に行く」の「調べる」行動の割合が微増傾向にある。

【保護者】子どもの進路選択行動へのかかわり方(全体/各項目単一回答)

	経験意向・計 (%)				経験意向・計	
	行ったことがある	行ったことはないが、今後行いたい	行ったことはなく、今後行うつもりない	無回答		
●凡例						
子どもに合う分野をアドバイスする	2011年	64.6	19.0	8.8	7.6	83.6
	2009年	67.1	20.6	8.0	4.3	87.7
将来の職業をアドバイスする	2011年	63.8	19.0	9.2	8.0	82.9
	2009年	61.1	24.4	10.2	4.3	85.5
子どもに合う学校にどんな学校があるかを調べる	2011年	42.0	36.7	13.1	8.1	78.8
	2009年	36.5	46.3	12.0	5.2	82.8
どんな学部、学科、コースがあるかを調べる	2011年	41.2	37.6	11.9	9.4	78.8
	2009年	39.2	42.7	13.4	4.7	81.9
興味をもった学校の入試方法を調べる	2011年	26.5	49.1	14.3	10.1	75.6
	2009年	24.7	55.2	14.8	5.3	79.9
就職か進学かを選ぶ際にアドバイスする	2011年	62.1	12.3	16.4	9.2	74.4
	2009年	69.6	11.8	14.2	4.4	81.4
大学か短大か専門学校かを選ぶ際にアドバイスする	2011年	58.6	13.8	18.9	8.7	72.4
	2009年	64.3	15.7	15.0	5.0	80.0
具体的な受験校を子どもにアドバイスする	2011年	33.6	37.4	18.9	10.1	71.0
	2009年	31.3	43.1	19.2	6.5	74.4
興味をもった学校の資料請求をする	2011年	19.8	47.3	23.4	9.5	67.1
	2009年	20.0	53.8	21.4	4.8	73.8
興味をもった学校の見学に行く (オープンキャンパス・学校見学会を含む)	2011年	24.2	42.8	23.0	10.0	67.0
	2009年	21.8	48.5	24.8	5.0	70.2

H.06.Q12

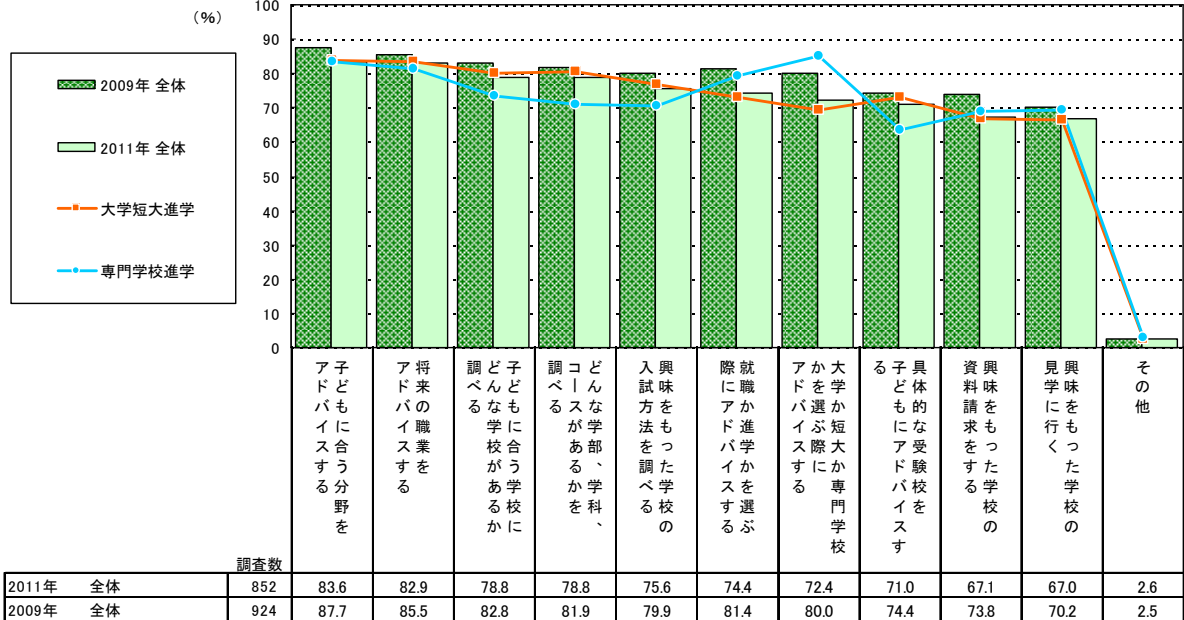
2) 子どもの進路選択行動への関与状況：経験意向・計

▶ 関与の経験・意向すなわち「行ったことがある」「今後行いたい」合計は、子どもに合う分野・職業のアドバイスが上位。

- ① 子どもに合う分野をアドバイスする(84%)
- ② 将来の職業をアドバイスする(83%)
- ③ 子どもに会う学校にどんな学校があるかを調べる(79%)
- ④ どんな学部、学科、コースがあるかを調べる(79%)

- 続柄別にみると、父親・母親とも上位の顔ぶれは同様。
- 子ども性別にみると、「どんな学部、学科、コースがあるかを調べる」を除き、女子のほうが男子に比べスコアが高く、女子は関与する行動は幅広い。特に、「大学か短大か専門学校かを選ぶ際にアドバイスする」は女子は8割近く、学校種の選択にも関与していることがうかがえる。
- 希望進路別にみると、大学短大進学希望者のトップは「子どもに合う分野をアドバイスする」で、専門学校進学希望者に比べ「どんな学部、学科、コースがあるかを調べる」「興味をもった学校の入試方法を調べる」「具体的な受験校を子どもにアドバイスする」のスコアが高く、具体的な受験校の検討・選択への関与に積極的であることがうかがえる。
一方、専門学校進学希望者のトップは「大学か短大か専門学校かを選ぶ際にアドバイスする」が8割強に達するほか、「就職か進学かを選ぶ際にアドバイスする」が大学短大進学希望者に比べ高く、就職か進学か、大学・短大か専門学校かを選ぶ際の関与が目立つ。

【保護者】進路選択行動へのかかわり方：経験意向・計<行ったことがある+今後行いたい>（進学希望者/各項目単一回答）



【2011年属性別】

続柄別	父親	母親	子ども性別	男子	女子	希望進路別	大学進学	短大進学	専門学校進学	進路対話頻度別	よく話をする	たまに話をする	あまり話さない	まったく話さない
父親	140	85.7	85.0	79.3	78.6	76.4	72.1	70.0	70.7	65.7	65.7	2.9		
母親	692	84.1	83.4	79.8	78.6	76.7	75.9	73.6	72.3	68.4	68.2	2.5		
男子	397	82.9	81.1	77.8	79.6	74.8	74.1	67.8	71.3	65.5	62.7	2.3		
女子	437	85.6	85.8	81.2	79.6	78.3	76.2	77.6	72.5	69.8	72.1	2.7		
大学短大進学	679	83.7	83.2	80.1	80.7	76.9	73.2	69.2	72.9	66.7	66.4	2.5		
大学進学	628	83.6	83.0	80.3	81.1	76.8	72.3	68.2	72.6	66.1	65.9	2.5		
短大進学	51	84.3	86.3	78.4	76.5	78.4	84.3	82.4	76.5	74.5	72.5	2.0		
専門学校進学	173	83.2	81.5	73.4	71.1	70.5	79.2	85.0	63.6	68.8	69.4	2.9		
よく話をする	251	85.7	85.3	82.9	80.9	79.7	72.5	74.1	77.3	73.3	75.3	2.4		
たまに話をする	529	83.4	82.6	77.5	78.4	73.7	74.3	70.5	68.8	64.3	63.5	2.6		
あまり話さない	69	78.3	76.8	73.9	73.9	75.4	82.6	81.2	65.2	66.7	63.8	1.4		
まったく話さない	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

※「2011年全体」降順ソート

※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

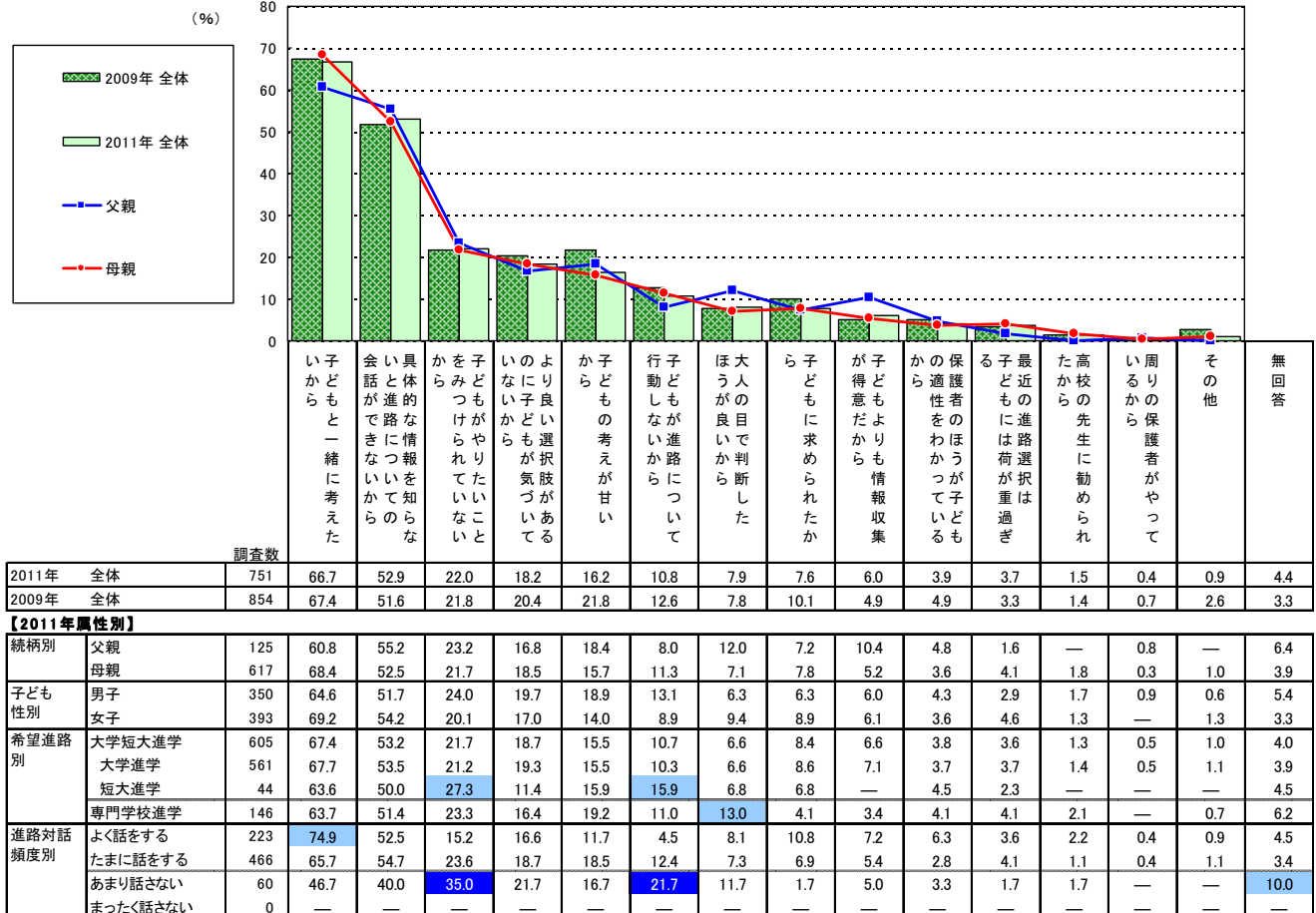
3)子どもの進路選択行動に具体的にかかわる理由

▶保護者が子どもの進路選択に関与する理由は、「子どもと一緒に」親子で協力し合いたいから。

- ①子どもと一緒に考えたいから(67%)
- ②具体的な情報を知らないと進路についての会話ができないから(53%)

- 52ページで子どもの進路選択行動の関与を「行ったことがある」「今後行いたい」と回答した保護者に、関与する理由をすべて選んでもらった。トップは「子どもと一緒に考えたいから」、ついで「具体的な情報を知らないと会話ができないから」が過半数に達し、突出。子どもと一緒に考え、会話をするなど協力し合おうとする保護者が多い。以下、「子どもがやりたいことをみつけられていないから」「より良い選択肢があるのに子どもが気づいていないから」「子どもの考えが甘いから」などは2割程度と少ない。過去調査と比較すると「子どもの考えが甘いから」のスコアが減少しており、子どもの進路選択に問題があり関与するといった理由は減少傾向。
- 続柄別にみると、「子どもと一緒に考えたいから」は母親が68%と父親(61%)より多く、子どもと共に進路を検討したい意向が突出。父親は母親に比べ「大人の目で判断したほうが良いから」「子どもよりも情報収集が得意だから」のスコアが高く、保護者として指導的な関与をしようという意向がうかがえる。
- 子ども性別にみると、男子は女子に比べ「子どもがやりたいことをみつけられていないから」「子どもの考えが甘いから」「子どもが進路について行動しないから」がやや高く、子どもの進路選択が消極的と感じている保護者がいる。
- 希望進路別にみると、いずれの進路も上位2項目は過半数。

【保護者】進路選択行動にかかわる理由 (進学希望者:いずれか進路選択行動を行っている・今後行いたい/複数回答)



※ 「2011年全体」降順ソート

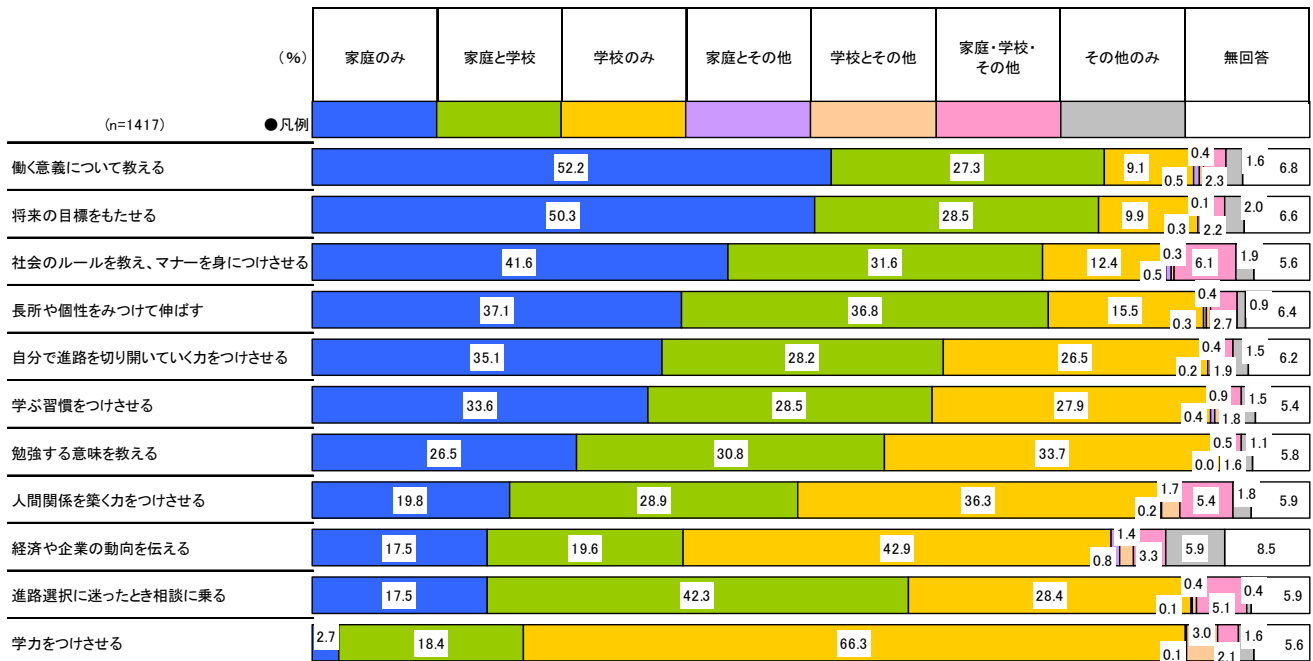
※ 【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

32. 家庭と学校の役割に関する認識

▶ 保護者の高校生の教育に関して、「働く意義について教える」「将来の目標をもたせる」のは主に家庭の役割、「学力をつけさせる」「経済や企業の動向を伝える」のは主に学校の役割と認識。

- 高校生の教育に関する11項目について、「家庭」「学校」「その他」のうち誰の役割なのか。該当すると思うものを項目ごとに選んでもらい、回答状況を分類した。
- 「家庭のみ」の役割は、「働く意義について教える」「将来の目標をもたせる」が過半数。
 - ① 働く意義について教える(52%)
 - ② 将来の目標をもたせる(50%)
 - ③ 社会のルールを教え、マナーを身につけさせる(42%)
 - ④ 長所や個性をみつけて伸ばす(37%)
- 「家庭と学校」両方が役割を担う教育は、「進路選択に迷ったとき相談に乗る」「長所や個性をみつけて伸ばす」が多く、家庭と学校との連携を期待している。一方で、「長所や個性をみつけて伸ばす」は「家庭のみ」の回答も同程度おり、保護者によって認識が分かれるという結果である。
 - ① 進路選択に迷ったとき相談に乗る(42%)
 - ② 長所や個性をみつけて伸ばす(37%)
- 「学校のみ」の役割は、保護者の過半数が「学力をつけさせる」と回答。ついで「経済や企業の動向を伝える」「人間関係を築く力をつけさせる」も4割前後と多く、学力・知識に留まらない指導や育成を期待している。
 - ① 学力をつけさせる(66%)
 - ② 経済や企業の動向を伝える(43%)
 - ③ 人間関係を気づく力をつけさせる(36%)

【保護者】高校生に対する役割の認識(全体/各項目単一回答)



H.06_Q26

<フリーコメント> これまで受けて良かった進路指導【保護者】

- 学校が主催してその道のプロ(職業人)の講演をしてくれたこと(生徒向け)[北海道/父親/男子]
- 先輩(卒業生)の進路や受験などの経験談を直接聞く機会を与えてもらったことなど(同じ教科書を使って学んだ先輩の勉強方法など)[新潟/母親/女子]
- 職場体験したことによって志望する大学を意識するようになった[青森/母親/女子]
- 月に何回か配られる“お便り”はとても良い(進路のことも具体的にあるし、勉強の方法もあって)[新潟/母親/女子]
- 進学や就職の現状を話してくださる講師の方の話を聞く機会を設けてくださり良かったです[青森/父親/女子]
- 担任の教師より具体的に職業選択や、具体例を示していただいた個人面談[愛知/母親/女子]
- 現状で満足することなく目標は高くもて指導してくれたこと。過去の実体験をもとに本人に納得いくように指導してくれた[北海道/母親/男子]
- 親子共に個人的に進路指導室に通わせてもらい、先生と直接話をさせていただけるのはとても心強いし、ありがたいと思います[愛知/母親/男子]

33.進路指導への要望

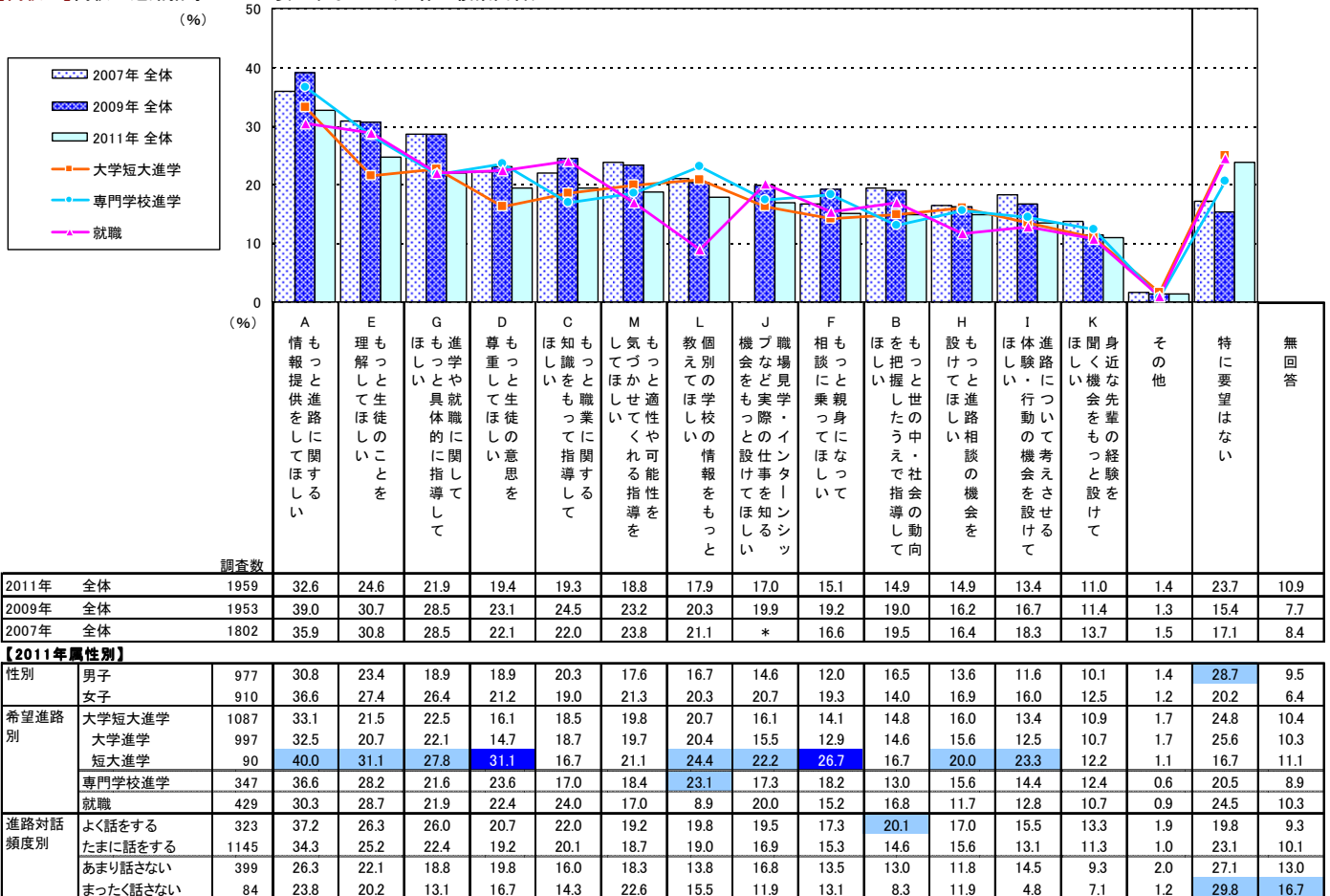
▶ 高校の進路指導に対する高校生の要望は、「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」。

- ①もっと進路に関する情報提供をしてほしい(33%)
- ②もっと生徒のことを理解してほしい(25%)
- ③進学や就職に関してもっと具体的に指導してほしい(22%)
- ④もっと生徒の意思を尊重してほしい(19%)
- ⑤もっと職業に関する知識をもって指導してほしい(19%)

▶ 「生徒のことを理解」「生徒の意思を尊重」など、自分の希望をちゃんと聞いてほしいという意見・要望も。

- 高校の進路指導についての要望を、高校生と保護者それぞれにすべて選んでもらった。高校生の回答上位は上記のとおり。トップは「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」で、3人に1人が要望している。さらに、指導内容だけでなく「生徒のことを理解」「生徒の意思を尊重」と教師の接し方への要望が上位に挙げた。
- 男女とも上位の顔ぶれは同様だが、女子のスコアが男子より高い項目が多く、進路指導への要望が幅広い。
- 希望進路別にみると、進学・就職いずれの進路も「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」がトップ。大学短大進学、専門学校進学の進学希望者は「個別の学校の情報をもっと教えてほしい」、就職希望者は「もっと職業に関する知識をもって指導してほしい」のスコアが高く、それぞれの進路につながる情報提供を要望している。

【高校生】高校の進路指導について要望すること（全体／複数回答）



※「2011年全体」降順ソート

※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

K_06_Q33

<フリーコメント> 高校や教師に対する意見や要望【高校生】

- もっと大学についてじゃなくて学部について教えてほしい [愛知/女子/大短]
- もっと親身になり、生徒の視点で接する教師が求められている [北海道/男子/大短]
- 夢を壊すように、初めから無理ですわねと言われた友達がありました。結果はわからないのに、そういうことは言わないでほしい [鳥取/女子/専門]
- 自分は本気なのに、進路を変えさせたり、経験がないなどバカにすることはやめてほしい [鳥取/女子/専門]
- 昼休みとか職員室に行かなければ会えない存在に感じる [佐賀/女子/就職]
- 本当に子どもが好きで教師をやっているのかわからない。「子どものくせに」みたいな指導ならやめてほしい [愛知/女子/就職]

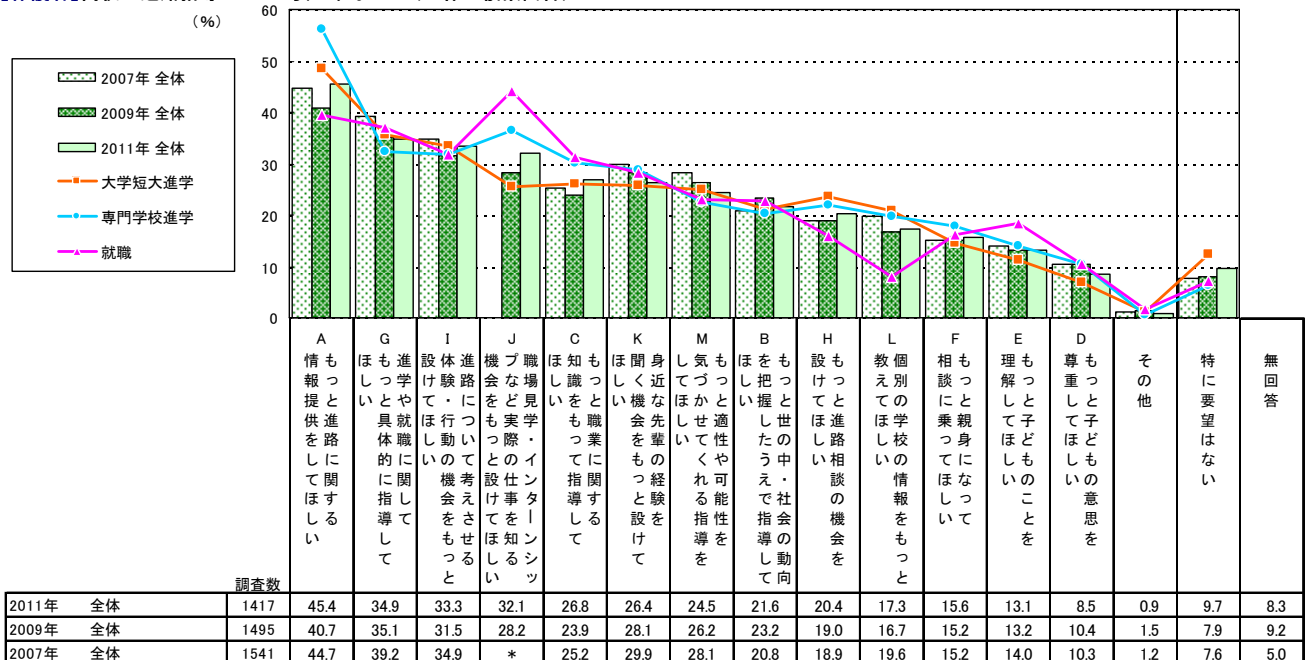
▶ 高校の進路指導に対する保護者の要望も、「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」。

- ①もっと進路に関する情報提供をしてほしい(45%)
- ②進学や就職に関してもっと具体的に指導してほしい(35%)
- ③進路について考えさせる体験・行動の機会をもっと設けてほしい(33%)
- ④職場見学・インターンシップなど実際の仕事を知る機会をもっと設けてほしい(32%)
- ⑤もっと職業に関する知識をもって指導してほしい(27%)

▶ 進学・就職どちらの進路でも、具体的な「体験」「行動」ができる指導を要望。

- 保護者の回答上位は上記のとおり。トップは高校生と同様、「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」で、半数近くが要望している。以下、「進路について考えさせる体験・行動の機会」「職場見学・インターンシップなど実際の仕事を知る機会」が上位に挙がり、保護者は進路や職業を知る体験・行動を伴う指導の要望が多い。
- 続柄別にみると、母親は父親に比べスコアが高い項目が多く、進路指導への要望が幅広い。
- 希望進路別にみると、大学短大進学、専門学校進学の進学希望者は「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」、就職希望者は「職場見学・インターンシップなど実際の仕事を知る機会をもっと設けてほしい」がそれぞれトップ。

【保護者】高校の進路指導について要望すること（全体／複数回答）



2011年属性別		A	G	I	J	C	K	M	B	H	L	F	E	D	その他	特に要望はない	無回答	
続柄別	父親	212	41.0	29.7	29.2	28.8	26.4	23.6	23.6	23.6	18.4	14.6	11.3	8.5	9.0	0.5	15.6	5.7
	母親	1158	47.4	36.8	35.1	33.2	27.5	27.8	25.4	21.8	21.3	18.3	16.8	14.3	8.5	0.9	8.9	6.9
子ども性別	男子	678	43.8	35.8	35.8	34.4	26.3	26.0	27.3	21.4	20.9	17.0	13.9	13.7	7.2	1.2	10.6	7.5
	女子	703	48.4	35.4	32.1	30.7	28.2	27.9	22.9	22.8	20.3	18.1	17.5	12.9	10.1	0.6	9.2	6.1
希望進路別	大学短大進学	679	48.6	35.6	33.3	25.6	26.1	25.8	24.9	21.2	23.6	20.8	14.6	11.2	6.9	1.2	12.2	6.5
	大学進学	628	48.6	35.5	34.1	25.8	26.6	25.8	25.6	21.3	23.7	20.7	13.5	10.7	6.5	1.3	12.9	5.9
	短大進学	51	49.0	37.3	23.5	23.5	19.6	25.5	15.7	19.6	21.6	21.6	27.5	17.6	11.8	—	3.9	13.7
	専門学校進学	173	56.1	32.4	31.8	36.4	30.1	28.9	22.5	20.2	22.0	19.7	17.9	13.9	10.4	0.6	6.4	7.5
進路対話頻度別	就職	251	39.4	37.1	31.9	44.2	31.1	28.3	23.1	22.7	15.9	8.0	16.3	18.3	10.4	1.6	7.2	8.0
	よく話をする	350	46.0	31.1	30.3	28.9	26.6	29.4	22.9	24.3	22.3	16.6	15.4	14.6	9.1	1.4	12.0	8.6
	たまに話をする	910	45.3	35.5	33.7	33.0	26.8	26.4	24.7	20.1	19.9	17.6	15.3	12.9	8.7	0.9	9.2	7.8
	あまり話さない	150	43.3	40.0	39.3	34.0	28.7	20.7	25.3	24.7	19.3	18.0	18.0	10.0	6.7	—	8.0	11.3
	まったく話さない	5	60.0	20.0	—	20.0	—	—	40.0	20.0	—	—	20.0	—	—	—	—	—

※「2011年全体」降順ソート

※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

H.06_Q27

<フリーコメント> 高校や教師に対する意見や要望【保護者】

- もっと、個人に合った学習指導をしてほしい[茨城/母親/男子]
- 弱点を克服するアドバイスを的確にしてほしい[佐賀/父親/女子]
- 成功・失敗体験をどんどんさせてほしい。その中で見つかることがあるはず。その後のフォロー体制が、家庭との連携の中で作れたら最高だと思います[鳥取/父親/男子]
- 先生自身が先生以外の職業を体験して人としての見聞を広げてほしい[茨城/母親/男子]
- もっと子どもたちとコミュニケーションをとってほしい。今、何を思っているのかももっと知ってほしい[愛知/母親/男子]
- 子どもには、学校から情報が伝わるけど、子どもから家庭には、なかなか伝わらないので、もっと情報が入る機会がほしいです[鳥取/母親/女子]
- 学校は、人との接し方を学ぶ場所だと思うので目上への接し方など、覚えてくれれば。最近の先生はまるで友達のようなですね[青森/母親/女子]

34. キャリア教育の認知と期待

▶ 保護者の『キャリア教育』の認知率は2009年から増加、34%。

▶ 8割がキャリア教育について「良いことだと思う」。

- 保護者に『キャリア教育』という言葉を知ったことがあるか尋ねたところ、34%が「ある」。2007・2009年の認知率は3割弱だったが、2011年は3割を超えた。
- 続柄別にみると、父親の認知率が39%と母親(34%)に比べ高い。
- 次に、キャリア教育の定義を呈示したうえで、キャリア教育が推進されていくことをどう思うか尋ねた。「非常に良いこと」は38%、「まあまあ良いこと」の42%と合わせ80%が「良い」と評価している(良い・計)。
- 続柄別にみると、「良い・計」は母親の評価(83%)が父親(77%)に比べ高い。
- キャリア教育に対する意見や要望を書いたら、「子どもが可能性をみつける」と期待感がある一方、「官僚のエリート」をイメージすると『キャリア』の語感や「完全にできるか疑問」など不安視する意見もみられた。

【保護者】「キャリア教育」という言葉を知ったことがあるか(全体/単一回答)

		(%)	ある	ない	無回答
● 凡例					
2011年	全体 (n= 1417)		34.3	59.7	6.0
2009年	全体 (n= 1495)		28.2	67.0	4.8
2007年	全体 (n= 1541)		29.2	67.9	2.9
【2011年属性別】					
続柄別	父親 (n= 212)		38.7	58.0	3.3
	母親 (n= 1158)		34.3	61.7	4.1
子ども性別	男子 (n= 678)		32.0	64.3	3.7
	女子 (n= 703)		37.8	57.3	4.8
希望進路別	大学短大進学 (n= 679)		39.9	56.3	3.8
	大学進学 (n= 628)		40.0	56.5	3.5
	短大進学 (n= 51)		39.2	52.9	7.8
	専門学校進学 (n= 173)		27.7	65.9	6.4
	就職 (n= 251)		25.1	67.7	7.2

H_06_Q29SQ1

【保護者】「キャリア教育」が推進されていくことをどう思うか (全体/単一回答)

		(%)	良い・計		良くない・計		その他	無回答	良い・計	良くない・計
			非常に良いことだと思う	まあまあ良いことだと思う	あまり良いことだと思わない	まったく良いことだと思わない				
● 凡例										
2011年	全体 (n= 1417)		37.9	42.2	4.8	0.7	3.0	11.4	80.1	5.5
2009年	全体 (n= 1495)		44.0	39.1	5.8	0.9	2.8	7.4	83.1	6.8
2007年	全体 (n= 1541)		39.6	42.6	8.1	1.2	2.7	5.8	82.2	9.3
【2011年属性別】										
続柄別	父親 (n= 212)		34.0	42.9	9.9	1.4	4.7	7.1	76.9	11.3
	母親 (n= 1158)		39.9	43.0	3.7	0.6	2.8	10.0	82.9	4.3
子ども性別	男子 (n= 678)		37.5	42.5	5.8	0.6	3.2	10.5	79.9	6.3
	女子 (n= 703)		40.3	43.4	3.6	0.9	2.8	9.1	83.6	4.4
希望進路別	大学短大進学 (n= 679)		41.5	41.8	4.7	0.7	2.9	8.2	83.4	5.4
	大学進学 (n= 628)		42.5	41.6	4.5	0.8	3.2	7.5	84.1	5.3
	短大進学 (n= 51)		29.4	45.1	7.8	—	—	17.6	74.5	7.8
	専門学校進学 (n= 173)		41.6	37.0	4.0	0.6	—	16.8	78.6	4.6
	就職 (n= 251)		31.9	47.4	5.6	0.4	2.8	12.0	79.3	6.0

※「キャリア教育」とは「一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」という定義を呈示した
 ※【2011年属性別】は、「2011年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

H_06_Q29SQ2

<フリーコメント> キャリア教育に対する意見や要望【保護者】

- 本人が自分の適性について考える機会になると思う[佐賀/父親/男子]
- もっと具体的な教育指針を示して、親にも子どもにもわかるように指導してほしい[佐賀/母親/男子]
- 本来の目的を十分に理解した教育を行ってほしい[大阪/父親/男子]
- 生徒によると思うので、完全にできるか疑問です[青森/母親/女子]

- それによって、子どもがいろんな可能性をみつけてくれるといいと思う[愛知/母親/男子]
- 「職業的自立」が就活にならないことが大切と思う[新潟/母親/男子]
- 「官僚のエリート」をイメージするため、抵抗感のある言葉です[茨城/母親/男子]